

江戸川区スポーツ施設需要調査



令和4年7月

江戸川区

目次

1. はじめに.....	1
1.1 業務目的.....	1
1.2 対象施設.....	1
2. 人口動向と財政状況.....	3
2.1 人口動向.....	3
2.2 財政状況.....	4
3. 現況の把握.....	5
3.1 対象施設の概要.....	5
3.2 施設実態の把握.....	14
3.3 近隣自治体の類似施設等の把握.....	33
4. 需要調査.....	36
4.1 アンケート調査.....	36
4.2 ヒアリング調査.....	93
5. 新たな機能導入の検討.....	95
5.1 先進事例の導入検討.....	95
5.2 近隣自治体との連携に関する検討.....	110
5.3 収益性のある施設の導入検討（プロスポーツに関する検討）.....	113
6. 区内スポーツ施設の必要性・適正量の検討.....	118
6.1 スポーツ施設の区分の考え方.....	118
6.2 区民の将来スポーツ人口の推計.....	125
6.3 必要量・適正量の検討.....	133

1. はじめに

1.1 業務目的

本区において、老朽化が進む公共施設の再編整備を検討するにあたり、区内のスポーツ施設等に関する需要調査（以下、本調査とする。）を行い、今後の施設再編整備の方針の根拠とすることを目的とする。

1.2 対象施設

対象となる本区の大型スポーツ施設は、以下のとおりである。

なお、本調査における大型スポーツ施設は、平成 30 年（2018 年）6 月に公表した「大型公共施設の現状と再編・整備に向けた今後の検討の方向性」で示された屋内スポーツ施設、屋内プール施設および屋外スポーツ施設とする。

<大型スポーツ施設>

	No.	施設名称	所在地	設置年	敷地面積	延床面積
屋内スポーツ施設	1	総合体育館	松本 1-35-1	S45	10,143 m ²	10,286 m ²
	2	スポーツセンター	西葛西 4-2-20	S56	8,891 m ²	11,030 m ²
	3	スポーツランド	東篠崎 1-8-1	S57	16,417 m ²	6,305 m ²
屋内プール施設	4	小岩アーバンプラザ（プール）	北小岩 1-17-1	H 3	3,794 m ² ※1	7,583 m ² ※1
	5	小松川さくらホール（プール）	小松川 3-6-3	H11	2,001 m ² ※1	5,174 m ² ※1
屋外スポーツ施設	6	陸上競技場	清新町 2-1-1	S59	35,787 m ²	7,124 m ²
	7	江戸川区球場	西葛西 7-2-1	S59	39,032 m ²	4,200 m ²
	8	臨海球技場	臨海町 1-1-2	H 元	59,021 m ²	361 m ²
	9	水辺のスポーツガーデン	東篠崎 2-3 先	H21	37,915 m ²	140 m ²

※1 施設全体の面積



「国土数値情報(行政区域データ)」(国土交通省) (https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2_4.html)、「国土数値情報(鉄道データ)」(国土交通省) (https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-v2_3.html) を加工して作成。「CSVアドレスマッチングサービス」を利用。

<位置図>

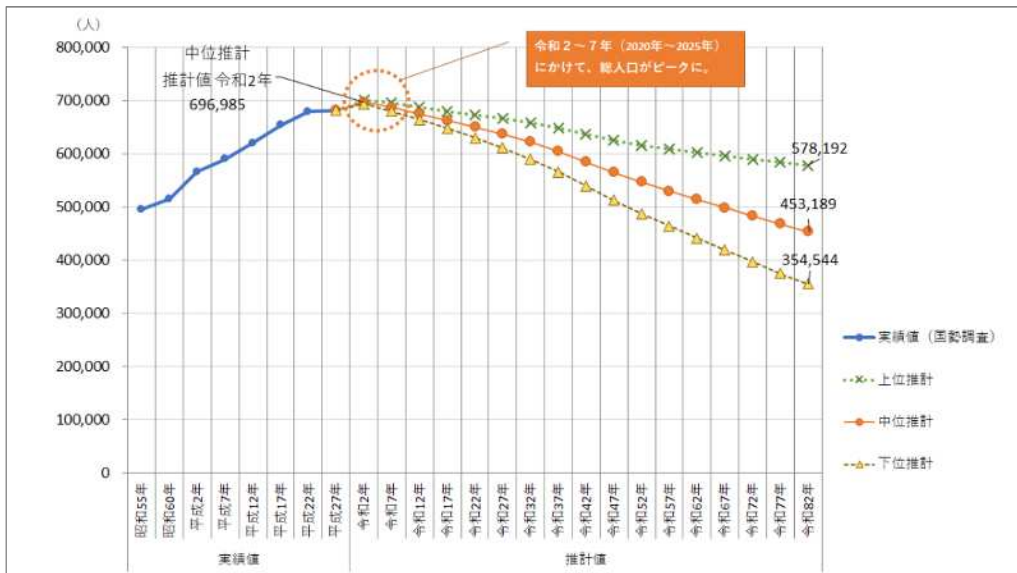
2. 人口動向と財政状況

2.1 人口動向

本区の人口は昭和25年(1950年)以降、一貫して増加が続いているが、令和2～7年(2020～2025年)の間に約70万人と人口のピークを迎えた後、緩やかに減少し、現状のまま推移した場合、令和82年(2100年)には45.3万人にまで減少すると予測されている。

年齢3区分別にみると、生産年齢人口(15歳～64歳人口)は総人口と同時期の令和2～7年(2020～2025年)の間にピークを迎え、その後は一貫して減少するとみられている。一方で、老年人口(65歳以上人口)は、令和22～32年(2040～2050年)にかけて17万人前後へと増加すると予測されており、高齢化率は平成27年(2015年)時の20.6%から、令和27年(2045年)には27.0%まで上昇し、その後も高齢化が進むと考えられている。

そのため、このような人口構成の変化に伴う施設の利用形態や利用人数などの変化に対応したスポーツ施設の適正量や配置を検討していく必要がある。



(R2「江戸川区施策策定のための人口等基礎分析」、総務省「国勢調査」をもとに作成)



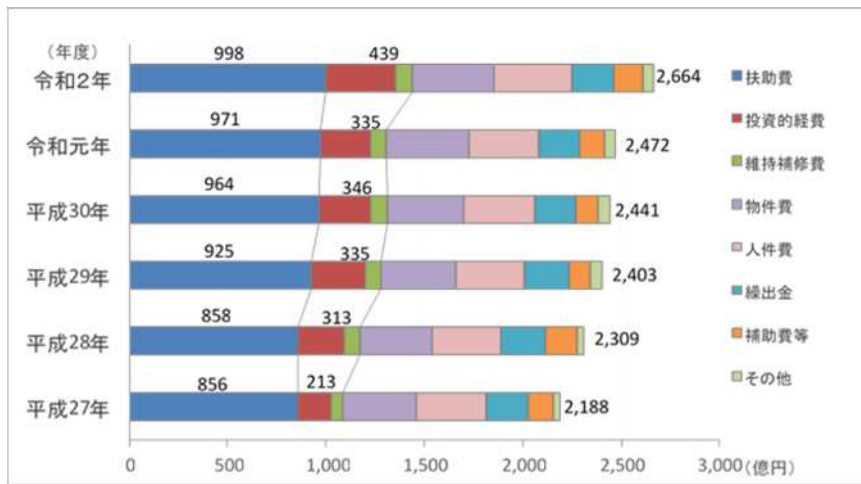
(R2「江戸川区施策策定のための人口等基礎分析」をもとに作成)

< 江戸川区の総人口及び年齢3区分別の将来人口推移 >

2.2 財政状況

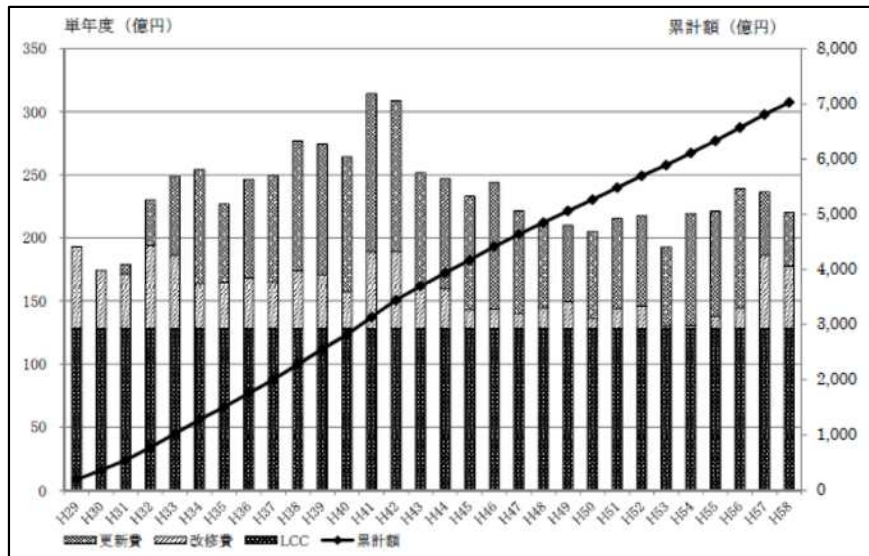
近年、高齢化に伴う扶助費が年々増加傾向にあり、今後予想される人口減少や少子高齢化の進行に伴い、税収入など一般財源の減少が予測される一方で、扶助費などの更なる増加が見込まれている。

また、まちづくり事業の進捗や施設改修などに伴い、投資的経費や維持補修費も高水準で推移しているが、歳入状況も厳しく、流動的であることから、今後、これらの費用確保がこれまでどおりできなくなることが懸念される。こうした中で、公共施設の老朽化に伴う施設更新や複合化、ランニングコストの効率化など、効率的な再編・整備によって将来にわたり必要な施設機能を維持していくことが課題となっている。



(H27～R2「予算額の推移、歳入・歳出・性質別」をもとに作成)

< 予算の性質別内訳の推移 >



(出典：H29「江戸川区公共施設等総合管理計画」)

< 公共建築物の将来負担費用の推計 >

3. 現状の把握

3.1 対象施設の概要

対象施設の施設概要を、「主要生活環境施設の現況 令和3年度版」、「統計江戸川 令和2年版」、「令和元年度 江戸川区財務諸表 財務レポート」等をもとに以下の通り整理した。

本区の大型スポーツ施設は、長寿命化の取組や予防保全的な改修など、効率的な維持保全に努めることで、長い間多くの区民に利用されてきたが、築40年以上経過している施設が多くなっている。

1) 屋内スポーツ施設の基本情報

施設種別	屋内スポーツ施設（総合体育館）														
施設名称	総合体育館														
運営形態	指定管理者														
整備年/経過年数	昭和45年（1970年）/52年														
所在地	江戸川区松本1丁目35番1号														
施設概要	敷地面積：10,143㎡、延床面積：10,286㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階建、 鉄骨造 地上2階建（アーチェリー場）														
主な施設	<p>主競技場フロア：約1300㎡（BB：2面/VB：2面/FS：2面/BD：8面/TT：25台） 観客席380席</p> <p>トレーニング室（2室）：約190㎡ 柔道場：約190㎡（90畳） 剣道場：約190㎡ 弓道場：約150㎡、5射立、矢道距離28m 卓球室：約160㎡、卓球台5台 ホール：約360㎡ 会議室：約135㎡ エアライフル射場：約100㎡、6射立、標的距離10m エレベーターホール：約50㎡ トレーニングスタジオ：約200㎡ アーチェリー場：約1,900㎡、17射立、矢道距離50m 温水プール：約1,500㎡、25m×13m、水深1.1～1.3m、6コース 駐車場：96台（有料・24時間駐車可）</p>														
主な利用種目	バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、柔道、剣道、弓道、エアライフル、トレーニング、アーチェリー、水泳 など														
土地状況	第一種中高層住居専用地域、準防火地域														
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> 温水プールにおける障害者専用レーン設置など障害者スポーツ環境の整備に取り組んでいる 6月～9月は、隣接する鹿本中学校が授業でプールを利用している。 <table border="1" data-bbox="422 1590 1356 1747"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>523,392</td> <td>516,527</td> <td>482,049</td> </tr> <tr> <td>利用満足度※1（%）</td> <td>87.5</td> <td>77.1</td> <td>77.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 H30.2、H31.2、R2.2に実施した利用者アンケートにおいて、「満足している」「よかった」と回答した人の割合。</p>				平成29年度	平成30年度	令和元年度	利用者数（人）	523,392	516,527	482,049	利用満足度※1（%）	87.5	77.1	77.6
	平成29年度	平成30年度	令和元年度												
利用者数（人）	523,392	516,527	482,049												
利用満足度※1（%）	87.5	77.1	77.6												
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> JR「新小岩駅」からバス約15分＋徒歩約5分 JR「小岩駅」からバス約11分＋徒歩約3分 都営新宿線「一之江駅」からバス約20分＋徒歩約3分 														

※BB：バスケットボール、VB：バレーボール、FS：フットサル、BD：バドミントン、TT：卓球

施設種別	屋内スポーツ施設（プール）									
施設名称	小岩アーバンプラザ									
運営形態	区営（所管：生活振興部）									
整備年／経過年数	平成3年（1991年）／31年									
所在地	江戸川区北小岩1丁目17番1号									
施設概要	敷地面積：3,794㎡、延床面積：7,583㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階									
主な施設（スポーツ）	スカイプール：25m×10.95m・6コース、水深1.05m～1.25m 健康ルーム：約110㎡（サイクルマシン4台、ステップマシン1台、ウォーキングマシン7台） 駐車場：50台（有料・8：30～21：30）									
主な利用種目	水泳、トレーニング									
土地状況	第一種住居地域、準防火地域									
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小岩地域にある文化・地域施設で、文化・コミュニティ・スポーツの拠点として広く利用されている ・小岩アーバンプラザ利用者全体の約34%がプール利用であり、施設内で最も利用されている※ <table border="1" data-bbox="424 831 1358 936"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>81,104</td> <td>81,744</td> <td>73,134</td> </tr> </tbody> </table>			平成29年度	平成30年度	令和元年度	利用者数（人）	81,104	81,744	73,134
	平成29年度	平成30年度	令和元年度							
利用者数（人）	81,104	81,744	73,134							
	※平成29年～令和元年度（2017～2019年度）の合計利用者の内訳									
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 総武線「小岩駅」から徒歩15分 ・京成「江戸川駅」から徒歩10分 ・JR 総武線「小岩駅」からバス約5分＋徒歩5分 									
										

施設種別	屋内スポーツ施設（プール）									
施設名称	小松川さくらホール									
運営形態	区営（所管：生活振興部）									
整備年／経過年数	平成 11 年（1999 年）／23 年									
所在地	江戸川区小松川 3 丁目 6 番 3 号									
施設概要	敷地面積：2,001 m ² 、延床面積：5,174 m ² 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 6 階建									
主な施設 （スポーツ）	プール：25m×12m・6 コース 駐車場：15 台（無料）									
主な利用種目	水泳									
土地状況	第一種住居地域、防火地域									
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小松川地域にある文化・地域施設で、各種会議、サークル活動、健康づくりの場などとして、広く利用されている ・小松川さくらホール利用者全体の約 37%がプール利用であり、施設内で最も利用されている※ <table border="1" data-bbox="427 853 1359 954"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>79,559</td> <td>69,409</td> <td>63,799</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 29 年～令和元年度（2017～2019 年度）の合計利用者の内訳</p>		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	利用者数（人）	79,559	69,409	63,799	
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度							
利用者数（人）	79,559	69,409	63,799							
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・都営新宿線「東大島駅」徒歩 10 分 ・都営新宿線「東大島駅」からバス約 2 分＋徒歩約 2 分 ・JR 総武線「平井駅」からバス約 8 分＋徒歩約 2 分 ・東京メトロ東西線「葛西駅」からバス約 29 分 ＋徒歩約 4 分 ・JR 総武線「小岩駅」からバス約 21 分＋徒歩約 4 分 ・都営新宿線「一之江駅」からバス約 16 分 ＋徒歩約 4 分 									

3.1.2 屋外スポーツ施設の基本情報

施設種別	屋外スポーツ施設（陸上競技場）													
施設名称	陸上競技場													
運営形態	指定管理者													
整備年／経過年数	昭和 59 年（1984 年）／38 年													
所在地	江戸川区清新町 2 丁目 1 番 1 号													
施設概要	敷地面積：35,787 m ² 、延床面積：7,124 m ² 鉄筋コンクリート造 地上 3 階建													
主な施設	<p>トラック：1 周 400m 8 レーン、3,000m 障害走路設置、全天候舗装、 日本陸上競技連盟第 3 種公認</p> <p>フィールド：105m×70m、天然芝、跳躍競技・投てき競技</p> <p>観客席：メインスタンド 2,034 人(車椅子席 14 人)、バックスタンド 2,750 人、芝生席 2,000 人 夜間照明あり</p> <p>駐車場：95 台（無料）</p>													
主な利用種目	陸上競技、ラグビー、サッカー など													
土地状況	第一種中高層住居専用地域、準防火地域													
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー トップリーグ（現・ジャパンラグビーリーグワン）の試合会場にもなっている ・平成 30 年度（2018 年度）に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の練習会場としての整備及び陸上競技場 3 種公認更新を目的とした、トラック走路などの大規模改修工事を実施（約 5 か月間休館） ・令和元年度（2019 年度）に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の練習会場としての整備などを目的としたエレベーター設置工事、外壁塗装工事などの大規模改修工事を実施（約 2 か月間休館） <table border="1" data-bbox="427 1240 1358 1397"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>336,163</td> <td>246,795</td> <td>261,773</td> </tr> <tr> <td>利用満足度※1（%）</td> <td>85.6</td> <td>61.1</td> <td>48.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 H30.2、H31.2、R2.2 に実施した利用者アンケートにおいて、「満足している」「よかった」と回答した人の割合。</p>			平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	利用者数（人）	336,163	246,795	261,773	利用満足度※1（%）	85.6	61.1	48.8
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度											
利用者数（人）	336,163	246,795	261,773											
利用満足度※1（%）	85.6	61.1	48.8											
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロ東西線「西葛西駅」から徒歩約 15 分 ・東京メトロ東西線「西葛西駅」からバス約 7 分 + 徒歩約 2 分 													

施設種別	屋外スポーツ施設（球技場・グラウンド）													
施設名称	江戸川区球場													
運営形態	指定管理者													
整備年／経過年数	昭和 59 年（1984 年）／38 年													
所在地	江戸川区西葛西 7 丁目 2 番 1 号													
施設概要	敷地面積：39,032 m ² 、延床面積：4,200 m ² 鉄筋コンクリート造 地上 3 階建													
主な施設	野球場：両翼 90m 中央 118m×1 面、内野：混合土、外野：天然芝、 夜間照明、電光スコアボードあり 観客席：内野席 2,284 人、外野席 1,700 人、車椅子席 20 人 駐車場：42 台													
主な利用種目	野球													
土地状況	第一種住居地域、準防火地域													
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・総合レクリエーション公園内にある屋外運動施設 ・プロ野球イースタンリーグ公式戦を誘致し、“みるスポーツ”の充実にも取り組んでいる ・東京都高等学校野球大会本大会なども開催されている ・平成 30 年度（2018 年度）に防球フェンスのかさ上げ工事、ベンチ取替工事やバックネット張替工事などを実施（約 6 か月休館） ・令和元年度（2019 年度）に、外壁塗装工事や照明設備改修工事などの大規模改修工事を実施 <table border="1" data-bbox="427 1093 1359 1249"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>121,271</td> <td>104,870</td> <td>98,213</td> </tr> <tr> <td>利用満足度^{※1}（%）</td> <td>78.1</td> <td>79.8</td> <td>79.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 H30.2、H31.2、R2.2 に実施した利用者アンケートにおいて、「満足している」「よかった」と回答した人の割合。</p>			平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	利用者数（人）	121,271	104,870	98,213	利用満足度 ^{※1} （%）	78.1	79.8	79.8
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度											
利用者数（人）	121,271	104,870	98,213											
利用満足度 ^{※1} （%）	78.1	79.8	79.8											
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロ東西線「西葛西駅」から徒歩約 5 分 													

施設種別	屋外スポーツ施設（球技場・グラウンド）													
施設名称	水辺のスポーツガーデン													
運営形態	指定管理者													
整備年／経過年数	平成 21 年（2009 年）／13 年													
所在地	江戸川区東篠崎 2 丁目 3 番先 （旧江戸川河川敷内）													
施設概要	敷地面積：37,915 ㎡、延床面積140 ㎡	©江戸川区												
主な施設	<p>少年野球・ソフトボール場：両翼 48m×2 面、両翼 42m×1 面、約 9,500 ㎡、 内野：土、外野：人工芝</p> <p>多目的広場：1 面、45m×115m、約 5,200 ㎡（令和 4 年度（2022 年度）中に芝化予定）</p> <p>テニスコート：2 面、約 1,600 ㎡（40m×40m に 2 面）、砂入り人工芝コート</p> <p>テニス・フットサル兼用コート：2 面、約 2,200 ㎡（54m×40m に 2 面）、砂入り人工芝コート</p> <p>ローラーコート：約 4,200 ㎡、スピードコート（1 周 200m、バンク（傾斜面）あり）、 平坦部分（25m×50m）、スケートボードにも使用可</p> <p>ジョギングコース：幅 2m、1 周約 550m、ゴムチップ舗装</p> <p>夜間照明あり</p> <p>駐車場：55 台（有料）</p>													
主な利用種目	少年野球、ソフトボール、テニス、フットサル、ローラースケート、スケートボード、ジョギング など													
土地状況	都市計画緑地（江戸川緑地）													
施設の状況	<p>・令和元年度（2019 年度）に、管理棟屋根補修工事やローラーコートリンク内全面補修工事などの小規模修繕を実施</p> <table border="1" data-bbox="427 1131 1359 1288"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>353,147</td> <td>369,836</td> <td>355,469</td> </tr> <tr> <td>利用満足度※1（%）</td> <td>80.3</td> <td>88.7</td> <td>77.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 H30.2、H31.2、R2.2 に実施した利用者アンケートにおいて、「満足している」「よかった」と回答した人の割合。</p>			平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	利用者数（人）	353,147	369,836	355,469	利用満足度※1（%）	80.3	88.7	77.4
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度											
利用者数（人）	353,147	369,836	355,469											
利用満足度※1（%）	80.3	88.7	77.4											
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・都営新宿線「篠崎駅」からバス約 8 分 + 徒歩約 13 分 ・都営新宿線「瑞江駅」からバス約 8 分 + 徒歩約 13 分 ・都営新宿線「一之江駅」からバス約 13 分 + 徒歩約 13 分 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="874 1332 1077 1697">  </div> <div data-bbox="1085 1332 1417 1697">  </div> </div>													

3.2 施設実態の把握

3.2.1 老朽化の程度

令和3年（2021年）に策定された『江戸川区文化共育部個別施設計画』では、対象施設の老朽化の程度について、以下のとおり整理している。

総合体育館とスポーツランドについては、経過年数より、設備等の老朽化が進んでいるとみられ、総合体育館については、施設の外部についても広範囲に劣化がみられる。

【スポーツ施設】									
No.	施設名	構造	建築年度	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
1	総合体育館	RC	S45	50	C	C	C	C	C
2	総合体育館 アーチェリー場	S	H22	10	A	A	A	A	A
3	スポーツランド	SRC	S57	38	A	A	C	C	C
4	スポーツセンター	SRC	S56	39	A	A	B	B	C
5	陸上競技場	SRC	S59	36	A	A	A	B	A
6	江戸川区球場	SRC	S59	36	A	A	C	A	C
7	臨海球技場	SRC	H1	31	B	B	B	B	B
8	水辺のスポーツ ガーデン	建物 なし	—	—	—	—	—	—	—

【コミュニティ会館等】									
No.	施設名	構造	建築年度	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
6	小松川さくらホール	SRC	H10	22	A	A	B	B	B
20	小岩アーバンプラザ	SRC	H2	30	A	A	B	B	C

目視による評価（屋根・屋上、外壁）		経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）	
評価	基準	評価	基準
A	概ね良好	A	20年未満
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	B	20～40年未満
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	C	40年以上
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

出典：江戸川区文化共育部個別施設計画（R3）

3.2.2 稼働率

対象の主な施設の稼働状況について、各部の提供資料（年次報告書等）より以下の通り整理した。

対象の主な施設の稼働状況として、全体的に稼働率の高い施設が多く、特にアリーナ施設はほぼ100%に近い稼働率となっている。

一方で、水辺のスポーツガーデンや臨海球技場の少年野球場は平日利用が少ないため、稼働率が3～5割程度と他と比較して低い傾向にある。

(1) アリーナ

1) 対象施設

- ①総合体育館 主競技場（約 1,300 m²）
- ②スポーツセンター 大体育室（約 1,700 m²）
- ③スポーツセンター 小体育室（約 690 m²）

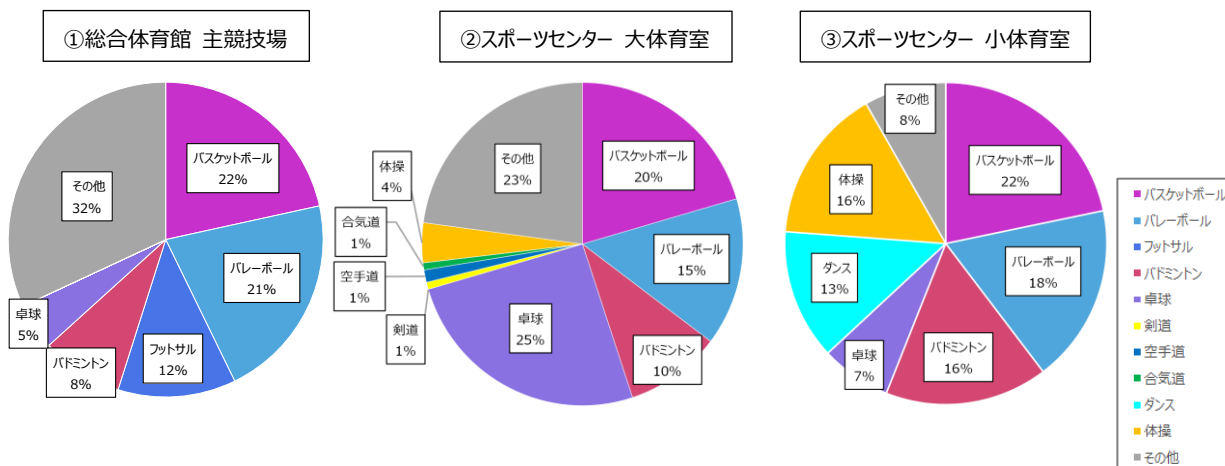
2) 利用状況

施設名	年度	利用人数（人）※1	稼働率（%）※2
①総合体育館 主競技場	平成 29 年度	111,556	99.5
	平成 30 年度	102,459	97.2
	令和元年度	101,843	92.3
②スポーツセンター 大体育室	平成 29 年度	201,007	98.8
	平成 30 年度	148,328	98.3
	令和元年度	162,298	97.1
③スポーツセンター 小体育室	平成 29 年度	116,307	94.6
	平成 30 年度	85,118	93.7
	令和元年度	81,414	95.5

※1 団体利用(貸切利用)枠を算出

※2 稼働率は、団体利用(貸切利用)枠の、貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出

<団体利用の利用種目（令和元年度（2019年度））>



<個人利用（一般公開、教室等）の主な内容>

施設名	主な内容
①総合体育館 主競技場	体操、卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、器械体操 等
②スポーツセンター 大体育室	体操、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球 等
③スポーツセンター 小体育室	バドミントン、車いすラグビー、車いすバスケットボール、ゴールボール 等

<大会・イベント等開催状況>

総合体育館の主競技場は、春と秋を中心に、様々な種目の区民大会で利用されている。また、年間を通して各競技の連盟大会などに利用されている。

スポーツセンターの大体育室や小体育室は、年間を通して、東京都大会予選会や地域の大会などに利用されている。種目としてはバスケットボールやバレーボール、ドッジボール、バドミントン、卓球などが多い傾向にある。また、令和2年度（2020年度）には、日本バレーボールリーグであるV3リーグの試合が4試合開催された。

① 総合体育館 主競技場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	スペシャルオリンピックス冬季地区大会 卓球・バスケットボール・空手道・バレーボール 区民大会
5月	バドミントン・バレーボール・バスケットボール・フォークダンス 区民大会 わんぱく相撲 総体フェスティバル 江戸川スポーツライフプログラム 江戸川区スポーツチャレンジデー
6月	バレーボール・剣道・バスケットボール・中体連 区民大会 卓球 連盟大会 福祉作業所合同運動会 区子連鹿本支部球技大会 江戸川スポーツライフプログラム
7月	江戸川スポーツライフプログラム 墨東五区バレーボール大会 フロアボール 連盟大会 卓球 連盟大会 くすのきクラブ輪投げ大会 剣道 連盟大会
8月	バレーボール 連盟大会 江戸川スポーツライフプログラム バレーボール・バドミントン 区民大会 第7回輪投げ大会
9月	バスケットボール・バレーボール・バドミントン・空手道・中体連・バスケットボール 区民大会 江戸川スポーツライフプログラム
10月	バスケットボール・バレーボール・トランポリン・剣道・バスケットボール・フォークダンス 区民大会 心の交流スポーツ大会 バレーボール・卓球 連盟大会 リズム運動大会 江戸川スポーツライフプログラム

11月	バスケットボール 区民大会 全国青年大会 リズム運動地区交流会 江戸川の子どもドッチビー大会 障害者スポーツデーイベント
12月	空手・バレーボール・卓球 連盟大会 江戸川スポーツライフプログラム
1月	バスケットボール・フロアボール 連盟大会 江戸川スポーツライフプログラム
2月	バスケットボール・卓球・バレーボール 連盟大会 ドッチビーフェスティバル 2019 江戸川スポーツライフプログラム

② スポーツセンター 大体育室（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	えどがわスポーツライフプログラム 第72回総合体育祭開会式 第32回葛西地区ママさん卓球愛好会 イオン春の大会
5月	第6ブロックバスケットボール大会 第38回全日本クラブ選手権大会東京予選会&第69回全日本実業団選手権大会東京予選会 江戸川区スポーツチャレンジデー2019 オープニングセレモニー
6月	第74回国民体育大会卓球競技会東京都予選会・第37回全国ホープズ卓球大会予選会 葛西地区ママさんバレーボール愛好会 あいカップ争奪戦 えどがわスポーツライフプログラム 第62回全日本社会人バドミントン選手権大会東京都予選会 第18回スーパードッジボール大会 墨東五区卓球大会
7月	墨東五区バレーボール大会 東卓 前期リーグ戦 平成31年度第58回東京都中学校総合体育大会・第72回東京都中学校卓球選手権大会
8月	えどがわスポーツライフプログラム 平成31年度全日本選手権大会（マスターズの部）予選会 第106回全国職域学生かるた大会(D級) 第7回輪投げ大会
9月	江戸川区立小学校特別支援学級連合運動会 ダンス発表会
10月	えどがわスポーツライフプログラム 葛西北地区小学校 PTA 連合協議会 球技大会(バレーボール、バドミントン、バレーボール、卓球) 第40回リズム運動大会・アトラクション練習会
11月	リズム運動葛西地区交流会 第68回全国青年大会 葛西地区中学校 PTA 連合 球技大会 (バレーボール・卓球) 第4回バラスポーツフェスタえどがわ 葛西地区ママさん卓球愛好会 第41回区長杯争奪戦 葛西地区ママさんバレーボール愛好会 第38回区長杯争奪戦 全剣連 居合道六・七段審査会
12月	えどがわスポーツライフプログラム 第72回東京卓球選手権大会予選会（年代別） 平成31年度第62回東京都中学校新人卓球大会
2月	葛西地区ママさんバレーボール愛好会 イオンカップ争奪戦 2019-20 V-LEAGUE V2 女子 東京江戸川大会 スーパードッジボール大会
3月	ダンス発表会

③ スポーツセンター 小体育室（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	第72回総合体育祭開会式
5月	第6ブロックバスケットボール大会 第38回全日本クラブ選手権大会東京予選会&第69回全日本実業団選手権大会東京予選会
6月	第74回国民体育大会卓球競技会東京都予選会 第37回全国ホープス卓球大会予選会 第62回全日本社会人バドミントン選手権大会東京都予選会(シングルス・混合ダブルス) 第18回スーパードッジボール大会
7月	東卓 前期リーグ戦 平成31年度第58回東京都中学校総合体育大会 第72回東京都中学校卓球選手権大会
8月	平成31年度全日本選手権大会（マスタースの部）予選会
9月	第40回リズム運動大会アトラクション練習会
10月	第40回リズム運動大会・アトラクション練習会 葛西北地区小学校PTA連合協議会 球技大会(バレーボール、バドミントン、バレーボール、卓球)
11月	リズム運動葛西地区交流会 第68回全国青年大会 葛西地区中学校PTA連合 球技大会（バレーボール・卓球） 第4回パラスポーツフェスタえどがわ
12月	第72回東京卓球選手権大会予選会（年代別） 平成31年度第62回東京都中学校新人卓球大会
2月	2019-20 V-LEAGUE V2女子 東京江戸川大会

(2) 柔剣道場

1) 対象施設

- ①総合体育館 柔道場（約190㎡）
- ②総合体育館 剣道場（約190㎡）
- ③スポーツセンター 柔道場（約260㎡）
- ④スポーツセンター 剣道場（約260㎡）

2) 利用状況

施設名	年度	利用人数(人)※1	稼働率(%)※2
①総合体育館 柔道場	平成29年度	18,307	78.7
	平成30年度	18,235	84.4
	令和元年度	18,291	81.0
②総合体育館 剣道場	平成29年度	14,077	68.9
	平成30年度	14,793	71.6
	令和元年度	15,625	74.4
③スポーツセンター 柔道場	平成29年度	45,394	86.2
	平成30年度	36,777	87.4
	令和元年度	41,376	88.0
④スポーツセンター 剣道場	平成29年度	39,388	70.3
	平成30年度	30,928	65.9
	令和元年度	33,246	60.0

※1 団体利用(貸切利用)枠を算出

※2 稼働率は、団体利用(貸切利用)枠の、貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出

<大会・イベント等開催状況>

総合体育館の柔剣道場は、主に区民大会や連盟大会に利用されている。
 スポーツセンターの柔剣道場は、主に講習会などに利用されている。

①・②総合体育館 柔道場・剣道場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
5月	総体フェスティバル 江戸川区スポーツチャレンジデー
6月	剣道・なぎなた 区民大会
9月	柔道会 連盟大会
10月	剣道・少林寺拳法・なぎなた 区民大会
11月	合気道 区民大会 障害者スポーツデーイベント 柔道 連盟大会

③ スポーツセンター 柔道場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
5月	一般社団法人日本マスターズ水泳協会短水路大会(江戸川会場)
11月	全剣連 居合道六・七段審査会
12月	柔道 連盟大会

④ スポーツセンター 剣道場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
5月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会 一般社団法人日本マスターズ水泳協会短水路大会(江戸川会場)
6月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
7月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
8月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
9月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
10月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
11月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会 全剣連 居合道六・七段審査会
12月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
1月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
2月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会
3月	江戸川区剣道連盟 剣道講習会

(3) トレーニングルーム

1) 対象施設

- ①総合体育館 トレーニング室（約 190 m²）
- ②スポーツセンター トレーニング室（約 190 m²）
- ③スポーツランド 健康ルーム（約 200 m²）
- ④小岩アーバンプラザ 健康ルーム（約 110 m²）

2) 利用状況

施設名	年度	利用人数（人）
①総合体育館 トレーニング室	平成 29 年度	59,507
	平成 30 年度	61,109
	令和元年度	53,790
②スポーツセンター トレーニング室	平成 29 年度	86,286
	平成 30 年度	65,110
	令和元年度	61,800
③スポーツランド 健康ルーム	平成 29 年度	38,129
	平成 30 年度	39,486
	令和元年度	33,817
④小岩アーバンプラザ 健康ルーム	平成 29 年度	8,059
	平成 30 年度	8,239
	令和元年度	7,893

(4) プール

1) 対象施設

- ①総合体育館 温水プール（25m×13m 6コース）
- ②スポーツセンター 温水プール（25m×15m 7コース）
- ③スポーツランド プール（50m×30m）※夏季（7・8月）のみ営業
- ④小岩アーバンプラザ スカイプール（25m×10.95m 6コース）
- ⑤小松川さくらホール プール（25m×12m 6コース）

2) 利用状況

施設名	年度	利用人数（人）※1
①総合体育館 温水プール	平成 29 年度	111,488
	平成 30 年度	107,056
	令和元年度	88,288
②スポーツセンター 温水プール	平成 29 年度	256,767
	平成 30 年度	209,836
	令和元年度	244,239

③スポーツランド プール(夏期のみ)	平成 29 年度	39,743
	平成 30 年度	42,735
	令和元年度	33,910
④小岩アーバンプラザ スカイプール	平成 29 年度	81,004
	平成 30 年度	81,744
	令和元年度	73,134
⑤小松川さくらホール プール	平成 29 年度	79,559
	平成 30 年度	69,409
	令和元年度	63,799

※1 利用人数は団体利用・個人利用の合計

<大会・イベント等開催状況>

プールは、基本的に一般公開利用となっており、貸切利用は連盟大会やマスターズ大会、パラスポーツのイベントなどに利用されている。

① 総合体育館 温水プール（平成 30 年度（2018 年度））

主な内容	
5 月	総体フェスティバル
11 月	障害者スポーツデーイベント
12 月	水泳 連盟大会
3 月	水泳 連盟大会

② スポーツセンター 温水プール（令和元年度（2019 年度））

主な内容	
5 月	一般社団法人日本マスターズ水泳協会短水路大会(江戸川会場)
11 月	第 4 回パラスポーツフェスタえどがわ

※出典：「江戸川区総合体育館 平成 30 年度年次事業報告書」、「江戸川区総合体育館 令和元年度年次事業報告書」、「平成 30 年度 スポーツセンター 年次報告書」、「令和元年度 スポーツセンター 年次報告書」、「平成 30 年度 スポーツランド 年次報告書」、「令和元年度 スポーツランド 年次報告書」、「2018 年（平成 30 年）統計江戸川」、「2019 年（令和元年）統計江戸川」

(5) テニスコート・フットサルコート

1) 対象施設

【テニスコート】

- ①スポーツランド テニスコート（3面）※内、2面はフットサルコート兼用
- ②水辺のスポーツガーデン テニスコート（4面）※内、2面はフットサルコート兼用

【フットサルコート】

- ①スポーツランド フットサルコート（2面）※テニスコート兼用
- ②臨海球技場 フットサルコート（2面）
- ③水辺のスポーツガーデン フットサルコート（2面）※テニスコート兼用

2) 利用状況

【テニスコート】

施設名	年度	利用人数（人）	稼働率（%）※
①スポーツランド テニスコート	平成 29 年度	35,233	80.9
	平成 30 年度	35,961	75.8
	令和元年度	38,028	76.3
②水辺のスポーツガーデン テニスコート	平成 29 年度	56,099	73.9
	平成 30 年度	50,436	70.3
	令和元年度	52,043	76.9

※稼働率は、貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出

【フットサルコート】

施設名	年度	利用人数（人）	稼働率（%）※
①スポーツランド フットサルコート	平成 29 年度	28,084	84.5
	平成 30 年度	29,402	78.5
	令和元年度	31,324	81.9
②臨海球技場 フットサルコート	平成 29 年度	112,801	62.9
	平成 30 年度	126,344	60.6
	令和元年度	105,833	67.7
③水辺のスポーツガーデン フットサルコート	平成 29 年度	59,925	82.0
	平成 30 年度	62,365	80.1
	令和元年度	65,841	81.6

※稼働率は、貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出

<大会・イベント等開催状況>

水辺のスポーツガーデンのテニスコート（フットサルコート）は、年間を通じてテニス教室やフットサルリーグ、イベントなどに利用されている。

② 水辺のスポーツガーデン テニスコート（令和元年度（2019年度））※フットサル利用含む

	主な内容
4月	水辺の春まつり
5月	キッズテニス教室
6月	キッズテニス教室
7月	フットサルリーグ（夏季）
8月	フットサルリーグ（夏季）
9月	キッズテニス教室
10月	第14回 国際フットサル大会
1月	青空スポーツ科学塾 フットサルリーグ（冬季）
2月	フットサルリーグ（冬季） 青空スポーツ科学塾
3月	青空スポーツ科学塾

(6) グラウンド・陸上競技場

1) 対象施設

- ①陸上競技場 （トラック1周400m・8レーン／フィールド105m×70m）
- ②臨海球技場 多目的グラウンド（サッカー2面）
- ③水辺のスポーツガーデン 多目的広場（45m×115m）

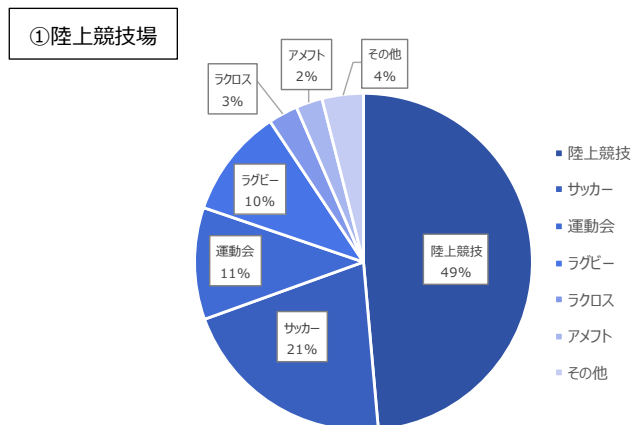
2) 利用状況

施設名	年度	利用人数(人)※1	稼働率(%)※2
①陸上競技場	平成29年度	336,163	41.1
	平成30年度	246,795	50.6
	令和元年度	261,773	44.4
②臨海球技場 多目的グラウンド	平成29年度	98,828	85.5
	平成30年度	112,545	85.3
	令和元年度	99,289	82.1
③水辺のスポーツガーデン 多目的広場	平成29年度	103,170	85.1※3
	平成30年度	109,385	83.8※3
	令和元年度	103,516	82.8※3

※1 利用人数は団体利用・個人利用の合計

※2・3 稼働率は、団体利用(貸切利用)枠の貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出（水辺のスポーツガーデンのみ一般開放を含めた稼働率）

<利用種目（令和元年度（2019年度））>



<大会・イベント等開催状況>

陸上競技場は、トラックを使用する陸上競技の大会から、フィールドを使用するサッカー、ラグビーなどの大会まで、年間を通じて多くの試合や大会などで利用されている。関東サッカーリーグやラグビーのジャパンラグビーリーグワンの公式戦会場としても利用されている。

水辺のスポーツガーデンは、主にイベントやフットサルの講習会に利用されている。

臨海球技場は、区民のサッカー大会や学生のラグビー、ラクロスなどの大会に利用されている。交流会や講習会などにも利用されている。

① 陸上競技場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
6月	都高校2・3支部学年別陸上 車椅子アスリート教室 篠崎高校体育祭 関東一高体育祭 ジュニア育成強化練習会 春季区民社会人アマフト 大学東西交流ラグビー/都高校セブンズ 墨田区立中学校夏季総体陸上 ラクロス国際親善試合 関東サッカーリーグ1部 春季区民サッカー大会
7月	関東サッカーリーグ1部 アイリスボウル 車椅子アスリート教室 関東マスターズ陸上 ふれあいかけっこ教室 ジュニア育成強化練習会 北区ナイター陸上競技大会

8月	関東大学サッカーリーグ 江戸川ジュニア陸上 ジュニア育成強化練習会 ふれあいかけっこ教室 墨東五区対抗陸上競技大会 都高校 2・3 支部夏季競技会 墨田区立中学校夏季記録会 秋季区民サッカー総合開会式 都高校新人陸上 2・3 支部予選
9月	江東区民陸上競技大会 車椅子アスリート教室 ジュニア育成強化練習会 葛西南部区民運動会 MOFトレーニング 江戸川区立中学連合陸上 首都圏シニアラグビー 葛西中央区民運動会 キッズコロシウム大会 中央区立中学連合陸上 荒川区立中学連合陸上 秋季区民陸上競技大会 墨田区立中学連合陸上 関東大学サッカーリーグ
10月	ジュニア育成強化練習会 江東区立中学校連合陸上 全国専門学校対抗陸上 北区陸上競技選手権 MOFトレーニング なでしこリーグ 2 部 秋季区民サッカー大会 車椅子アスリート教室 東京マスタース陸上 にっこにこフェスタ 江戸川区小学校体育大会 江戸川マラソン大会
11月	MOFトレーニング ジュニア育成強化練習会 全国高校ラグビー都予選準決勝 ふれあいかけっこ教室 都高校 2・3 支部秋季競技会 秋季区民ラグビー祭 車椅子アスリート教室 全国女子ラグビー選手権 関東ラグビー協会公式戦
12月	にっこにこフェスタ ジュニア育成強化練習会 アーバンボウル 全日本大学サッカー選手権 ラクロス全日本選手権 東日本中学ラグビー大会 全国中学ラグビー大会
3月	リトルリーグ東京連盟開幕式 軟式野球連盟審判講習会 春季高校野球一次予選 関東公立高校女子ソフト 春季区民軟式野球大会

② 水辺のスポーツガーデン 多目的広場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	フットサルアカデミー 青空スポーツ科学塾 水辺の春まつり
5月	フットサルアカデミー 青空スポーツ科学塾
6月	フットサルアカデミー 青空スポーツ科学塾
7月	フットサルアカデミー フラッグフットボール講習会
8月	フットサルアカデミー フラッグフットボール講習会
9月	フットサルアカデミー
10月	フットサルアカデミー 第14回 国際フットサル大会
11月	フットサルアカデミー 知的障害児のためのわくわく運動広場
12月	フラッグフットボール区民大会 フットサルアカデミー
1月	フットサルアカデミー
2月	フラッグフットボール講習会 フットサルアカデミー
3月	フラッグフットボール講習会 フットサルアカデミー

③ 臨海球技場 多目的グラウンド（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	春季区民サッカー少年部・壮年部 東京都クラブラグビー
5月	ラグロスあすなるカップ 春季区民サッカー少年部・中等部 ラグビースクール交流会 少年サッカー指導者講習会 ラグビー中学生交流会 チャレンジデー
6月	春季区民ラグビー大会、サッカー女子部、社会人アメフト、ラグビー祭 江戸川プライマリー ラグロス国際親善試合 区中夏季総体サッカー
7月	春季区民サッカー少年部・中等女子部・壮年部 都中学夏季総体ソフト
8月	春季区民サッカー中等女子部 全日本女子軟式野球大会 東日本クラブラグロス 関東学生ラグロス 江戸川プライマリー
9月	秋季区民サッカー壮年部・少年部・中等女子部、社会人アメフト 関東学生ラグロス 区中秋季総体サッカー 江戸川プライマリー 関東クラブラグビー大会

10月	区中秋季総体サッカー 東日本クラブラクロス 江戸川プライマリー 秋季区民ラグビー大会、サッカー中等女子部・少年部・中等部、社会人アマフト 江戸川ラグビー協会五ヶ国交流大会 全国高校ラグビー都予選準々決勝
11月	秋季区民サッカー少年部 タッチラグビー全国大会 江戸川プライマリー 関東社会人ラグビー大会 特体連サッカー大会 関東学生ラクロス 秋季区民サッカー壮年部・社会人アマフト ラクロス全日本選手権
12月	秋季区民サッカー壮年部・女子部 江戸川プライマリー ラクロス全日本選手権 全国中学ラグビー大会
1月	新春親善少年サッカー 江戸川プライマリー 秋季区民サッカー壮年部
2月	秋季区民サッカー少年部 江戸川プライマリー
3月	秋季区民サッカー少年部 ラクロス日本代表トライアル

(7) 野球場・ソフトボール等

1) 対象施設

- ①江戸川区球場 野球場（1面・両翼90m 中堅118m）
- ②臨海球技場 野球場（少年野球場4面）
- ③水辺のスポーツガーデン 少年野球・ソフトボール場（3面）

2) 利用状況

施設名	年度	利用人数（人）	稼働率（%）※
①江戸川区球場 野球場	平成29年度	121,271	91.0
	平成30年度	104,870	95.2
	令和元年度	98,213	93.3
②臨海球技場 野球場	平成29年度	40,700	58.4
	平成30年度	47,115	52.3
	令和元年度	41,320	51.7
③水辺のスポーツガーデン 少年野球・ソフトボール場	平成29年度	105,136	36.4
	平成30年度	112,732	38.2
	令和元年度	96,978	35.6

※稼働率は、貸切合計時間を貸切可能時間で除して算出

<大会・イベント等開催状況>

江戸川区球場は、少年野球からマスターズ大会まで、年間を通じて様々な野球の大会に利用されており、東京都高等学校野球大会の会場としても利用されている。

水辺のスポーツガーデンは、主に地域の野球の大会やイベントに、臨海球技場は、主に少年野球の大会に利用されている。

① 江戸川区球場 野球場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	春季東京都高校野球大会 東京都大学ソフト女子1部リーグ リトルシニア関東大会 関東ボーイズリーグ
5月	リトルシニア関東大会 全日本学童江戸川区大会 マスターズ甲子園 葛西少年野球中学選抜大会 ポニーブロンコ全日本選手権 日本製パン野球大会 チャレンジデー
6月	関東一高親善試合 日本製パン野球大会 マスターズ甲子園 春季区民軟式野球大会 区中学夏季総体野球
7月	高校野球選手権東京大会
8月	リトルシニア全日本選手権 江戸川区学童親善野球 全日本女子軟式野球大会 全国高校定通制軟式野球 ジャイアンツカップ 葛西少年野球中学選抜大会 全国官公庁野球中央大会 秋季区民軟式野球大会
9月	リトル・シニア開幕式 秋季東京都高校野球一次予選 JP 労組野球大会 区中秋季総体野球 女子プロ野球リーグ
10月	関東地区信用保証協会野球 女子軟式野球ジャパンカップ 秋季東京都高校野球大会 学童オールスター 墨東五区軟式野球選手権 全都個人タクシー
11月	学童オールスター 秋季区民軟式野球大会 全都個人タクシー 全国青年大会 葛西支所青年会ソフト 西支部マスターリーグ クリーン少年野球東西対抗
12月	小松川・平井地区6球会45周年記念イベント

3月	リトルリーグ東京連盟開幕式 軟式野球連盟審判講習会 春季高校野球一次予選 関東公立高校女子ソフト 春季区民軟式野球大会
----	---

② 水辺のスポーツガーデン 少年野球場（令和元年度（2019年度））

	主な内容
4月	O B A 東部学童野球連合 水辺の春まつり～スポーツフェスタ～
5月	東部学童野球連合 O B A 京葉地区大会
6月	東部学童野球連合 O B A 京葉地区大会
7月	青空スポーツ O B A 東部学童野球連合 第 53 回 少年野球大会
8月	O B A 東部学童野球連合 青空スポーツ
9月	東部学童野球連合 青空スポーツ O B A
10月	O B A 東部学童野球連合
11月	O B A 東部学童野球連合 江戸川区オレンジボール大会
12月	東部学童野球連合 O B A 第 11 回 東京フレンドシップソフトボール大会
2月	東部学童野球連合 第 17 回 京葉首都圏江戸川大会 O B A
3月	第 17 回 京葉首都圏江戸川大会 O B A 東部学童野球連合

③ 臨海球技場 少年野球場（令和元年度（2019年度））

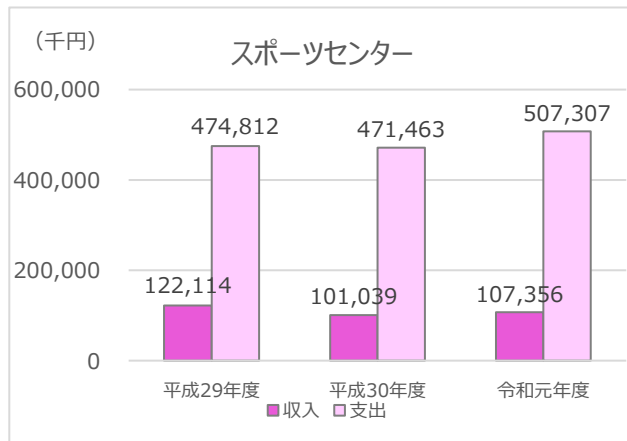
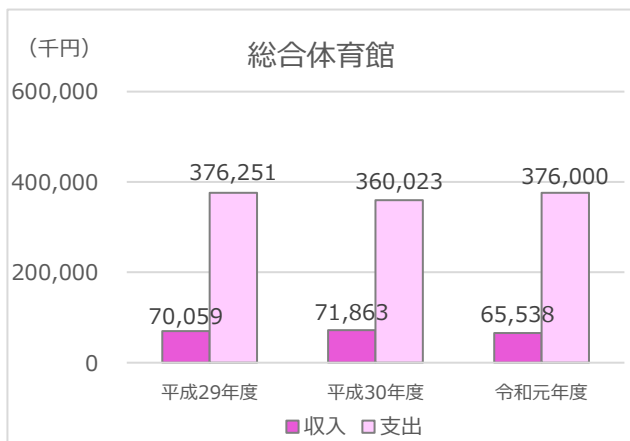
	主な内容
4月	女子軟式野球関東大会 葛西少年野球春季大会
5月	葛西少年野球春季大会 都知事杯江戸川区大会 日本製パン野球大会 チャレンジデー
6月	都知事杯江戸川区大会 日本製パン野球大会
7月	葛西警察署少年野球大会 都中学夏季総体ソフト
8月	全日本女子軟式野球大会 東京新聞杯新人戦

9月	東京新聞杯新人戦 葛西少年野球秋季大会
10月	葛西少年野球秋季大会 葛西南地区 PTA ソフト 学童オールスター
11月	学童オールスター
12月	選抜交流軟式野球大会
3月	葛西少年野球春季大会 関東公立高校女子ソフト

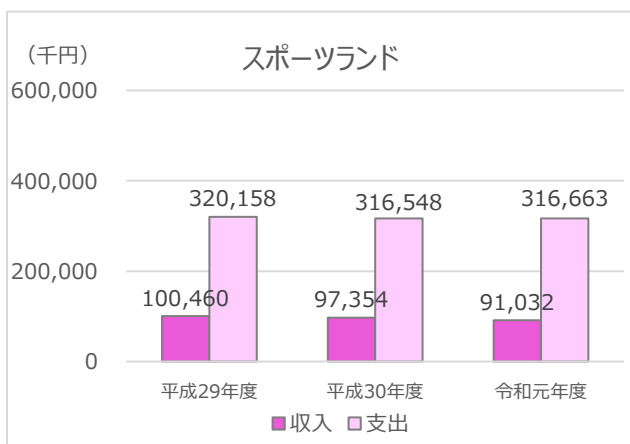
3.2.3 収益性

本区の大型スポーツ施設は支出額（指定管理施設総コスト）が収入額（利用料金）を上回っている。さらにその多くが更新時期を迎えていることから、大規模改修などによる維持管理費の増加が懸念されており、施設の維持管理・運営のための費用確保が課題となっている。

(1) 屋内施設

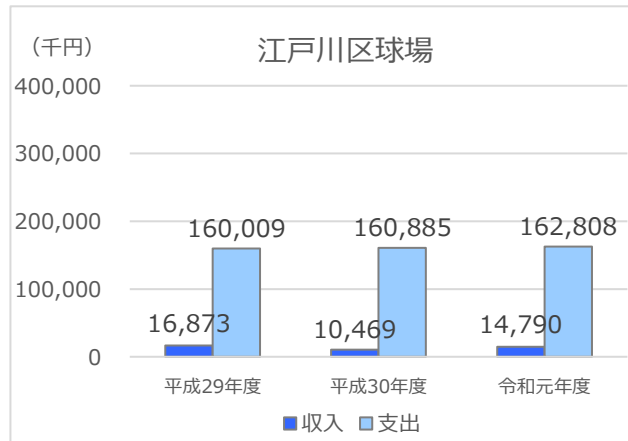
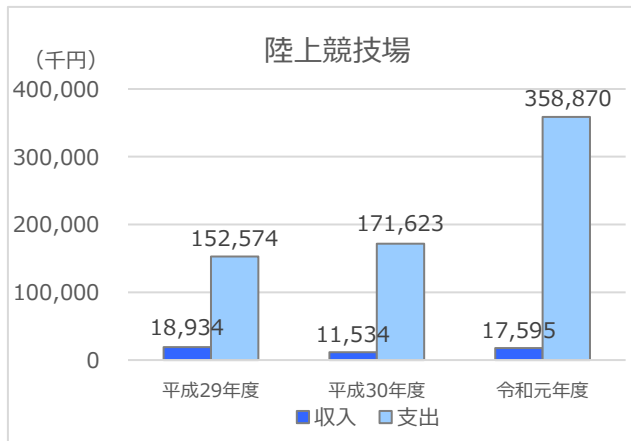


※平成30年度、約3か月間の改修工事実施

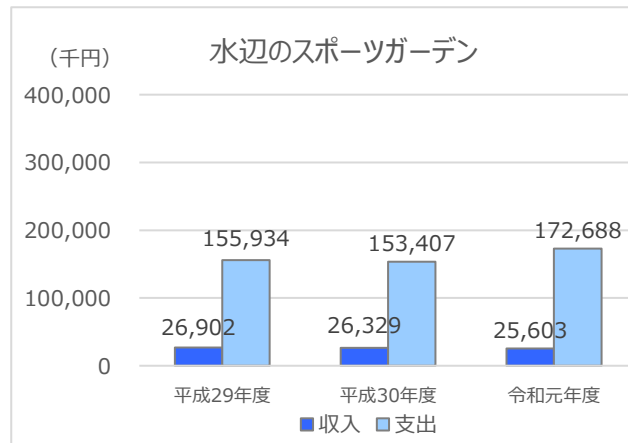
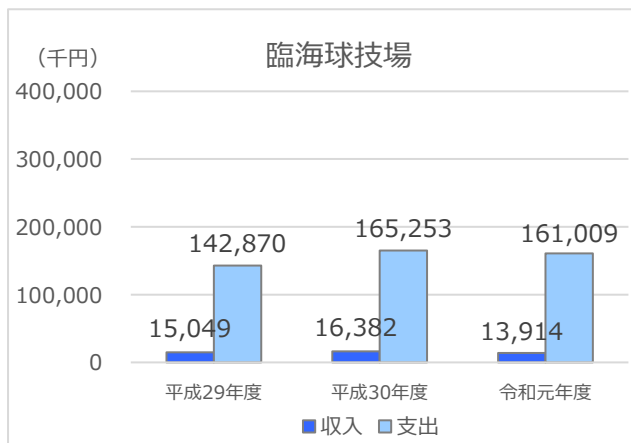


- 令和元年度（2019年度）は、新型コロナウイルス感染症拡大のため利用制限あり
- 収入…利用料金
- 支出…指定管理施設総コスト
- 小岩アーバンプラザ及び小松川さくらホールについては、スポーツ関連施設のみの収支を算出できないため、対象外とする

(2) 屋外施設

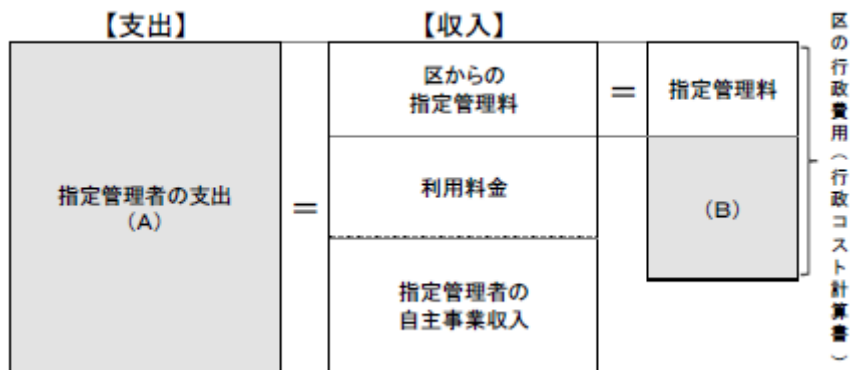


※平成30年度(2018年度)に約5か月間の工事実施
 ※令和元年度(2019年度)に約2か月間の工事実施、大規模改修工事実施のため維持補修費が著しく増加



- 令和元年度(2019年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため利用制限あり
- 収入…利用料金
- 支出…指定管理施設総コスト

指定管理施設総コスト…【指定管理者の支出(A)】+ (【区の行政費用】-【指定管理料】) (B)

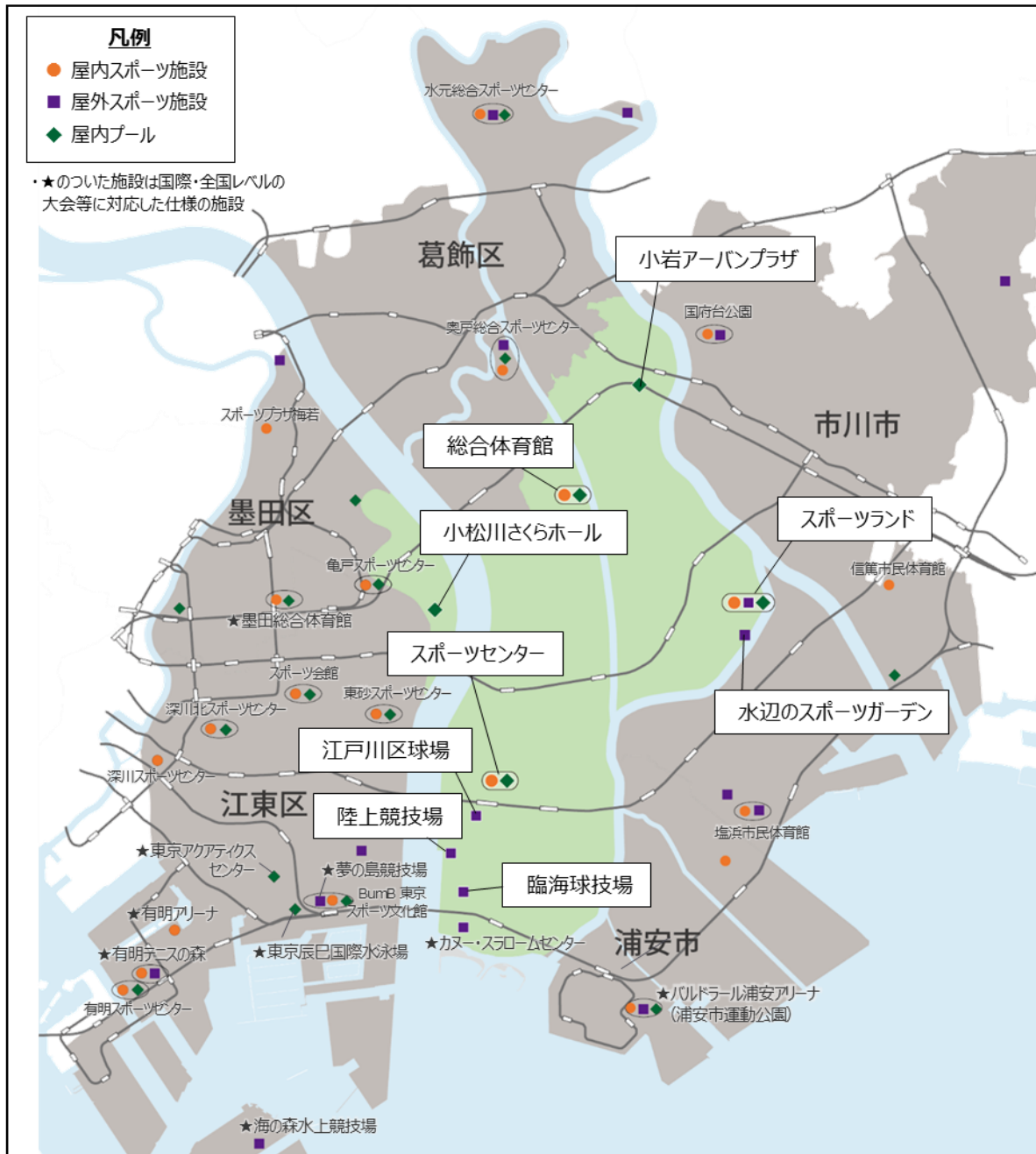


(出典：H29～R元「江戸川区財務諸表 財務レポート」)

3.3 近隣自治体の類似施設等の把握

本区に隣接する東京都墨田区・江東区・葛飾区、千葉県市川市・浦安市の主な公共スポーツ施設を以下のとおり公開情報をもとに整理した。

国際・全国レベルの大会等に対応した仕様の施設が墨田区、江東区、浦安市に整備されている。



※夏季期間のみ開設する屋外プールおよび建造物（管理用施設除く）のない屋外スポーツ施設を除く

自治体名	施設名	施設内容	住所	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	所管自治体
墨田区	墨田区総合体育館	メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、多目的競技場、トレーニング室、スタジオ、多目的広場、会議室、プール (25mプール、幼児用プール)	錦糸 4-15-1	19,837	-	墨田区
	スポーツプラザ梅若	体育館、会議室、トレーニング室	墨田 1-4-4	1,999	-	墨田区
	すみだスポーツ健康センター	プール (25mプール、幼児用プール、子どもプール、流水プール、ウォータースライダー)、トレーニング室	東墨田 1-6-1	4,126	-	墨田区
	両国屋内プール	プール (25mプール※公認プール)	横網 1-8-1	4,553	-	墨田区
	フクシ・エンタープライズ墨田フィールド (墨田区総合運動場)	トラック (全天候型舗装・300m×6レーン)、110m直走路、フィールド芝生、各種跳躍競技助走路、観客席 (固定席405席、芝生席)、トレーニング室、多目的室、調理室、会議室、宿泊室	堤通 2-11-1	2,742	16,342	墨田区
江東区	スポーツ会館	大体育室、小体育室、プール (25mプール、小プール)、柔道・剣道・弓道場、トレーニング室・マット室、サウナ、会議室	北砂 1-2-9	8,434	8,912	江東区
	深川スポーツセンター	大体育室、多目的ホール、多目的室、武道場、研修室、トレーニング室、幼児ルーム、クライミングウォール、ランニングコース	越中島 1-2-18	9,639	4,269	江東区
	亀戸スポーツセンター	大体育室、小体育室、プール (25mプール、小プール、幼児用プール)、トレーニング室、会議室	亀戸 8-22-1	5,824	3,006	江東区
	有明スポーツセンター	大体育室、レクリエーションホール、多目的室、プール (25mプール、小プール、スライダー)、トレーニング室、会議室	有明 2-3-5	体育館棟 9,155 プール棟 6,356	24,695	江東区
	東砂スポーツセンター	大体育室、プール (25mプール、小プール)、トレーニング室、会議室	東砂 4-24-1	5,189	3,145	江東区
	深川北スポーツセンター	大体育室、多目的室、プール (25mプール、小プール)、トレーニング室、研修室、談話室、プレイルーム	平野 3-2-20	5,477	6,674	江東区
	夢の島競技場	トラック (全天候型・400m×8レーン、直走路)、3000m障害走路、フィールド芝生、各種跳躍種目、観客席 (メインスタンド2300席、芝生スタンド2500席) ※日本陸連第2種公認施設	夢の島 1-1-2	-	27,000	江東区
	夢の島野球場	野球場・少年野球場 (軟式兼用2面・ソフトボール兼用)	夢の島 1-1-1	-	156,982	江東区
	新砂運動場	サッカー場、第一・第二運動場 (サッカー場・ソフトボール場兼用)、テニスコート (4面)、多目的運動場、ターゲットバードゴルフ場	新砂 3-9-1	-	68,126	江東区
	海の森水上競技場	競技コース、艇庫棟、グランドスタンド棟、フィニッシュタワー棟、屋外観客席、食堂	江東区海の森 3-6-44	-	約300,000	東京都
	Bumb 東京スポーツ文化館	■スポーツゾーン：メインアリーナ、サブアリーナ、マルチスタジオ、プール (25mプール、初心者用プール、幼児用プール、ウォータースライダー※夏季および期間限定) アーチERYフィールド、フットサルコート、フィットネスジム・スタジオ、スポーツサウナ・バス文化・学習施設、宿泊施設、レストラン	江東区夢の島 2-1-3	27,022	-	東京都
	東京辰巳国際水泳場*1	50mメインプール※公認プール、50mサブプール※公認プール、ダイビングプール※公認プール、観客席、会議室、レストラン	江東区辰巳 2-8-10	約22,772	約22,319	東京都
	東京アクアティクスセンター	50mメインプール※公認プール、50mサブプール※公認プール、ダイビングプール※公認プール、観客席	江東区辰巳 2-2-1	-	約32,920	東京都
	有明アリーナ*2	メインアリーナ、観客席、サブアリーナ	江東区有明 1-11-1	約36,600	約32,170	東京都
	有明テニスの森	屋外コート、インドアコート、ショーコート、コロシアム、芝生広場	江東区有明二丁目	-	約163,000	東京都

自治体名	施設名	施設内容	住所	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	所管自治体
葛飾区	奥戸総合スポーツセンター 温水プール館・エイトホール・ 野球場・テニスコート	プール（25m プール※公認プール、小プール、屋外流水プール・屋外親水プール（夏季のみ営業））、会議室、エイトホール、土俵、野球場、テニスコート（3面）	高砂 1-2-1	温水プール館 2,839 エイトホール 1,323	野球場・ テニスコート 13,416	葛飾区
	奥戸総合スポーツセンター 体育館・陸上競技場	■体育館：大体育室、小体育室、武道場、弓道場、エアライフル場、トレーニングルーム、アーチェリー場、会議室 ■陸上競技場：トラック（全天候型・400m×8レーン、直走路）、フィールド芝生、各種跳躍種目、観客席（1,000人収容）※日本陸連第4種公認施設	奥戸 7-17-1	体育館 11,900	陸上競技場 29,600	葛飾区
	奥戸総合スポーツセンター 少年野球場	少年野球場	高砂 1-1-1	—	4,144	葛飾区
	水元総合スポーツセンター （体育館・テニスコート・多目的広場）	メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、フィットネススタジオ、トレーニングルーム、会議室、地域交流ホール、プール（25m プール※公認プール、小プール、幼児用プール）、テニスコート（2面）、多目的広場	水元 1-23-1	体育館 12,037	—	葛飾区
	東金町運動場	テニスコート（6面）、少年野球場、多目的広場、（スポーツライミングセンター）	東金町 8-27-1 東金町 8-31-1	—	30,922	葛飾区
市川市	塩浜市民体育館	第一体育館、第二体育館、剣道場、柔道場、相撲場、トレーニング室、テニスコート（1面）	塩浜 4-9-1	7,996	—	市川市
	市川市スポーツセンター （国府台公園）	■国府台市民体育館：第一体育館、第二体育館、柔道場、剣道場、トレーニング室 ■国府台陸上競技場：トラック（400m×6レーン、直走路）フィールド芝生、各種跳躍種目、観客席（1,300席）※日本陸連第4種公認施設 テニスコート（2面）、野球場	国府台 1-6-4	体育館 8,818	—	市川市
	信篤市民体育館	体育館、トレーニング室	高谷 1-8-2	1,125	—	市川市
	福栄スポーツ広場 （江戸川第二終末処理場）	野球場、テニスコート（7面）、ゲートボール（グラウンドゴルフ）場	福栄 4-32-4	—	22,080	市川市
	J：COM 北市川 スポーツパーク （北市川運動公園）	テニスコート（12面）、観覧席（1,026席）、クラブハウス、多目的広場	柏井町 4-277-1	—	37,369	市川市
	クリーンスパ市川	プール（25m プール、多機能プール、子供プール）、温浴施設、ジム、スタジオ	上妙典 1554	4,612	11,861	市川市
浦安市	浦安市運動公園	■バルドラル浦安アリーナ：メインアリーナ、サブアリーナ、第一武道場、第二武道場、弓道場、卓球室、卓球コーナー、トレーニング室、多目的室、会議室、プール（25m プール※公認プール、多目的プール、健康プール、リハビリプール、屋外プール※夏季のみ） ■プリオペッカ浦安競技場：トラック（400m×8レーン、110m直走路）、フィールド芝生、観客席※日本陸連第4種ライト公認施設 テニスコート、野球場、軟式野球場、スポーツコート、アーチェリー場、スケートボード場	舞浜 2 番地 27	バルドラル 浦安アリーナ 14,537	—	浦安市
	中央武道館	第一武道場、第二武道場、トレーニング室、会議室	猫実 1-18-15	2,373	3,072	浦安市

※夏季期間のみ開設する屋外プールおよび建造物（管理用施設除く）のない屋外スポーツ施設を除く

※各自治体・東京都 HP 等をもとに作成・面積は小数点以下四捨五入

* 1：東京辰巳アイスアリーナ（仮称）として令和 7 年度（2025 年度）開業予定

* 2：令和 4 年（2022 年）夏供用開始予定

4. 需要調査

4.1 アンケート調査

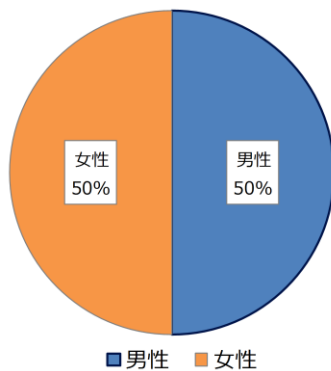
4.1.1 区民アンケート

(1) 調査の概要

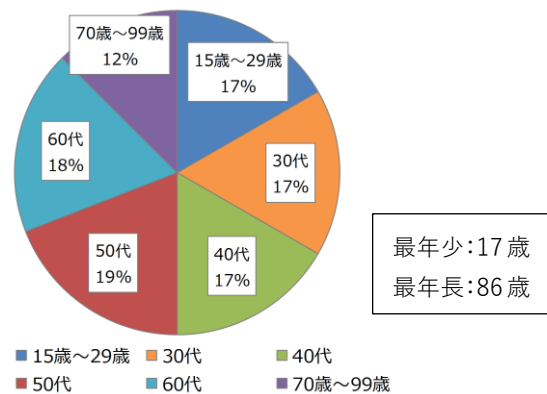
- ①実施時期：令和3年（2021年）4月6日（火）～18日（日）
- ②実施方法：民間リサーチ会社によるWEBアンケート
- ③対象者：10代～80代の区内在住者1,200人
- ④主な内容：
 - ・居住地について
 - ・現在行っているスポーツの種類
 - ・大型スポーツ施設の利用について
 - ・大型スポーツ施設の課題等について
 - ・今後行いたいスポーツについて
 - ・“みるスポーツ”について

⑤回答者の属性

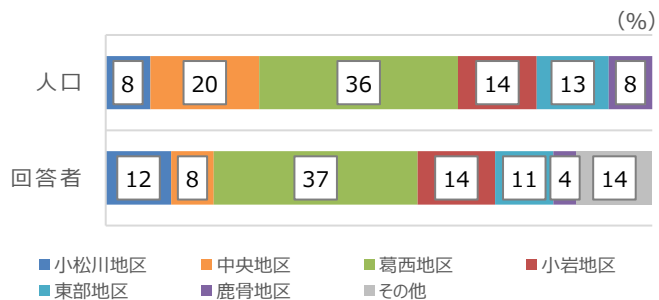
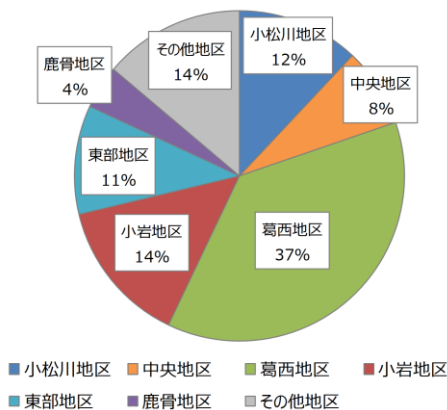
<性別>



<年齢>



<居住地区>



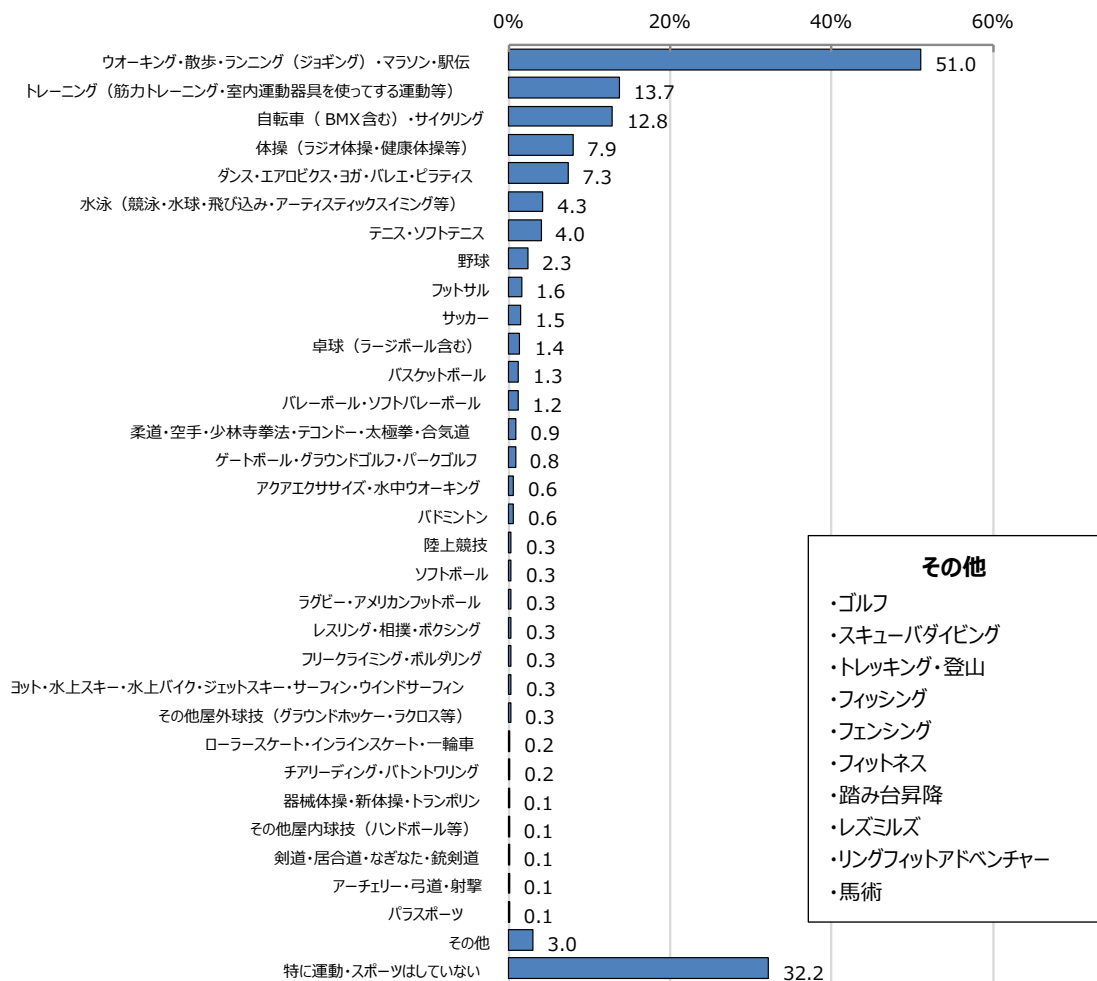
参考：区内の15歳以上の地区別年齢構成と回答者の比較

(2) 調査結果

① 現在行っているスポーツについて

Q1. この中にあなたが普段（新型コロナウイルス感染症流行の影響による運動中止期間は含めない）行っている運動やスポーツがあれば頻度の高いものから最大3つまであげてください。（学校の体育の授業として行ったものは除きます）

- 「ウォーキングやランニング」が51.0%と最も多く、次いで「トレーニング」（13.7%）、「自転車・サイクリング」（12.8%）、「体操」（7.9%）、「ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」（7.3%）と続く。
- 男女で大きく異なったのは、「ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」で、女性が13.0%に対し、男性は1.7%と極めて少ない。
- 70～99歳では、「ウォーキングやランニング」を68.0%の人が行っており、スポーツをしない人は21.3%と少ない。
- 「特に運動・スポーツはしていない」人は、男性が26.5%に対し、女性は37.8%と、男性に比べてスポーツを行っていない女性が多いことが伺える。
- スポーツをしない人が最も多い年代は50代であり、41.9%がしていなかった。



(%)

		n	ウォーキング・駅伝	陸上競技	自転車（BMX含む）	ローリースケート・インラインスケート	トレーニング（室内運動器具を使って）	体操（ラジオ体操・健康体操等）	ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	器械体操・新体操・トランポリン	チアリーディング・バトントワリング	水泳（競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング等）	アクアエクササイズ・水中ウォーキング	野球
全体		1200	51.0	0.3	12.8	0.2	13.7	7.9	7.3	0.1	0.2	4.3	0.6	2.3
性別	男性	600	53.8	0.5	16.2	0.3	15.0	7.3	1.7	0.2	0.2	5.7	0.3	4.3
	女性	600	48.2	0.2	9.5	0.0	12.3	8.5	13.0	0.0	0.2	2.8	0.8	0.3
年代	15歳～29歳	200	47.0	2.0	14.5	0.0	17.0	4.0	7.0	0.0	0.5	3.5	0.0	6.5
	30代	200	51.5	0.0	10.5	1.0	19.5	7.0	5.5	0.0	0.0	5.5	0.5	4.0
	40代	200	50.0	0.0	12.5	0.0	14.5	4.0	12.5	0.5	0.5	3.5	0.0	2.5
	50代	229	44.1	0.0	9.6	0.0	8.3	5.7	8.7	0.0	0.0	4.8	0.4	0.4
	60代	221	50.7	0.0	13.1	0.0	9.5	10.9	4.1	0.0	0.0	3.6	1.8	0.5
	70歳～99歳	150	68.0	0.0	18.7	0.0	14.7	18.7	6.0	0.0	0.0	4.7	0.7	0.0

		n	ソフトボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球（ラジボール含む）	バレーボール・ソフトバレー	バスケットボール	その他屋内球技（ハンドボール等）	サッカー	フットサル	ラグビー・アメリカンフットボール	ゲートボール・グラウンドゴルフ	その他屋外球技（グラウンドホッケー・ラクロス等）
全体		1200	0.3	4.0	0.6	1.4	1.2	1.3	0.1	1.5	1.6	0.3	0.8	0.3
性別	男性	600	0.5	5.5	0.3	1.5	1.0	2.0	0.2	2.8	2.8	0.7	1.0	0.3
	女性	600	0.2	2.5	0.8	1.3	1.3	0.5	0.0	0.2	0.3	0.0	0.7	0.2
年代	15歳～29歳	200	0.5	6.0	2.0	1.0	1.5	3.5	0.0	4.5	3.5	0.5	1.5	0.5
	30代	200	1.0	2.5	0.0	1.5	2.0	2.0	0.0	2.5	2.5	0.5	0.0	0.0
	40代	200	0.5	2.0	1.5	1.0	1.5	2.0	0.0	1.5	2.5	0.0	0.0	0.0
	50代	229	0.0	3.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.9	0.4
	60代	221	0.0	4.1	0.0	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.9	0.5
	70歳～99歳	150	0.0	6.7	0.0	5.3	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	2.0	0.0

		n	レスリング・相撲・ボクシング	柔道・空手・少林寺拳法・合気道・テコンドー・太極拳	剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	フリークライミング・ボルダリング	ヨット・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティン	フィッシング・ウインドサーフィン	ヨット・水上スキー・水上バイク・ジェットスキー・水上バイク	フィギュアスケート・アイスホッケー・スピードスケート	アーチェリー・弓道・射撃	障害者スポーツ	その他	特に運動・スポーツはしていない
全体		1200	0.3	0.9	0.1	0.3	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	3.0	32.2
性別	男性	600	0.7	1.0	0.2	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	26.5
	女性	600	0.0	0.8	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	2.0	37.8
年代	15歳～29歳	200	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	27.5
	30代	200	0.5	1.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	27.5
	40代	200	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0	34.0
	50代	229	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	41.9
	60代	221	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	5.9	36.2
	70歳～99歳	150	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	21.3

〈参考〉

国（スポーツ庁）と東京都（※参考）の調査における、現在実施しているスポーツ上位5種目を比較し、下表に示す。

- いずれもウォーキング等が最も多く、トレーニングや体操なども上位にあがっている。
- 区では自転車・サイクリングが上位にあるのが特徴的である。

※東京都の調査はスポーツ種目の分け方が大きく異なるため、参考とする。

＜上位種目の比較（現在実施しているスポーツ）＞

	江戸川区	国	（参考）東京都
1	ウォーキング・散歩・ランニング・マラソン・駅伝	ウォーキング	ウォーキング・散歩
2	トレーニング	トレーニング	体操
3	自転車・サイクリング	体操	軽い球技
4	体操	階段昇降	室内運動器具を使ってする運動
5	ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	ランニング・マラソン・駅伝	軽い水泳

国：令和2年スポーツ庁実施「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

東京都：平成30年東京都実施「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」

- Q2. “Q1”で回答した運動やスポーツについて、どのぐらいの頻度で実施していますか。
- Q3. “Q1”で回答した運動やスポーツについて、主にどの時間帯に実施していますか。
- Q4. “Q1”で回答した運動やスポーツについて、主にどこで実施していますか。
- Q5. “Q1”で回答した運動やスポーツについて、実施する場所を選ぶ際に最も重視することは何ですか。

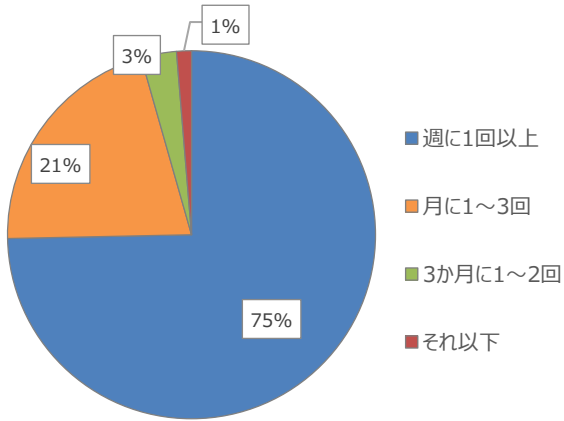
スポーツを行う頻度が週に1回以上の人割合（年代別）

	総数（人）	週に1回以上(%)
全体	1200	55.3
15歳～29歳	200	50.5
30代	200	57.0
40代	200	53.0
50代	229	48.9
60代	221	56.1
70歳～99歳	150	73.7

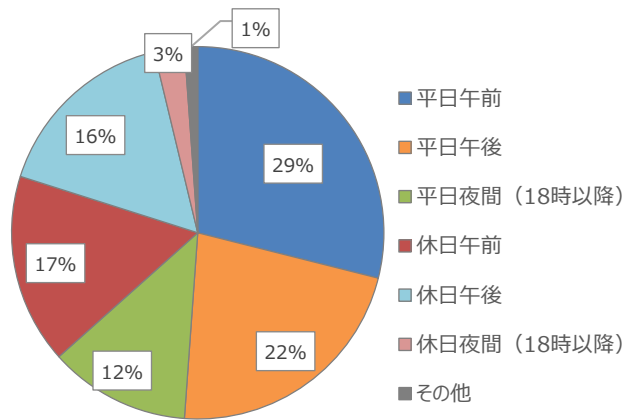
- 区民の半数以上が週に1回以上運動やスポーツを行っている。年代別にみると、70歳～99歳が非常に高く、50代が低い傾向にある。
- ウォーキング、トレーニング、自転車、体操、ダンスなど、専用の施設を使わずに実施でき、個人で行えるスポーツは、週に1回以上、平日に行う人が多い。場所は道路や公園、空き地や自宅・職場などで行っている人が多く、区内の公共施設の使用割合は比較的低い。
- 水泳など専用の施設を必要とし、個人で行えるスポーツは、定期的に行っている人が比較的多い。場所は区内の公共施設と民間のスポーツ施設が半々程度となっており、場所を選ぶ視点として、いつでも使えることや家から近いことなどが重視されている。
- テニスなど専用の施設を必要とし、少人数で行うスポーツは、ウォーキング、トレーニング、自転車、体操、ダンスなどと比較すると頻度は減るが、定期的に行っている人が多い傾向にある。実施する時間帯は、テニスは比較的休日が多い。場所は区内の公共施設の割合が比較的高く、場所を選ぶ視点として自宅から近いことや、利用料金が安いことが重視されている。
- 野球・フットサル・サッカーなど、専用の施設を必要とし、比較的大人数で行う屋外スポーツは、上記スポーツと比べると実施頻度が減る傾向にある。時間帯としては休日が7割以上となっている。場所は区内の公共施設、民間のスポーツ施設、学校体育施設などが多く、場所を選ぶ視点として施設・設備がきれいなことや設備が充実していることが重視されている。他の種目とは異なり、自宅から近いことはあまり重視されていない。
- 専用の施設を必要とし、比較的大人数で行う屋内スポーツは、種目により結果が異なった。バスケットボールは頻度として3か月に1～2回が多く、区内の公共施設や学校体育施設、民間のスポーツ施設などで休日に行っている傾向にある。場所を選ぶ視点としていつでも使えることやアクセスの良さなどが重視されている。バレーボールは週に1回以上が50%と頻度が高く、時間帯は平日の夜間が多い。場所は学校体育施設が多く、家から近いことや利用料金が安いことなどが重視されている。

■ ウォーキング・散歩・ランニング・マラソン・駅伝 (n=612)

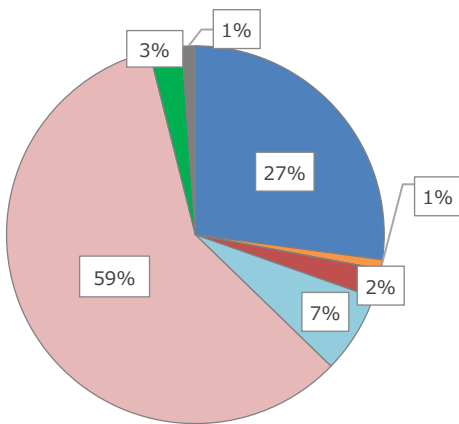
<頻度>



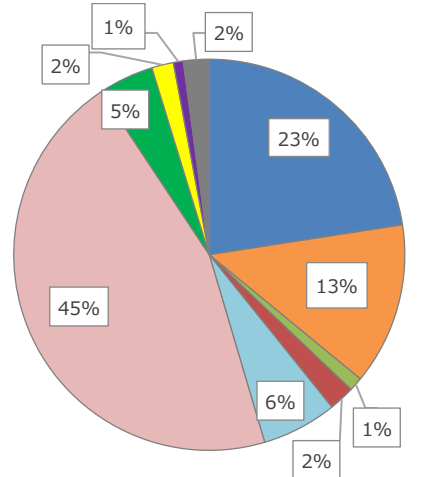
<時間帯>



<場所>



<場所を選ぶ視点>

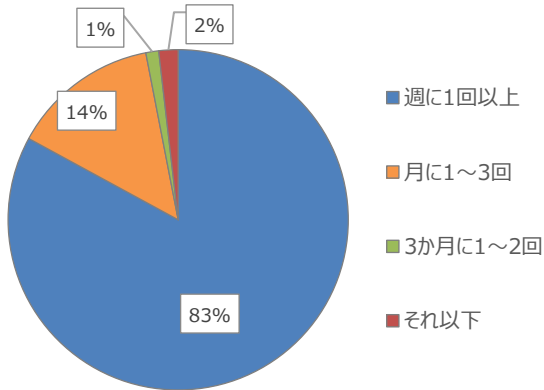


- 区内の公共施設 (河川敷含む)
- 区外の公共施設
- 学校体育施設
- 民間のスポーツ施設
- 自宅や職場
- 道路や公園、空き地など
- 山や海などの自然環境
- その他

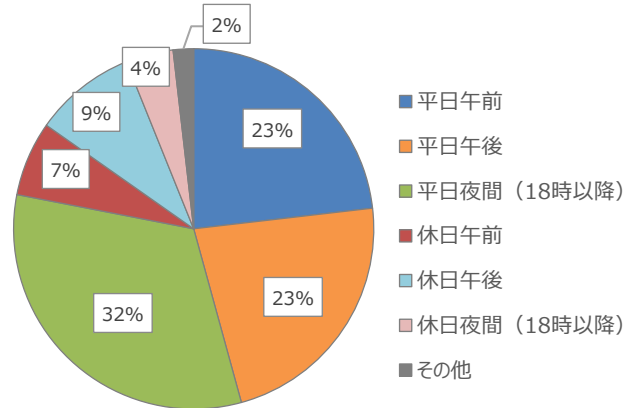
- いつでも使える (予約不要、予約がとりやすい)
- いつでも使える (24時間利用できる)
- 設備が充実している
- 施設・設備がきれい
- 空いている
- 自宅から近い
- アクセスが良い
- 利用料金が安い
- そこでしかできない (競技の特殊性)
- その他

■ トレーニング (n=164)

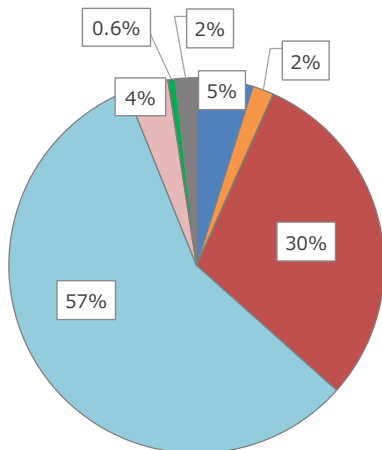
<頻度>



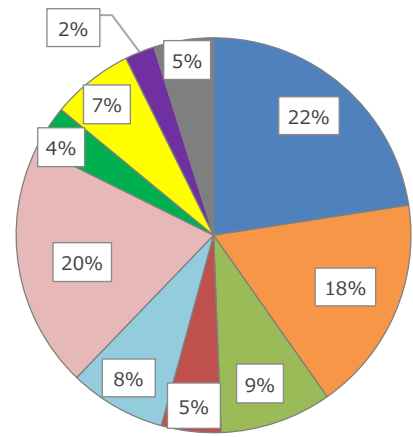
<時間帯>



<場所>



<場所を選ぶ視点>

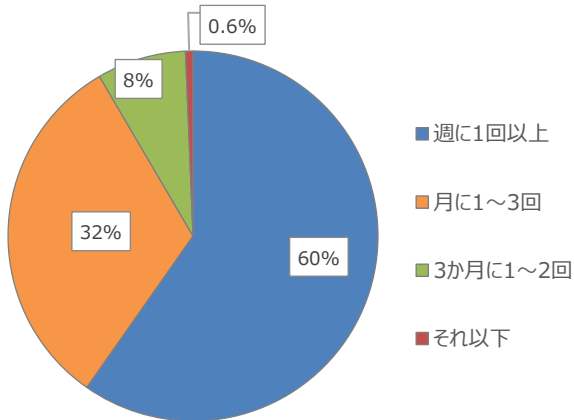


- 区内の公共施設 (河川敷含む)
- 区外の公共施設
- 学校体育施設
- 民間のスポーツ施設
- 自宅や職場
- 道路や公園、空き地など
- 山や海などの自然環境
- その他

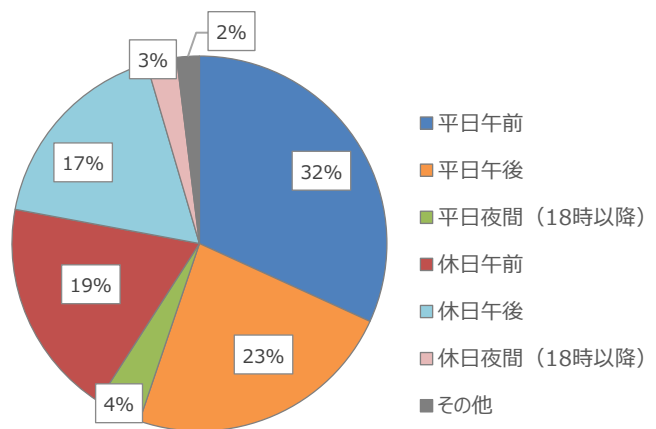
- いつでも使える (予約不要、予約がとりやすい)
- いつでも使える (24時間利用できる)
- 設備が充実している
- 施設・設備がきれい
- 空いている
- 自宅から近い
- アクセスが良い
- 利用料金が安い
- そこでしかできない (競技の特殊性)
- その他

■ 自転車・サイクリング (n=154)

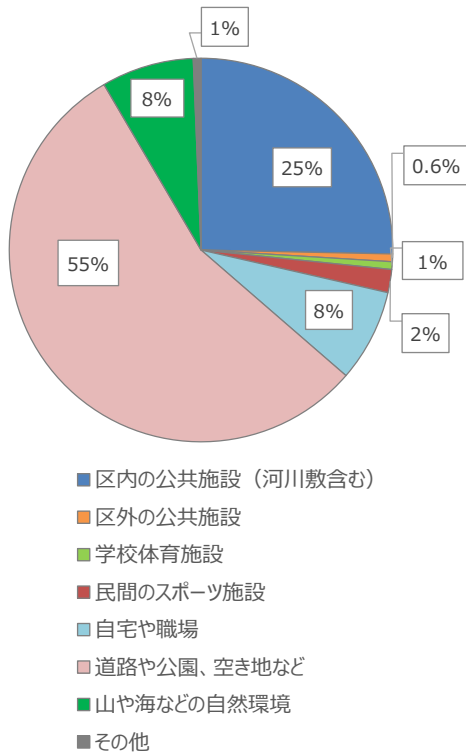
<頻度>



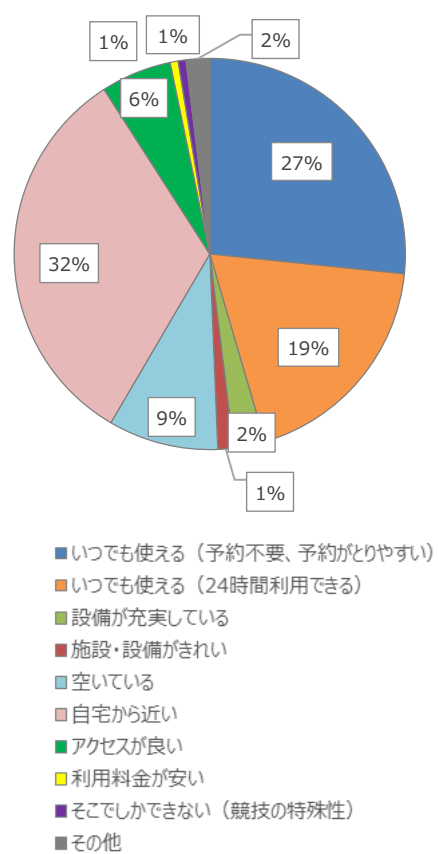
<時間帯>



<場所>

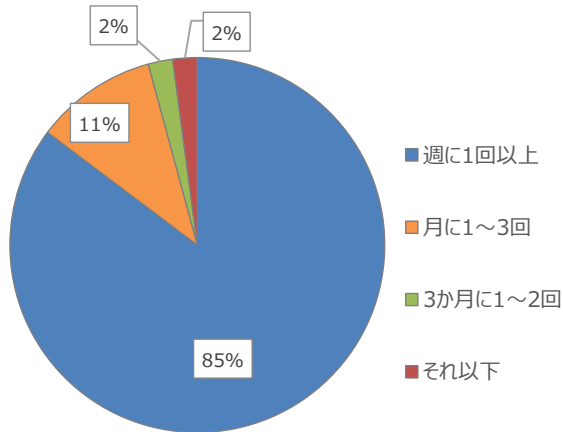


<場所を選ぶ視点>

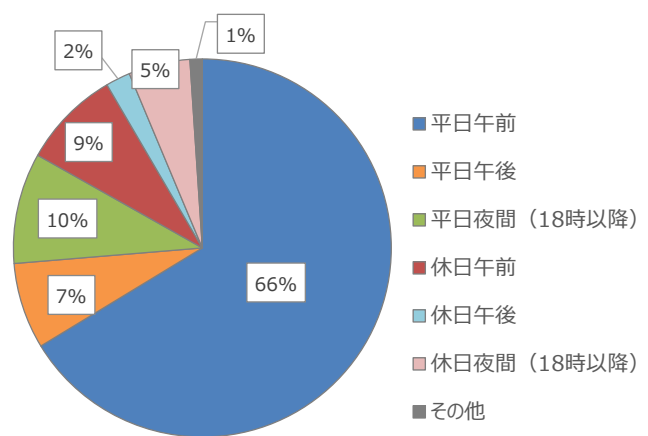


■ 体操（ラジオ体操・健康体操等）（n=95）

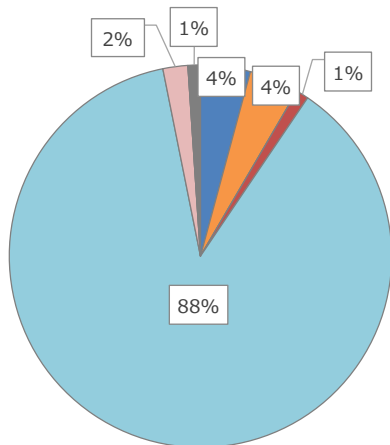
<頻度>



<時間帯>

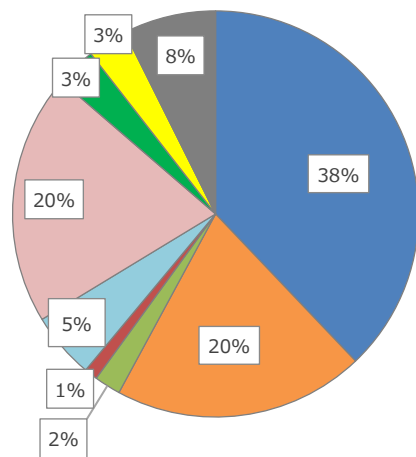


<場所>



- 区内の公共施設（河川敷含む）
- 区外の公共施設
- 学校体育施設
- 民間のスポーツ施設
- 自宅や職場
- 道路や公園、空き地など
- 山や海などの自然環境
- その他

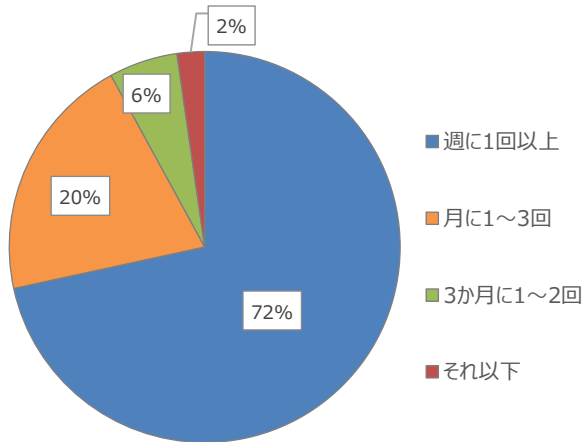
<場所を選ぶ視点>



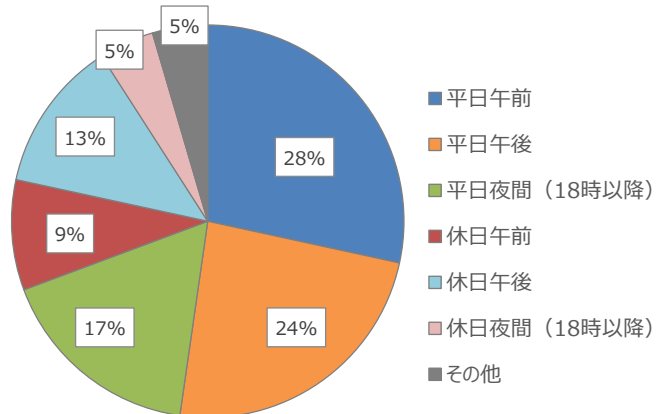
- いつでも使える（予約不要、予約がとりやすい）
- いつでも使える（24時間利用できる）
- 設備が充実している
- 施設・設備がきれい
- 空いている
- 自宅から近い
- アクセスが良い
- 利用料金が安い
- そこでしかできない（競技の特殊性）
- その他

■ ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス (n=88)

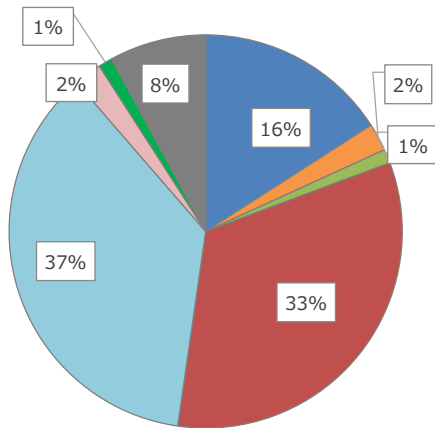
<頻度>



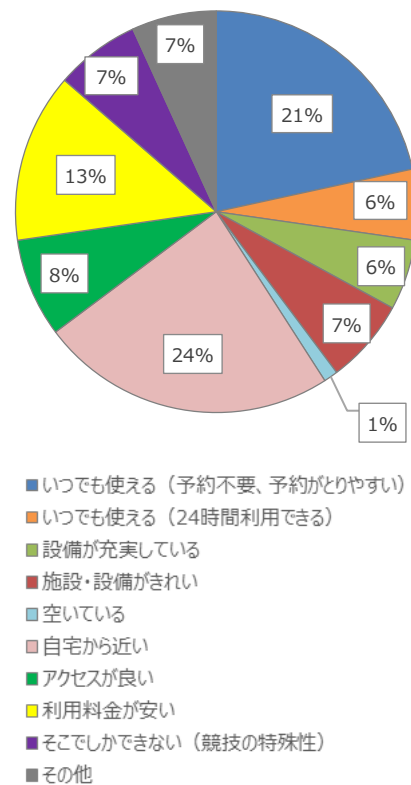
<時間帯>



<場所>

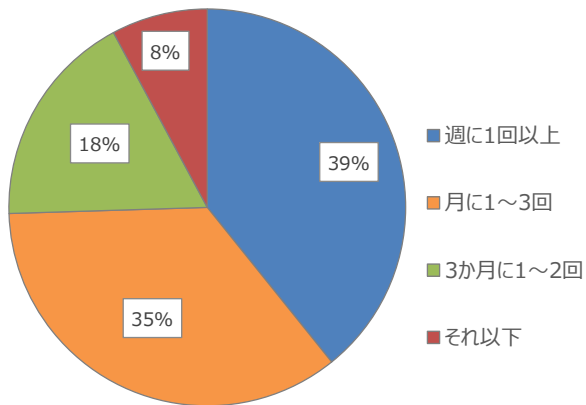


<場所を選ぶ視点>

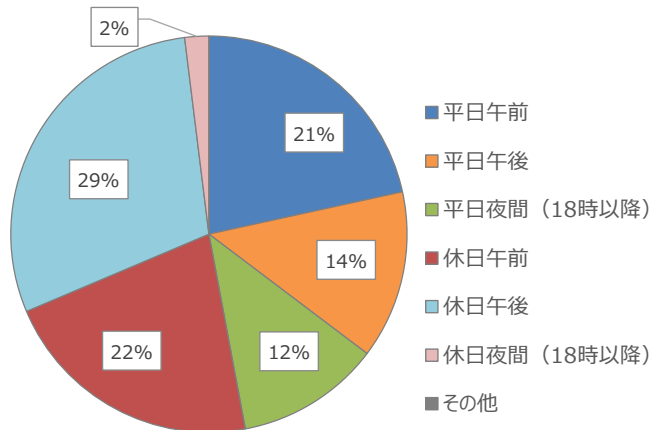


■ 水泳 (n=51)

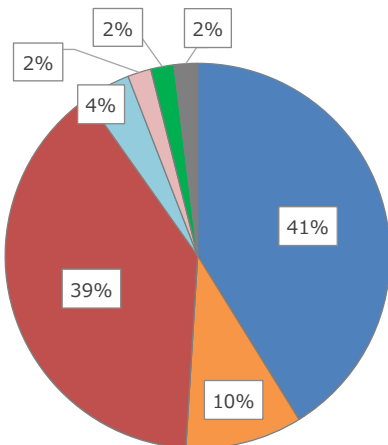
<頻度>



<時間帯>

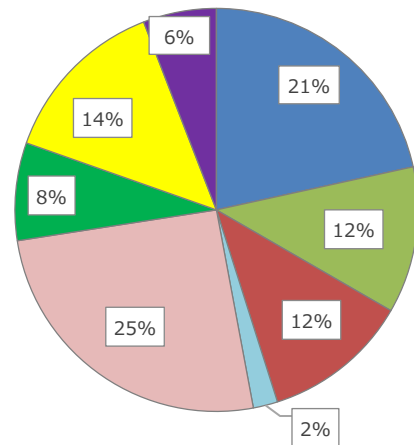


<場所>



- 区内の公共施設 (河川敷含む)
- 区外の公共施設
- 学校体育施設
- 民間のスポーツ施設
- 自宅や職場
- 道路や公園、空き地など
- 山や海などの自然環境
- その他

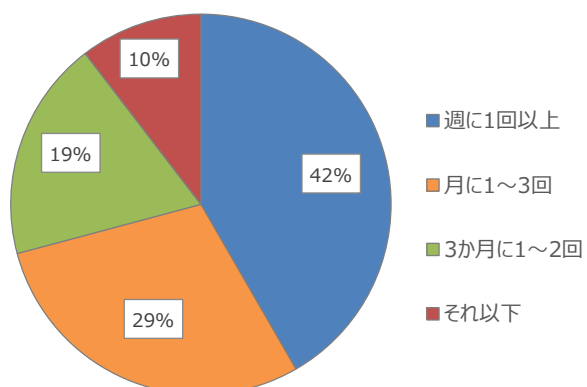
<場所を選ぶ視点>



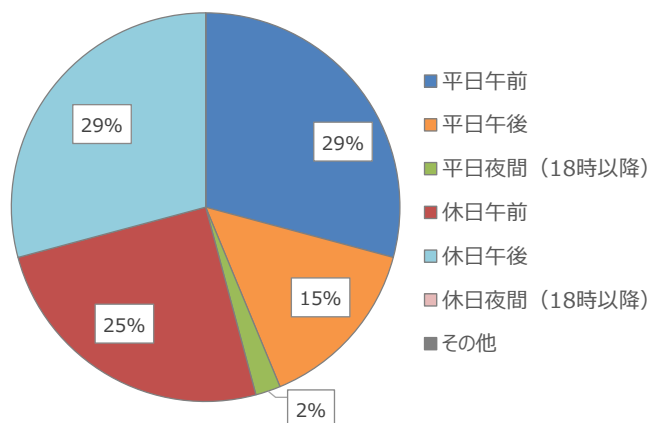
- いつでも使える (予約不要、予約がとりやすい)
- いつでも使える (24時間利用できる)
- 設備が充実している
- 施設・設備がきれい
- 空いている
- 自宅から近い
- アクセスが良い
- 利用料金が安い
- そこでしかできない (競技の特殊性)
- その他

■ テニス・ソフトテニス (n=48)

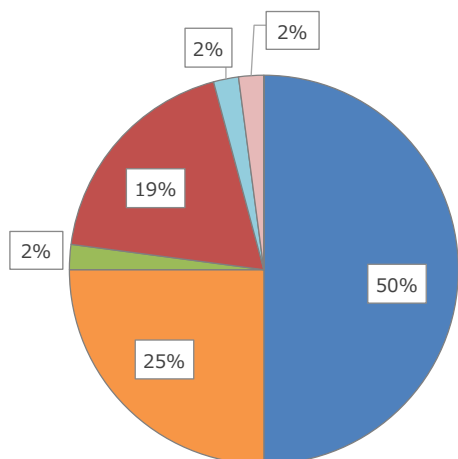
<頻度>



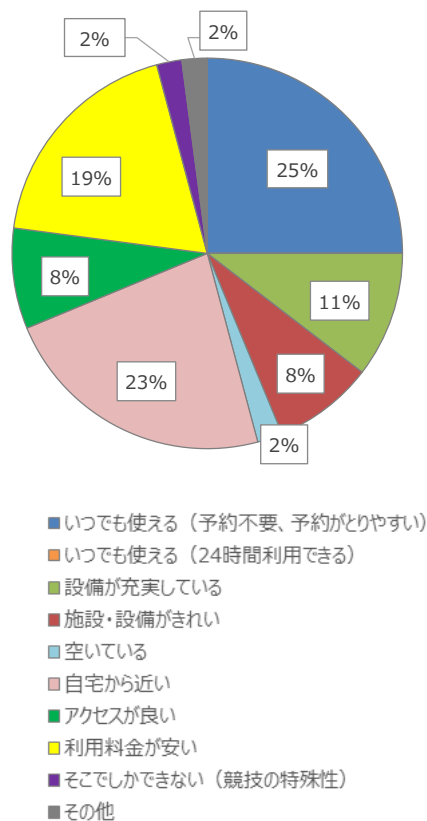
<時間帯>



<場所>



<場所を選ぶ視点>



- 区内の公共施設 (河川敷含む)
- 区外の公共施設
- 学校体育施設
- 民間のスポーツ施設
- 自宅や職場
- 道路や公園、空き地など
- 山や海などの自然環境
- その他

- いつでも使える (予約不要、予約がとりやすい)
- いつでも使える (24時間利用できる)
- 設備が充実している
- 施設・設備がきれい
- 空いている
- 自宅から近い
- アクセスが良い
- 利用料金が安い
- そこではかできない (競技の特殊性)
- その他

■ その他の種目

<頻度>

	(%)			
	以週 上に 1回	3月 回に 1回	13 か月 2月 回に	そ れ 以 下
全体 (n=1430)	65.9	23.0	7.2	3.9
野球(n=28)	28.6	39.3	7.1	25.0
フットサル(n=19)	10.5	36.8	26.3	26.3
サッカー(n=18)	16.7	33.3	33.3	16.7
卓球(n=17)	41.2	41.2	17.6	0.0
バスケットボール(n=15)	20.0	20.0	40.0	20.0
バレーボール・ソフトバレーボール(n=14)	50.0	21.4	14.3	14.3

<時間帯>

	(%)						
	平 日 午 前	平 日 午 後	以(平 降)1日 8夜 時間	休 日 午 前	休 日 午 後	以(休 降)1日 8夜 時間	そ の 他
全体 (n=1430)	28.5	19.4	13.6	16.6	16.9	3.6	1.3
野球(n=28)	0.0	3.6	10.7	39.3	46.4	0.0	0.0
フットサル(n=19)	0.0	0.0	15.8	31.6	36.8	15.8	0.0
サッカー(n=18)	5.6	5.6	5.6	27.8	44.4	11.1	0.0
卓球(n=17)	29.4	23.5	17.6	5.9	23.5	0.0	0.0
バスケットボール(n=15)	0.0	26.7	13.3	6.7	33.3	20.0	0.0
バレーボール・ソフトバレーボール(n=14)	0.0	14.3	35.7	7.1	21.4	21.4	0.0

<場所>

	(%)								
	敷施区 含設内 む(の 河公 川共	施区 設外 の公 共	設学 校 体 育 施	ポ民 ー 間 ツ の 施 ス 設	自 宅 や 職 場	な園道 ど、路 空や き公 地	の山 自 然 海 環 境 な ど	そ の 他	
全体 (n=1430)	22.9	4.6	2.2	13.5	19.1	32.2	3.3	2.2	
野球(n=28)	50.0	35.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
フットサル(n=19)	21.1	15.8	5.3	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
サッカー(n=18)	27.8	22.2	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
卓球(n=17)	41.2	17.6	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9	
バスケットボール(n=15)	26.7	20.0	26.7	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
バレーボール・ソフトバレーボール(n=14)	14.3	0.0	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	

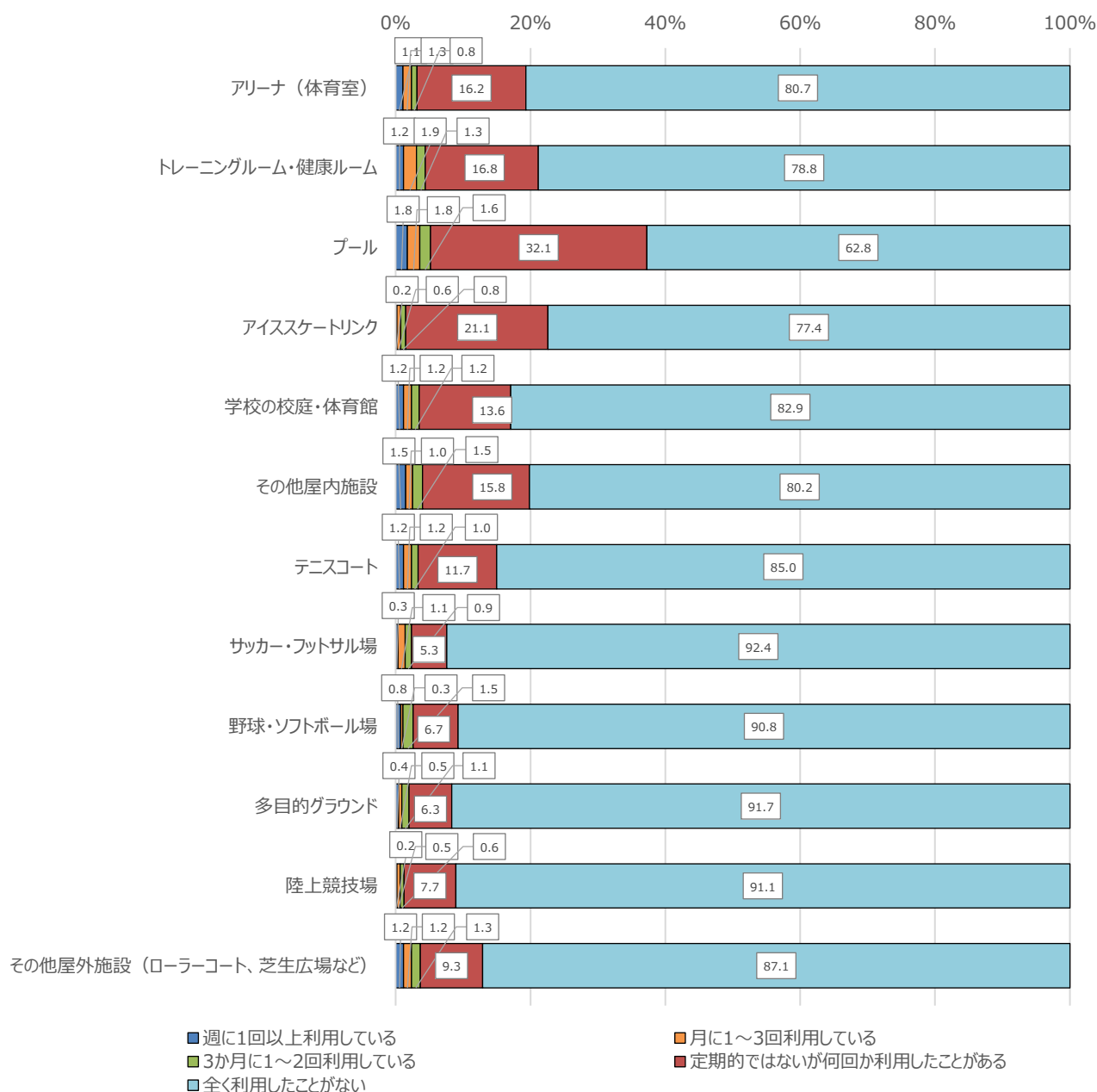
<場所を選ぶ視点>

	(%)											
	が(予 と約 り約 やす す い 予 約)	い つ でも 使 え る 予 約	き (2 4 時 間 利 用 で)	る 設 備 が 充 実 し て い	い 施 設 ・ 設 備 が き れ	空 い て い る	自 宅 か ら 近 い	ア ク セ ス が 良 い	利 用 料 金 が 安 い	性 (競 技 の 特 殊 な)	そ こ で し か で き な	そ の 他
全体 (n=1430)	23.7	12.3	5.0	4.5	6.5	31.6	5.0	5.4	3.3	2.7	0.0	
野球(n=28)	35.7	10.7	21.4	7.1	10.7	0.0	3.6	10.7	0.0	0.0	0.0	
フットサル(n=19)	10.5	0.0	5.3	36.8	5.3	0.0	0.0	36.8	0.0	5.3	0.0	
サッカー(n=18)	16.7	11.1	33.3	16.7	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	
卓球(n=17)	35.3	0.0	11.8	11.8	0.0	17.6	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	
バスケットボール(n=15)	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	
バレーボール・ソフトバレーボール(n=14)	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	7.1	28.6	7.1	0.0	0.0	

②区内公共スポーツ施設の利用状況について

Q6. あなたは以下の江戸川区の公共スポーツ施設を利用したことがありますか。

- 全施設において「全く利用したことがない」と回答した人が半数を超えているが、“プール”や“アイススケートリンク”、“トレーニングルーム・健康ルーム”については、利用したことがある人が比較的多い。
- “アリーナ”や“テニスコート”は15～29歳の利用が多い。
- “プール”は50代以降に、“トレーニングルーム・健康ルーム”は50代以降と15～29歳に定期的に利用されている割合が高い。
- スポーツランドのある東部地区および、近接する中央地区、鹿骨地区では“アイススケートリンク”を「全く利用したことがない」と回答した人が他の地区に比べて少ない。



1.アリーナ (体育室)

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	1.1	1.3	0.8	16.2	80.7	
性別	男性	600	1.2	1.5	1.2	16.7	79.5	
	女性	600	1.0	1.0	0.5	15.7	81.8	
年代	15歳~29歳	200	2.5	3.5	2.5	17.5	74.0	
	30代	200	1.5	1.0	1.5	17.5	78.5	
	40代	200	0.5	0.5	0.5	19.5	79.0	
	50代	229	0.4	0.4	0.0	17.5	81.7	
	60代	221	0.5	0.9	0.0	14.0	84.6	
	70歳~99歳	150	1.3	1.3	0.7	9.3	87.3	
地域	小松川地区	144	2.1	0.0	0.7	17.4	79.9	
	中央地区	93	1.1	3.2	1.1	22.6	72.0	
	葛西地区	448	1.6	2.2	0.4	15.2	80.6	
	小岩地区	170	0.6	1.2	1.2	16.5	80.6	
	東部地区	128	0.0	0.0	1.6	14.1	84.4	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	2.0	13.7	84.3	
	その他地区	166	0.6	0.0	0.6	16.3	82.5	

2.トレーニングルーム・健康ルーム

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	1.2	1.9	1.3	16.8	78.8	
性別	男性	600	1.3	2.5	1.7	17.7	76.8	
	女性	600	1.0	1.3	1.0	15.8	80.8	
年代	15歳~29歳	200	2.5	4.0	2.5	18.5	72.5	
	30代	200	0.5	2.0	2.5	19.5	75.5	
	40代	200	0.0	2.5	0.5	20.0	77.0	
	50代	229	0.0	1.3	0.0	16.6	82.1	
	60代	221	2.3	0.9	0.9	14.5	81.4	
	70歳~99歳	150	2.0	0.7	2.0	10.0	85.3	
地域	小松川地区	144	1.4	2.1	0.0	9.0	87.5	
	中央地区	93	4.3	1.1	2.2	14.0	78.5	
	葛西地区	448	1.1	2.5	1.1	18.3	77.0	
	小岩地区	170	1.2	1.8	0.6	17.6	78.8	
	東部地区	128	0.0	0.8	2.3	18.8	78.1	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	2.0	21.6	76.5	
	その他地区	166	0.6	2.4	2.4	16.9	77.7	

3.プール

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	1.8	1.8	1.6	32.1	62.8	
性別	男性	600	2.5	3.3	2.2	30.8	61.2	
	女性	600	1.0	0.3	1.0	33.3	64.3	
年代	15歳~29歳	200	1.5	3.5	4.0	31.0	60.0	
	30代	200	1.0	4.0	2.0	28.0	65.0	
	40代	200	1.5	1.5	1.5	35.0	60.5	
	50代	229	1.3	0.9	0.9	39.3	57.6	
	60代	221	3.2	0.9	0.9	27.6	67.4	
	70歳~99歳	150	2.0	0.0	0.0	30.7	67.3	
地域	小松川地区	144	2.1	1.4	0.7	32.6	63.2	
	中央地区	93	4.3	1.1	1.1	38.7	54.8	
	葛西地区	448	1.6	2.5	1.3	27.9	66.7	
	小岩地区	170	2.4	1.2	2.4	34.7	59.4	
	東部地区	128	0.0	0.0	2.3	40.6	57.0	
	鹿骨地区	51	2.0	0.0	2.0	37.3	58.8	
	その他地区	166	1.2	3.6	1.8	28.3	65.1	

4.アイススケートリンク

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	0.2	0.6	0.8	21.1	77.4	
性別	男性	600	0.2	1.0	1.0	18.3	79.5	
	女性	600	0.2	0.2	0.5	23.8	75.3	
年代	15歳~29歳	200	1.0	1.5	2.5	23.0	72.0	
	30代	200	0.0	1.0	1.5	21.0	76.5	
	40代	200	0.0	0.5	0.0	29.5	70.0	
	50代	229	0.0	0.0	0.4	25.3	74.2	
	60代	221	0.0	0.5	0.0	13.6	86.0	
	70歳~99歳	150	0.0	0.0	0.0	12.0	88.0	
地域	小松川地区	144	1.4	0.7	0.7	17.4	79.9	
	中央地区	93	0.0	0.0	0.0	32.3	67.7	
	葛西地区	448	0.0	0.7	0.4	17.0	81.9	
	小岩地区	170	0.0	0.0	1.2	22.4	76.5	
	東部地区	128	0.0	1.6	1.6	27.3	69.5	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	2.0	31.4	66.7	
	その他地区	166	0.0	0.6	0.6	19.9	78.9	

5.学校の校庭・体育館

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	1.2	1.2	1.2	13.6	82.9	
性別	男性	600	1.5	1.5	1.5	14.8	80.7	
	女性	600	0.8	0.8	0.8	12.3	85.2	
年代	15歳~29歳	200	1.0	1.5	3.5	16.0	78.0	
	30代	200	2.5	1.5	1.5	13.5	81.0	
	40代	200	1.0	1.5	1.5	15.5	80.5	
	50代	229	0.4	0.4	0.0	15.3	83.8	
	60代	221	0.5	0.5	0.5	11.8	86.9	
	70歳~99歳	150	2.0	2.0	0.0	8.0	88.0	
地域	小松川地区	144	1.4	0.7	1.4	16.7	79.9	
	中央地区	93	1.1	2.2	0.0	19.4	77.4	
	葛西地区	448	1.3	1.1	0.9	11.8	84.8	
	小岩地区	170	1.2	0.6	1.2	14.1	82.9	
	東部地区	128	0.0	2.3	2.3	13.3	82.0	
	鹿骨地区	51	3.9	2.0	0.0	13.7	80.4	
	その他地区	166	0.6	0.6	1.8	12.0	84.9	

6.その他屋内施設 (スポーツルーム・卓球室・柔道場・剣道場など)

(%)

		n	用週して1回以上利用	用月に1回以上利用	3か月利用している	定期的な利用がある	定期的な利用はない	全く利用しなかった
全体		1200	1.5	1.0	1.5	15.8	80.2	
性別	男性	600	0.8	0.8	2.2	17.7	78.5	
	女性	600	2.2	1.2	0.8	14.0	81.8	
年代	15歳~29歳	200	1.0	3.0	3.5	16.0	76.5	
	30代	200	1.5	1.0	1.5	15.5	80.5	
	40代	200	1.5	0.5	1.5	21.0	75.5	
	50代	229	1.3	0.0	0.4	16.6	81.7	
	60代	221	1.4	0.5	1.4	14.0	82.8	
	70歳~99歳	150	2.7	1.3	0.7	10.7	84.7	
地域	小松川地区	144	2.8	0.0	0.7	17.4	79.2	
	中央地区	93	0.0	0.0	1.1	20.4	78.5	
	葛西地区	448	2.0	1.6	1.8	15.0	79.7	
	小岩地区	170	1.2	1.2	0.6	15.3	81.8	
	東部地区	128	2.3	1.6	2.3	14.8	78.9	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	0.0	11.8	88.2	
	その他地区	166	0.0	0.6	2.4	16.9	80.1	

7.テニスコート

(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	1.2	1.2	1.0	11.7	85.0	
性別	男性	600	1.7	1.0	1.7	12.2	83.5	
	女性	600	0.7	1.3	0.3	11.2	86.5	
年代	15歳~29歳	200	1.5	2.5	3.5	16.0	76.5	
	30代	200	0.5	1.5	1.0	9.5	87.5	
	40代	200	0.5	1.0	0.0	11.0	87.5	
	50代	229	1.3	0.9	0.0	10.9	86.9	
	60代	221	1.4	0.5	0.9	12.7	84.6	
	70歳~99歳	150	2.0	0.7	0.7	9.3	87.3	
地域	小松川地区	144	0.7	2.1	0.0	11.1	86.1	
	中央地区	93	2.2	0.0	1.1	11.8	84.9	
	葛西地区	448	0.9	1.6	0.4	7.4	89.7	
	小岩地区	170	0.6	1.8	1.8	14.1	81.8	
	東部地区	128	3.9	0.0	2.3	18.8	75.0	
	鹿骨地区	51	2.0	0.0	2.0	13.7	82.4	
	その他地区	166	0.0	0.6	1.2	15.1	83.1	

8.サッカー・フットサル場

(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	0.3	1.1	0.9	5.3	92.4	
性別	男性	600	0.7	1.7	1.2	8.0	88.5	
	女性	600	0.0	0.5	0.7	2.5	96.3	
年代	15歳~29歳	200	0.5	4.0	3.0	11.5	81.0	
	30代	200	0.5	1.0	2.0	7.5	89.0	
	40代	200	0.5	1.0	0.0	5.0	93.5	
	50代	229	0.4	0.4	0.0	3.1	96.1	
	60代	221	0.0	0.0	0.5	2.3	97.3	
	70歳~99歳	150	0.0	0.0	0.0	2.0	98.0	
地域	小松川地区	144	0.7	2.1	1.4	6.9	88.9	
	中央地区	93	0.0	1.1	0.0	3.2	95.7	
	葛西地区	448	0.4	0.9	0.7	5.4	92.6	
	小岩地区	170	0.0	0.6	1.2	4.7	93.5	
	東部地区	128	0.8	1.6	1.6	3.9	92.2	
	鹿骨地区	51	0.0	2.0	0.0	9.8	88.2	
	その他地区	166	0.0	0.6	1.2	4.8	93.4	

9.野球・ソフトボール場

(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	0.8	0.3	1.5	6.7	90.8	
性別	男性	600	1.2	0.3	2.2	10.7	85.7	
	女性	600	0.3	0.3	0.8	2.7	95.8	
年代	15歳~29歳	200	2.5	0.5	4.5	9.5	83.0	
	30代	200	0.5	0.5	3.0	5.5	90.5	
	40代	200	1.0	0.5	1.0	8.5	89.0	
	50代	229	0.4	0.0	0.0	4.8	94.8	
	60代	221	0.0	0.5	0.5	5.9	93.2	
	70歳~99歳	150	0.0	0.0	0.0	6.0	94.0	
地域	小松川地区	144	2.1	0.0	3.5	9.7	84.7	
	中央地区	93	1.1	0.0	1.1	7.5	90.3	
	葛西地区	448	0.9	0.7	0.9	6.5	91.1	
	小岩地区	170	0.6	0.0	1.8	4.7	92.9	
	東部地区	128	0.0	0.0	2.3	7.0	90.6	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	0.0	9.8	90.2	
	その他地区	166	0.0	0.6	1.2	4.8	93.4	

10.多目的グラウンド

(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	0.4	0.5	1.1	6.3	91.7	
性別	男性	600	0.5	0.8	1.3	9.2	88.2	
	女性	600	0.3	0.2	0.8	3.5	95.2	
年代	15歳~29歳	200	1.5	0.5	4.0	13.5	80.5	
	30代	200	0.0	2.0	1.0	8.0	89.0	
	40代	200	0.5	0.0	1.0	5.5	93.0	
	50代	229	0.0	0.4	0.0	3.9	95.6	
	60代	221	0.5	0.0	0.5	3.6	95.5	
	70歳~99歳	150	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7	
地域	小松川地区	144	1.4	1.4	1.4	8.3	87.5	
	中央地区	93	0.0	0.0	0.0	5.4	94.6	
	葛西地区	448	0.7	0.4	0.2	6.9	91.7	
	小岩地区	170	0.0	0.0	1.2	4.7	94.1	
	東部地区	128	0.0	0.8	3.9	7.8	87.5	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	0.0	5.9	94.1	
	その他地区	166	0.0	0.6	1.8	4.2	93.4	

11.陸上競技場

(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	0.2	0.5	0.6	7.7	91.1	
性別	男性	600	0.3	0.8	0.5	9.2	89.2	
	女性	600	0.0	0.2	0.7	6.2	93.0	
年代	15歳~29歳	200	0.5	2.0	1.5	14.5	81.5	
	30代	200	0.5	0.5	1.0	8.5	89.5	
	40代	200	0.0	0.0	0.5	10.5	89.0	
	50代	229	0.0	0.0	0.0	4.8	95.2	
	60代	221	0.0	0.5	0.5	3.2	95.9	
	70歳~99歳	150	0.0	0.0	0.0	4.7	95.3	
地域	小松川地区	144	1.4	0.7	0.7	9.7	87.5	
	中央地区	93	0.0	1.1	1.1	7.5	90.3	
	葛西地区	448	0.0	0.2	0.0	9.2	90.6	
	小岩地区	170	0.0	0.6	0.6	4.7	94.1	
	東部地区	128	0.0	0.8	1.6	6.3	91.4	
	鹿骨地区	51	0.0	0.0	0.0	3.9	96.1	
	その他地区	166	0.0	0.6	1.2	7.2	91.0	

12.その他屋外施設(ローラーコート、芝生広場など)

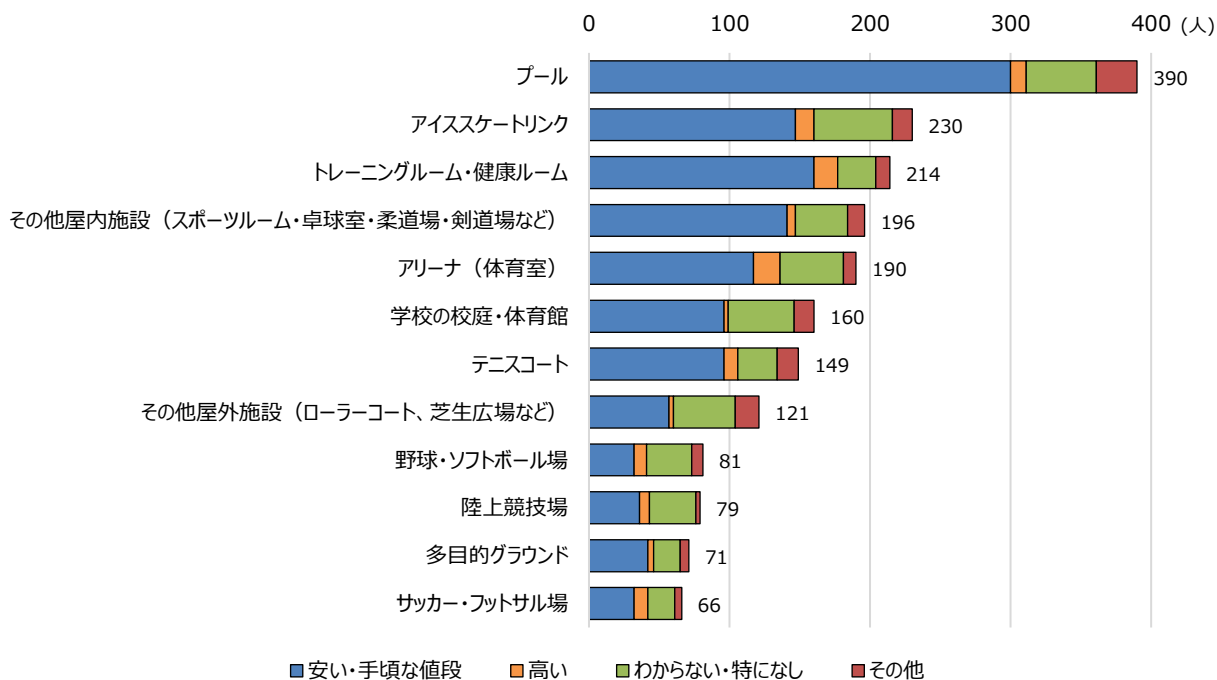
(%)

		n	用週して1回以上	用月に1回以上3回	回3か月以上1回以上2	たが定期的かある	とが定期的ではない	とが定期的ではない
全体		1200	1.2	1.2	1.3	9.3	87.1	
性別	男性	600	1.2	1.5	2.0	9.5	85.8	
	女性	600	1.2	0.8	0.7	9.0	88.3	
年代	15歳~29歳	200	1.0	1.0	4.0	15.0	79.0	
	30代	200	1.5	2.0	1.5	10.0	85.0	
	40代	200	2.0	1.0	1.0	8.5	87.5	
	50代	229	0.4	0.9	0.4	10.5	87.8	
	60代	221	0.5	1.4	0.5	5.4	92.3	
	70歳~99歳	150	2.0	0.7	0.7	5.3	91.3	
地域	小松川地区	144	3.5	2.8	0.7	11.8	81.3	
	中央地区	93	1.1	0.0	1.1	12.9	84.9	
	葛西地区	448	1.6	1.8	1.1	8.7	86.8	
	小岩地区	170	0.0	0.0	1.2	8.8	90.0	
	東部地区	128	0.0	1.6	3.1	7.0	88.3	
	鹿骨地区	51	2.0	0.0	2.0	11.8	84.3	
	その他地区	166	0.0	0.0	1.2	7.8	91.0	

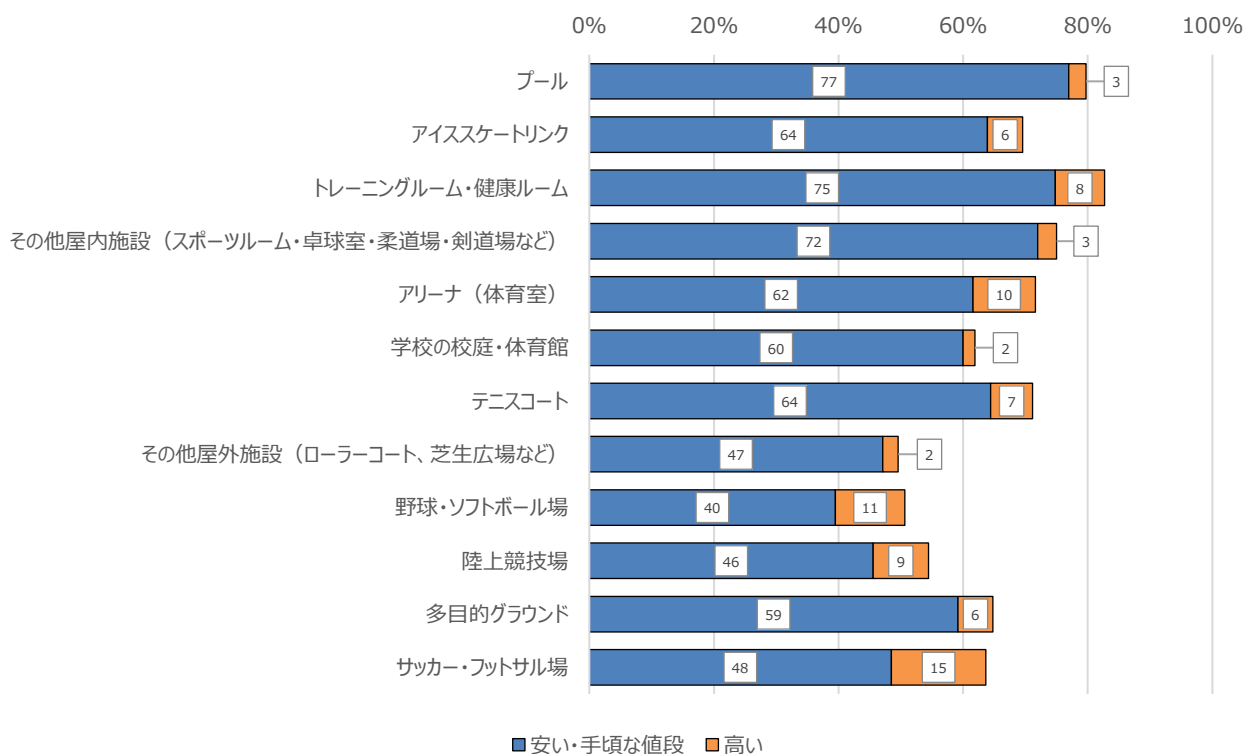
Q7. この施設の料金体系についてどう思いますか。理由も含めてお答えください。（自由回答）

- 本設問は任意回答としていたが、“プール”、“アイススケートリンク”、“トレーニングルーム・健康ルーム”への意見が多くみられた。
- いずれの施設も、「安い」・「妥当な値段」という意見が多く、特にプールについては、「安い」・「妥当な値段」という意見が4分の3以上を占めた。

<回答者数と意見の内訳>



<意見の内訳（割合比較）>



<その他の意見>

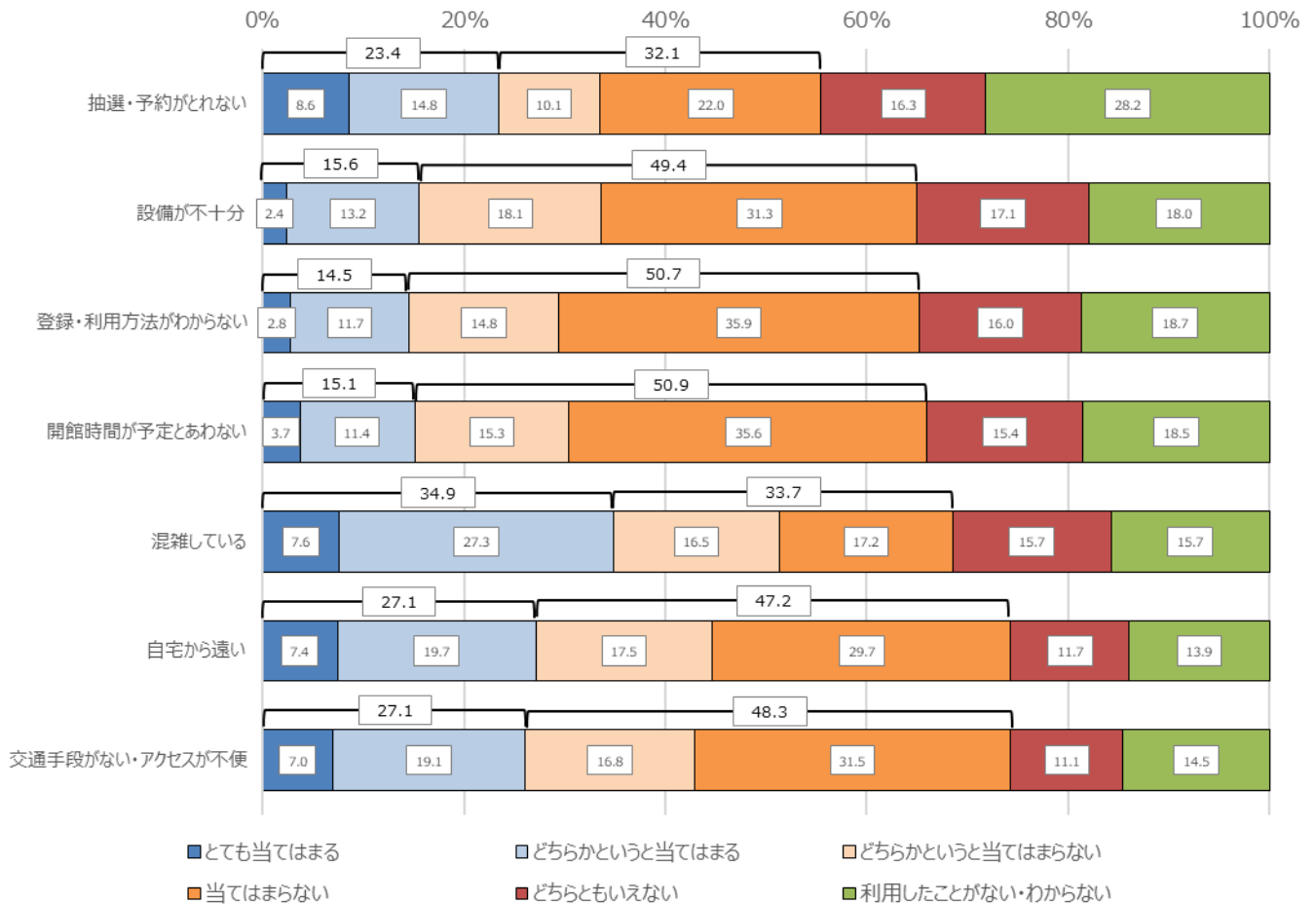
施設	その他の意見
アリーナ（体育館）	使う機会に限られる/もう少し気軽に短時間で借りれるところを増やして欲しい/予約が取り易くなって欲しい/施設運営での試算なら致し方無し
トレーニングルーム	申請が面倒/一律で分かりやすい/特にないが駅から遠い/設備が充実していない/機材がしょぼい/サークルでの利用での利用/講習会がひらかれる/綺麗
プール	とても安いと思うが、温水プールなのに冷たいので料金と温度を上げてほしいと思う。/子どもと一緒に楽しめるし、監視員がちゃんと常駐していて安心できるので安いと思う。/少し高いと思います。しかし、通年にて利用可能なことと安全安心と衛生上、仕方がないと思う。/行きたい時に行けるのは良いがスクールなどがあると利用出来ない場合があるので利用しなくなった/駐車場の方が高かった/最近は行きません/民間のだと安く通いやすい/行きたい時に行けるようになって欲しい。/安い、温水ではないので、温水にしてほしい/一律で分かりやすい/安いと思うが、老朽化が進んでいるので高くしてでも綺麗にして欲しい/施設運営での試算なら致し方無し/低料金で設備は脱衣場所が狭いです/安い設備がいまいち/高齢者割引あるいは無料があると良い/新しくはないし、ロッカーなど広くもないし古いので価格的にはよいと思う。/回数券のため使いやすい/自宅から遠い/優しい/講習会がひらかれる/安い、温度管理は気になるが、十分に泳げる/プールガーデンがなくなったのは残念だが、公営プールが残っているのはいい。安い。/料金は適正だか混んでるので使わない/安く回数券などあっていいと思います！でも安すぎると思います！/レーンが少ない/施設が古い
アイススケートリンク	有料/子供が利用した。貸し靴などの設備も整っていてこの値段はすごいと思う。/短い時間でも同じ料金体系。長く滑る方には良いと思う/夏も営業すれば納得/寒そう/安いです。但し夏でも使えれば良いです。/子供が多い/いい施設だと思います/綺麗/少し施設が古い感じがしたが/料金は悪くない/今は利用して無いが、場所が不便な所にある。/靴代と別なのはめんどくさい/適切 人数制限がされるのならもう少し高くても良い/寒い
学校の校庭・体育館	基本的に無料だが、利用申し込みが煩雑なのが難点です。/値段は安いが予約が大変 副校長に会って予約するために度も通うことになる/安いが予約がとりにくい/区画をくぎって少し使えるところがあったらいい/広い敷地/時間の調節が難しい/快適（エアコンあり）/使えない/ゲーム機に利用/申し込みが面倒/安いが学生の場所の手前利用しにくい/PTAとして有意義に利用しています/汚い
その他屋内施設	申請が面倒/子供が小さい頃は利用していた/改装され綺麗になった/優しい/保護者がいないとつかえない/サークルでの利用/かいいんになっている/子供から使えるのでとても良い。/料金普通だが了解時間短い/50円くらいなら子供も行けるので/臭い
テニスコート	少し高い。施設を充実することを望む。照明、更衣室シャワーなど利用しやすくしてほしい。/申請が面倒/場所によって値段に差が大きい/安い個人では予約枠が少ない/団体で使用した/特になし、確保が大変/施設により差がある/開放的/安いので有難いですが、プロコーチが営業で使うのを区が認めているのは疑問です。/予約が取りにくい/予約できない/ラケットボールレンタルできるなら有料でもいい/安いのはいいが、なかなか予約が取れない/綺麗
サッカー・フットサル場	少し身体を動かすためにかりてもたくさんの人をよんで本格的にできるくらいにしないと一人当たりにかかる金額が高くなる/人が多い/用具がレンタルできるなら有料でもいい/値段の割に設備が普通/整備されてればいい
野球・ソフトボール場	安い予約が取りにくい/確保が大変安い予約が取りにくい/確保が大変/自然/取りにくい/安い ただなかなか抽選に当たらない/せまい/楽しかった/学童野球としてとても有意義に使わせてもらった
多目的グラウンド	楽しそう/人が多い/いろいろなことができるから多少料金がかかってもいい/便利/広い
陸上競技場	整備されてる/広い
その他屋外施設（ローラーコート、芝生広場など）	近くにあると気晴らしに行けるのがありがたい/お金を払って迄は行わない/広くて気持ちが良い/無料な所しか行かない/駐車場の料金が安い。/サークルでの利用/無料のところを利用してる/綺麗で良い/広くて良い/靴レンタルできるなら有料でもいい/有料のは使ったことないですが、河川敷とか歩いたりサイクリングしやすい。/有料なら使わない/広い公園が多くて良い。/無料の施設だと日頃から使いやすい/管理されてない

③区内公共スポーツ施設の課題等について

Q8. あなたは今まで江戸川区の公共スポーツ施設を利用した際に困ったことはありますか。

※「とても当てはまる」・「どちらかという当てはまる」を「困っている」、「どちらかという当てはまらない」・「当てはまらない」を「困っていない」とみなして分析する。

- 全体的に“困っている”という意見は少ないが、「混雑している」、「自宅から遠い」、「交通手段がない・アクセスが不便」「抽選・予約がとれない」については、“困っている”がやや高い割合を示している。
- 年代別にみると、区内公共スポーツ施設を利用する際、「開館時間が予定とあわない」、「混雑している」という点で困っているのは、15～29歳の回答者が多い。時間の選択肢が限られていることなどが考えられる。
- 地区別でみると、東部地区で、区内公共スポーツ施設を利用する際、「交通手段がない・アクセスが不便」という点で困っている回答者が多い。



1. 抽選・予約がとれない

(%)

		n	るとも当てはま	とどちてはかまらう	いとどちてはかまらう	当てはまらない	などちらともいえ	いな利用したことが
全体		674	8.6	14.8	10.1	22.0	16.3	28.2
性別	男性	346	10.1	13.9	11.6	23.1	17.3	24.0
	女性	328	7.0	15.9	8.5	20.7	15.2	32.6
年代	15歳～29歳	116	11.2	17.2	9.5	22.4	15.5	24.1
	30代	115	10.4	12.2	11.3	23.5	11.3	31.3
	40代	112	8.9	15.2	10.7	22.3	14.3	28.6
	50代	134	4.5	12.7	7.5	22.4	17.9	35.1
	60代	113	10.6	14.2	11.5	16.8	20.4	26.5
	70歳～99歳	84	6.0	19.0	10.7	25.0	19.0	20.2
地域	小松川地区	89	10.1	13.5	7.9	16.9	16.9	34.8
	中央地区	60	6.7	13.3	15.0	21.7	16.7	26.7
	葛西地区	241	9.5	14.9	10.8	19.5	17.0	28.2
	小岩地区	92	7.6	17.4	6.5	26.1	13.0	29.3
	東部地区	75	9.3	20.0	12.0	24.0	10.7	24.0
	鹿骨地区	35	5.7	17.1	14.3	17.1	22.9	22.9
	その他地区	82	7.3	8.5	7.3	30.5	19.5	26.8

2. 設備が不十分

(%)

		n	るとも当てはま	とどちてはかまらう	いとどちてはかまらう	当てはまらない	などちらともいえ	いな利用したことが
全体		674	2.4	13.2	18.1	31.3	17.1	18.0
性別	男性	346	1.7	12.1	18.8	32.9	16.5	17.9
	女性	328	3.0	14.3	17.4	29.6	17.7	18.0
年代	15歳～29歳	116	4.3	11.2	13.8	38.8	12.1	19.8
	30代	115	1.7	15.7	18.3	27.0	19.1	18.3
	40代	112	4.5	7.1	21.4	31.3	17.9	17.9
	50代	134	1.5	16.4	10.4	30.6	19.4	21.6
	60代	113	0.9	10.6	23.9	31.9	20.4	12.4
	70歳～99歳	84	1.2	19.0	23.8	27.4	11.9	16.7
地域	小松川地区	89	3.4	13.5	10.1	29.2	16.9	27.0
	中央地区	60	1.7	5.0	30.0	30.0	18.3	15.0
	葛西地区	241	1.7	14.5	17.4	31.5	17.4	17.4
	小岩地区	92	2.2	12.0	19.6	29.3	17.4	19.6
	東部地区	75	6.7	21.3	17.3	28.0	10.7	16.0
	鹿骨地区	35	2.9	11.4	28.6	28.6	14.3	14.3
	その他地区	82	0.0	9.8	14.6	40.2	22.0	13.4

3.登録・利用方法がわからない

(%)

		n	るとても当てはまる	とどちらかという	いとどちらかという	当てはまらない	などちともいえ	いな利用したことからなが
全体		674	2.8	11.7	14.8	35.9	16.0	18.7
性別	男性	346	3.8	11.3	15.3	37.9	14.7	17.1
	女性	328	1.8	12.2	14.3	33.8	17.4	20.4
年代	15歳～29歳	116	5.2	12.9	15.5	37.1	10.3	19.0
	30代	115	2.6	15.7	13.9	30.4	18.3	19.1
	40代	112	4.5	8.0	18.8	34.8	15.2	18.8
	50代	134	2.2	14.9	9.7	32.1	18.7	22.4
	60代	113	0.0	7.1	18.6	38.9	18.6	16.8
	70歳～99歳	84	2.4	10.7	13.1	45.2	14.3	14.3
地域	小松川地区	89	2.2	11.2	7.9	34.8	15.7	28.1
	中央地区	60	3.3	15.0	20.0	31.7	10.0	20.0
	葛西地区	241	3.7	12.4	14.5	36.5	16.6	16.2
	小岩地区	92	1.1	12.0	16.3	31.5	17.4	21.7
	東部地区	75	5.3	6.7	18.7	38.7	14.7	16.0
	鹿骨地区	35	0.0	11.4	25.7	28.6	17.1	17.1
	その他地区	82	1.2	12.2	9.8	43.9	18.3	14.6

4.開館時間が予定とあわない

(%)

		n	るとても当てはまる	とどちらかという	いとどちらかという	当てはまらない	などちともいえ	いな利用したことからなが
全体		674	3.7	11.4	15.3	35.6	15.4	18.5
性別	男性	346	4.6	11.6	17.3	34.1	14.7	17.6
	女性	328	2.7	11.3	13.1	37.2	16.2	19.5
年代	15歳～29歳	116	6.9	17.2	11.2	33.6	11.2	19.8
	30代	115	5.2	8.7	18.3	35.7	13.0	19.1
	40代	112	3.6	9.8	17.0	37.5	15.2	17.0
	50代	134	1.5	11.9	12.7	33.6	17.2	23.1
	60代	113	1.8	10.6	20.4	34.5	18.6	14.2
	70歳～99歳	84	3.6	9.5	11.9	40.5	17.9	16.7
地域	小松川地区	89	3.4	5.6	7.9	38.2	14.6	30.3
	中央地区	60	5.0	13.3	21.7	26.7	16.7	16.7
	葛西地区	241	5.0	13.3	13.3	36.9	14.9	16.6
	小岩地区	92	3.3	14.1	21.7	31.5	8.7	20.7
	東部地区	75	2.7	10.7	18.7	30.7	20.0	17.3
	鹿骨地区	35	5.7	8.6	25.7	28.6	17.1	14.3
	その他地区	82	0.0	9.8	9.8	47.6	19.5	13.4

5.混雑している

(%)

		n	るとも 当てはま	どち らかと いう	いと ちか まら ない	当 ては まら ない	な い ち ら と も い え	いな い わ た か ら な が
全体		674	7.6	27.3	16.5	17.2	15.7	15.7
性別	男性	346	8.4	26.9	17.9	17.3	13.9	15.6
	女性	328	6.7	27.7	14.9	17.1	17.7	15.9
年代	15歳～29歳	116	13.8	27.6	18.1	15.5	6.9	18.1
	30代	115	8.7	25.2	19.1	17.4	14.8	14.8
	40代	112	6.3	22.3	20.5	17.0	19.6	14.3
	50代	134	7.5	30.6	11.2	14.9	17.2	18.7
	60代	113	4.4	30.1	15.9	17.7	19.5	12.4
	70歳～99歳	84	3.6	27.4	14.3	22.6	16.7	15.5
地域	小松川地区	89	6.7	21.3	9.0	21.3	15.7	25.8
	中央地区	60	8.3	28.3	18.3	13.3	18.3	13.3
	葛西地区	241	9.1	29.9	15.8	16.2	13.7	15.4
	小岩地区	92	5.4	30.4	19.6	14.1	13.0	17.4
	東部地区	75	8.0	32.0	22.7	12.0	16.0	9.3
	鹿骨地区	35	8.6	20.0	11.4	20.0	25.7	14.3
	その他地区	82	4.9	20.7	18.3	25.6	18.3	12.2

6.自宅から遠い

(%)

		n	るとも 当てはま	どち らかと いう	いと ちか まら ない	当 ては まら ない	な い ち ら と も い え	いな い わ た か ら な が
全体		674	7.4	19.7	17.5	29.7	11.7	13.9
性別	男性	346	6.6	15.3	20.5	31.2	11.8	14.5
	女性	328	8.2	24.4	14.3	28.0	11.6	13.4
年代	15歳～29歳	116	12.1	18.1	17.2	28.4	6.9	17.2
	30代	115	10.4	17.4	27.0	25.2	6.1	13.9
	40代	112	5.4	21.4	16.1	27.7	17.9	11.6
	50代	134	6.7	23.1	12.7	26.9	14.2	16.4
	60代	113	4.4	21.2	21.2	26.5	15.0	11.5
	70歳～99歳	84	4.8	15.5	9.5	48.8	9.5	11.9
地域	小松川地区	89	12.4	18.0	10.1	27.0	9.0	23.6
	中央地区	60	8.3	26.7	21.7	20.0	11.7	11.7
	葛西地区	241	6.2	20.7	16.2	33.2	10.0	13.7
	小岩地区	92	7.6	14.1	27.2	28.3	8.7	14.1
	東部地区	75	9.3	24.0	17.3	24.0	20.0	5.3
	鹿骨地区	35	2.9	17.1	25.7	28.6	14.3	11.4
	その他地区	82	4.9	17.1	12.2	36.6	14.6	14.6

7.交通手段がない・アクセスが不便

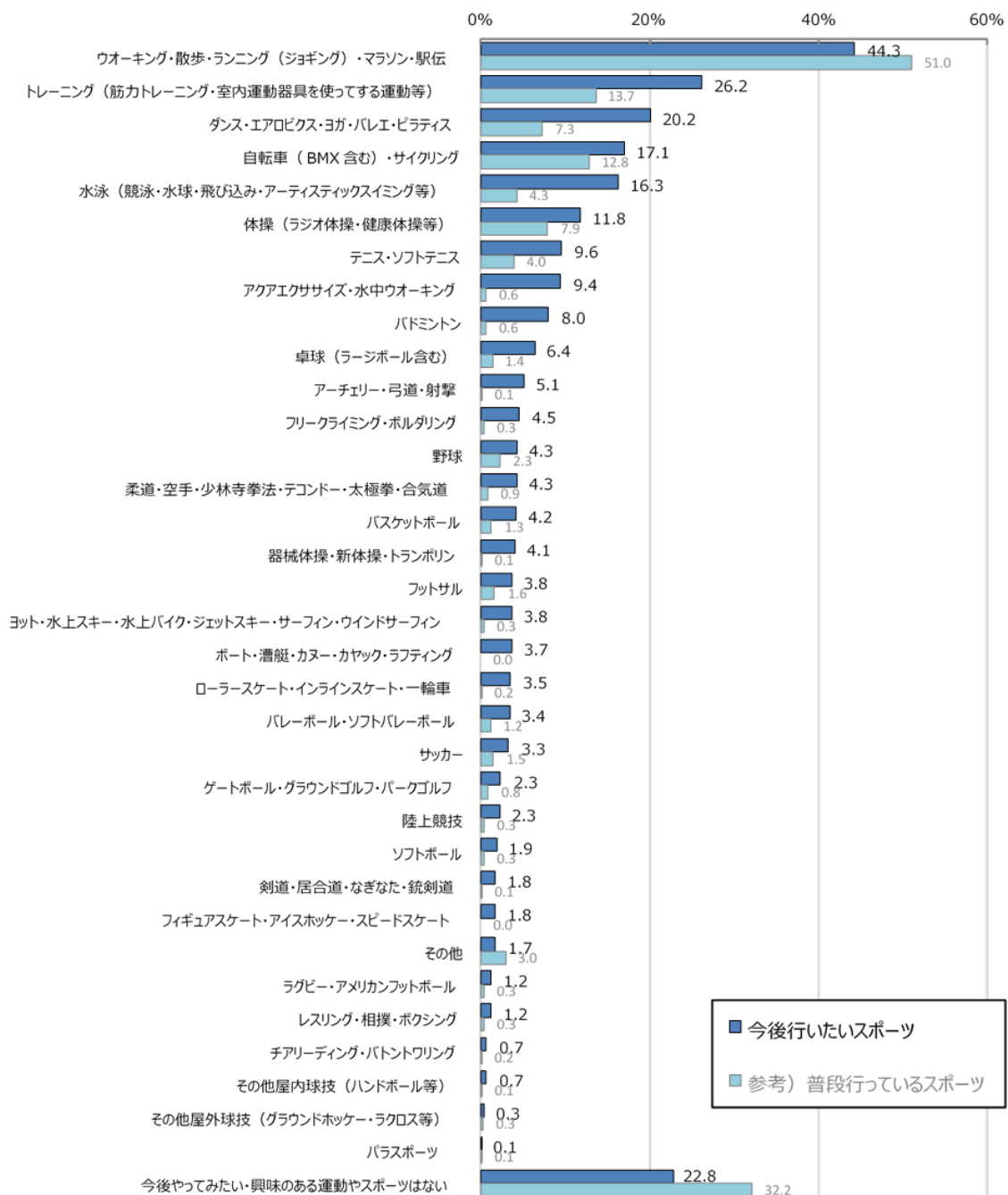
(%)

		n	とても 当ては ま	どちら かとい う	どちら かとい う	当ては まらない	ない らとも いえ	ない 利用 した こと が
全体		674	7.0	19.1	16.8	31.5	11.1	14.5
性別	男性	346	6.1	15.3	20.5	32.7	10.4	15.0
	女性	328	7.9	23.2	12.8	30.2	11.9	14.0
年代	15歳～29歳	116	11.2	13.8	19.8	27.6	9.5	18.1
	30代	115	9.6	20.9	20.0	29.6	7.0	13.0
	40代	112	3.6	20.5	16.1	32.1	15.2	12.5
	50代	134	7.5	21.6	15.7	24.6	14.2	16.4
	60代	113	4.4	17.7	17.7	34.5	12.4	13.3
	70歳～99歳	84	4.8	20.2	9.5	45.2	7.1	13.1
地域	小松川地区	89	10.1	15.7	12.4	25.8	10.1	25.8
	中央地区	60	10.0	26.7	18.3	28.3	6.7	10.0
	葛西地区	241	6.2	17.0	15.4	37.3	9.5	14.5
	小岩地区	92	6.5	16.3	19.6	30.4	8.7	18.5
	東部地区	75	9.3	30.7	20.0	20.0	14.7	5.3
	鹿骨地区	35	2.9	17.1	25.7	34.3	11.4	8.6
	その他地区	82	3.7	17.1	14.6	32.9	19.5	12.2

④今後行いたいスポーツについて

Q9. 今後やってみたい・興味のある運動やスポーツはありますか。当てはまるものを全て選択してください。

- 上位2種目はQ1の実施状況と同じであるが、次いで「ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」、「自転車」、「水泳」と、現在の実施スポーツから若干の変動がある。
- 今後新たに行いたい種目として、「テニス・ソフトテニス」や「アクアエクササイズ・水中運動」、「バドミントン」、「卓球」、「アーチェリー・弓道・射撃」などが多くあがっている。
- 「野球」や「バレーボール」、「バスケットボール」など、団体競技種目は40代以下に多く、50代以降は「体操」や「アクアエクササイズ・水中運動」など、個人で行える運動強度の低い種目が多い傾向にある。
- 現在の実施状況で「スポーツをしていない」人は、男女で10%近く差があったが、「今後やってみたいスポーツはない」という回答は男女で大きな差はなかった。



(%)

		n	駅伝 (ジョギング・ マラソン・ ジョギング・ 散歩・ラン ニング)	陸上競技	自転車 (BMX含む) ・サイク リング	ローラー スケート・ インライ ン	運動等) (室内運 動器具を 使ってす る)	トレニン グ(筋力 トレーニング 等)	体操(ラ ジオ体操 ・健康体 操)	ダンス・ エアロビ クス・ヨ ガ・ピラ ティス	器械体 操・新体 操・トラ ンポリ	チアリ ーディ ング・パ トントワ リング	水泳(競 泳・水球 ・飛び込 み・スイ ミング)	アクア エクサ サイズ・ 水中ウ ォーキン グ	野球
全体	1200	44.3	2.3	17.1	3.5	26.2	11.8	20.2	4.1	0.7	16.3	9.4	4.3		
性別	男性	600	39.8	2.5	20.0	2.3	25.3	7.7	7.5	2.5	0.2	14.3	5.2	6.8	
	女性	600	48.7	2.0	14.2	4.7	27.0	15.8	32.8	5.7	1.2	18.3	13.7	1.7	
年代	15歳~29歳	200	34.5	5.5	18.0	7.5	32.5	8.5	25.0	5.5	1.0	23.5	7.0	8.5	
	30代	200	40.5	3.0	18.5	6.5	29.5	9.0	26.5	8.0	2.0	19.5	5.5	7.0	
	40代	200	42.0	4.5	17.0	4.5	22.0	6.5	20.0	6.5	0.0	16.0	8.0	5.5	
	50代	229	46.3	0.0	14.8	0.9	27.1	11.4	22.3	1.7	0.4	12.2	12.7	2.6	
	60代	221	45.7	0.0	13.6	0.9	18.6	14.5	14.5	0.5	0.0	12.7	11.8	0.9	
	70歳~99歳	150	60.0	0.7	22.7	0.7	28.7	23.3	10.7	2.7	0.7	14.7	11.3	0.7	
		n	ソフト ボール	テニス ・ソフト テニス	バドミ ントン	卓球(ラ ージボ ール含 む)	ボレー ボール ・ソフ トバレー ボール	バス ケット ボ ール	その他 屋内球 技(ハン ドボ ール等)	サッ カー	フッ トサル	ラグ ビー ・アメ リカ ンフ ット	ゲー トボ ール ・グ ラウ ンド ゴ	ホッ ケー ・ラ ク ロ ス 等	その他 屋外 球技 (グラ ウン ド)
全体	1200	1.9	9.6	8.0	6.4	3.4	4.2	0.7	3.3	3.8	1.2	2.3	0.3		
性別	男性	600	2.7	9.7	6.8	7.0	1.8	5.3	0.5	5.3	5.5	1.7	3.2	0.5	
	女性	600	1.2	9.5	9.2	5.8	5.0	3.0	0.8	1.2	2.0	0.7	1.5	0.2	
年代	15歳~29歳	200	4.0	13.5	10.0	9.5	8.0	10.0	1.0	6.0	7.5	1.0	1.5	0.0	
	30代	200	2.0	10.5	10.5	7.5	6.0	8.5	2.0	6.0	9.5	1.5	1.0	1.0	
	40代	200	1.5	11.5	11.0	7.0	4.5	3.0	0.5	2.5	2.5	2.5	1.5	0.5	
	50代	229	0.9	7.0	5.7	2.2	0.4	2.2	0.0	2.2	2.2	0.9	1.7	0.4	
	60代	221	1.4	6.8	7.2	5.9	0.9	0.5	0.0	1.4	0.0	0.5	2.3	0.0	
	70歳~99歳	150	2.0	8.7	2.7	7.3	0.7	0.7	0.7	1.3	0.7	0.7	7.3	0.0	
		n	グレ スリ ング ・相 撲・ ボク シン	コ柔 道・ 空手 ・太 極拳 ・少 林拳 ・合 気道 ・テ	剣道 ・居 合道 ・な ぎな た・ 銃	フリ ーク ライ ミン グ・ ボル ダ	ヤッ ク・ 漕艇 ・カ ヌー ・カ ン	フィ ン・ ウイ ント スキ ー・ 水パ ー	ヨット ・水 上ス キー ・水 上パ ー	ホッ ケー ・ス ピー ドス ケー ー	アー チエ リー ・弓 道・ 射撃	障 害者 スポ ーツ	そ の 他	今 後や って みた い・ 興味 のあ る 運 動	今 後や って みた い・ 興味 のあ る 運 動
全体	1200	1.2	4.3	1.8	4.5	3.7	3.8	1.8	5.1	0.1	1.7	22.8			
性別	男性	600	2.3	5.2	2.8	4.7	3.3	4.2	0.8	6.3	0.0	2.7	23.7		
	女性	600	0.0	3.3	0.7	4.3	4.0	3.3	2.7	3.8	0.2	0.7	22.0		
年代	15歳~29歳	200	0.5	3.0	2.5	7.0	4.0	4.5	4.0	5.5	0.0	1.0	21.0		
	30代	200	2.0	6.0	3.0	7.5	2.5	3.0	2.5	5.0	0.0	1.0	16.5		
	40代	200	3.5	7.5	2.0	7.0	6.5	7.5	1.5	5.5	0.0	2.5	22.5		
	50代	229	0.9	2.2	0.0	2.6	3.1	3.1	0.9	4.4	0.0	1.7	26.6		
	60代	221	0.0	1.8	1.8	1.4	2.3	3.2	1.4	4.5	0.5	1.4	27.6		
	70歳~99歳	150	0.0	6.0	1.3	1.3	4.0	0.7	0.0	6.0	0.0	2.7	21.3		

〈参考〉

国（スポーツ庁）と東京都（※参考）の調査における、今後行いたいスポーツ上位5種目を比較し、下表に示す。

- いずれもウォーキング等が最も多く、それぞれ上位2位までは、現在の実施種目と同じ結果となった。
- 区では水泳（競泳等）が上位にあがっているのが特徴的である。
- そのほか区では、バドミントン、バスケットボール、テニス・ソフトテニス、卓球、アーチェリー・弓道・射撃、野球、ローラースケート等が国や都の結果よりも高い回答割合となった。

※東京都の調査はスポーツ種目の分け方が大きく異なるため、参考とする。

〈上位種目の比較（今後行いたいスポーツ）〉

	江戸川区	国	（参考）東京都
1	ウォーキング・散歩・ランニング・マラソン・駅伝	ウォーキング	ウォーキング・散歩
2	トレーニング	トレーニング	体操
3	ダンス・エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	軽い水泳
4	自転車・サイクリング	ランニング・マラソン・駅伝	軽い球技
5	水泳	自転車・サイクリング	ランニング

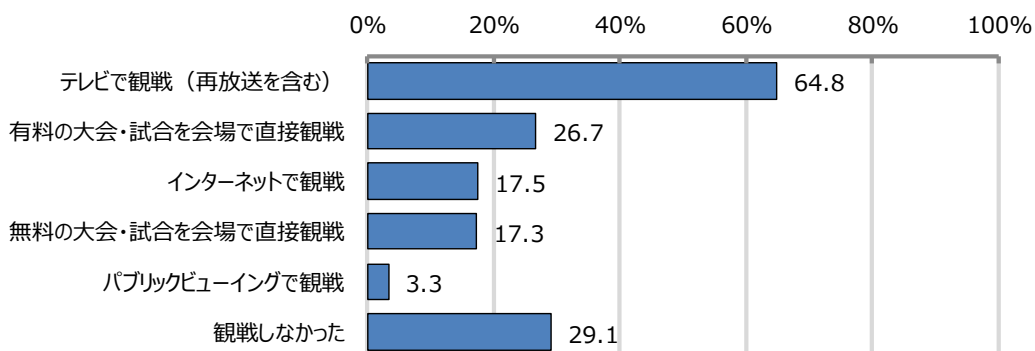
国：令和2年スポーツ庁実施「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

東京都：平成30年東京都実施「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」

⑤“みるスポーツ”について

Q10. あなたはトップスポーツ（オリンピック・パラリンピック、プロ野球、大相撲など）やアマチュアスポーツ（高校野球、子どもの部活動など）の大会・試合をどのように観戦しましたか。当てはまるものを全て選択してください。

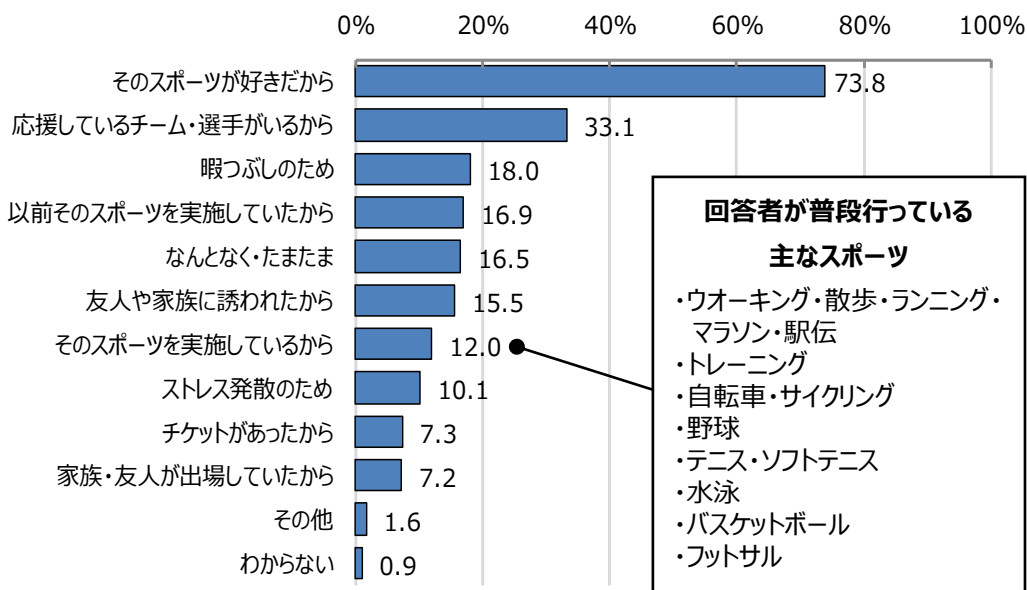
- 回答者の約7割が、何らかのかたちでスポーツ観戦をしている。また、全体的に男性の方が女性よりスポーツ観戦をしている傾向にある。
- 観戦方法は、テレビで観戦する人が64.8%と最も多い。会場で直接観戦する人は、無料より有料の大会・試合を観戦している傾向にある。
- 15～29歳、30代は直接会場で観戦する人が比較的多く、70～99歳はテレビ観戦が多い。また、インターネット観戦は、若年層は比較的多く、高齢者層は少ないなど、年齢層で観戦方法に若干の違いが伺える。



		回答者 (n)	テレビで観戦 (再放送を含む)	有料の大会・試合を会場で直接観戦	インターネットで観戦	無料の大会・試合を会場で直接観戦	パブリックビューイングで観戦	観戦しなかった
全体		1200	64.8	26.7	17.5	17.3	3.3	29.1
性別	男性	600	70.0	29.5	23.5	20.0	4.2	23.5
	女性	600	59.7	23.8	11.5	14.5	2.5	34.7
年代	15歳～29歳	200	57.5	30.5	23.5	21.5	4.5	30.5
	30代	200	65.0	33.5	22.0	23.0	7.0	28.0
	40代	200	60.0	24.5	21.5	17.5	3.5	32.0
	50代	229	61.1	24.5	12.2	17.0	2.2	34.1
	60代	221	68.8	22.2	14.9	10.4	0.9	29.0
	70歳～99歳	150	80.7	25.3	10.0	14.0	2.0	17.3

Q11.あなたがスポーツ観戦をする理由・目的は何ですか。当てはまるものを全て選択してください。

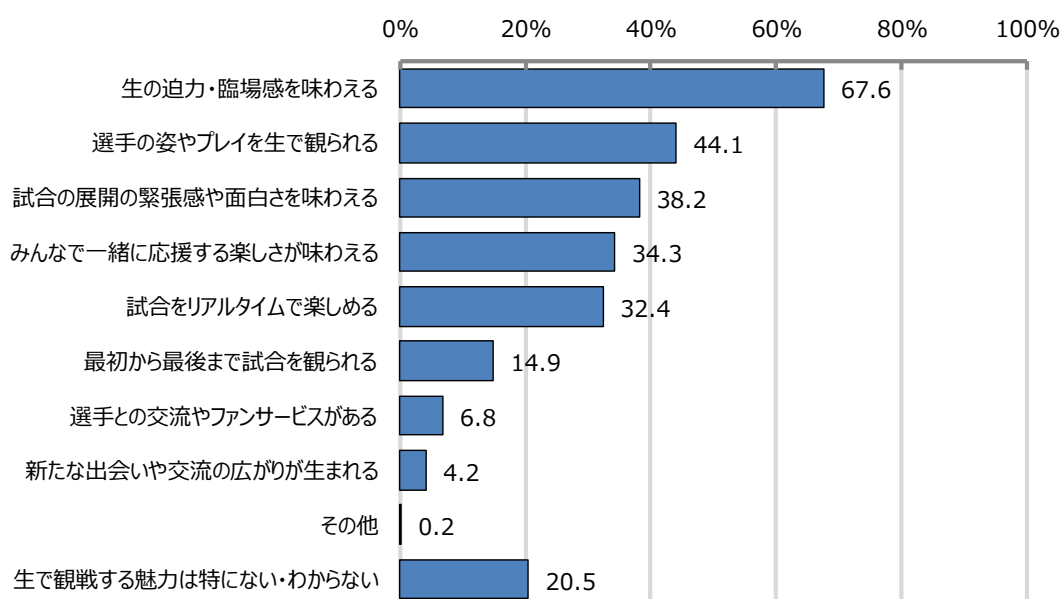
- スポーツ観戦をする理由として、「そのスポーツが好きだから」が73.8%と最も多く、次いで「応援しているチーム・選手がいるから」（33.1%）と続く。
- 男女別で比較すると、男性は「暇つぶしのため」、「以前そのスポーツを実施していたから」という理由が多く、女性は「友達や家族に誘われたから」、「家族・友人が出場していたから」という理由が多い。
- 若年層は「友達や家族に誘われたから」、「家族・友人が出場していたから」という理由でスポーツ観戦をする人が多い。
- 30代は「以前そのスポーツを実施していたから」のほか、「暇つぶしのため」、「なんとなく・たまたま」という理由も多く、日常生活でスポーツ観戦の機会が増加しており、身近な余暇活動の一つとなっていることが伺える。



		回答者数 (n)	そのスポーツが好きだから	応援しているチーム・選手がいるから	暇つぶしのため	以前そのスポーツを実施していたから	なんとなく・たまたま	友人や家族に誘われたから	そのスポーツを実施しているから	ストレス発散のため	チケットがあったから	家族・友人が出場していたから	その他	わからない
全体		851	73.8	33.1	18.0	16.9	16.5	15.5	12.0	10.1	7.3	7.2	1.6	0.9
性別	男性	459	77.6	32.5	21.8	21.1	16.6	9.4	13.7	10.7	7.2	4.1	1.7	0.7
	女性	392	69.4	33.9	13.5	12.0	16.3	22.7	9.9	9.4	7.4	10.7	1.5	1.3
年代	15歳～29歳	139	72.7	30.2	14.4	19.4	13.7	25.9	17.3	9.4	9.4	12.9	0.7	0.0
	30代	144	73.6	36.8	32.6	25.7	22.2	25.0	14.6	14.6	8.3	5.6	2.8	0.0
	40代	136	72.8	33.1	17.6	17.6	14.7	14.0	11.8	11.8	5.9	6.6	0.0	1.5
	50代	151	72.8	32.5	9.9	10.6	15.9	10.6	9.3	6.6	7.9	9.9	1.3	2.0
	60代	157	75.8	27.4	15.9	15.9	17.2	7.6	9.6	7.6	5.7	4.5	1.3	1.3
	70歳～99歳	124	75.0	40.3	17.7	12.1	14.5	10.5	9.7	11.3	6.5	3.2	4.0	0.8

Q12.生でスポーツを観戦する魅力は何だと思いますか。当てはまるものを全て選択してください。

- スポーツ観戦の魅力として、「生の迫力・臨場感を味わえる」という回答が 67.6%と最も多く、次いで「選手の姿やプレイを生で観られる」(44.1%)、「試合の展開の緊張感や面白さを味わえる」(38.2%)と続く。
- 上位3項目について年代別にみると、30代が最も高く、15~29歳、70~99歳も40~60代に比べると高い傾向にあることがわかる。「生で観戦する魅力は特にない・わからない」も30代が16.5%と最も少なく、次いで15~29歳と70~99歳である。観戦しているスポーツ種目が違う可能性はあるが、生でスポーツ観戦することに魅力を感じている人が多いことが伺える。
- 男女による差はあまり見られないが、「みんなで一緒に応援する楽しさが味わえる」は、男性(29.2%)より女性(39.3%)の回答が多く、大勢で選手やチームを応援する一体感に魅力を感じている女性が多いことが伺える。
- 選手との交流やファンサービスを楽しみにしているのは、若年層が多い傾向にある。



(%)

		回答者数 (n)	生の迫力・臨場感を味わえる	生で観られる選手の姿やプレイを	試合の展開の緊張感や面白さを味わえる	みんなで一緒に応援する楽しさが味わえる	試合をリアルタイムで楽しめる	最初から最後まで試合を観られる	選手との交流やファンサービスがある	新たな出会いや交流の広がり生まれる	その他	生で観戦する魅力は特にない・わからない
全体		1200	67.6	44.1	38.2	34.3	32.4	14.9	6.8	4.2	0.2	20.5
性別	男性	600	68.7	43.0	37.5	29.2	31.5	14.0	6.8	4.3	0.3	18.8
	女性	600	66.5	45.2	38.8	39.3	33.3	15.8	6.8	4.0	0.0	22.2
年代	15歳~29歳	200	66.5	48.5	42.0	36.0	35.0	14.0	11.5	5.5	0.0	18.5
	30代	200	75.0	50.5	46.0	42.0	36.0	16.0	11.0	6.0	0.0	16.5
	40代	200	64.0	44.0	31.0	33.5	32.0	11.5	8.0	5.0	0.0	21.5
	50代	229	63.8	40.2	31.9	29.7	32.3	13.1	3.1	0.9	0.4	24.5
	60代	221	65.6	39.4	35.7	33.5	28.1	19.5	4.5	4.5	0.0	22.2
	70歳~99歳	150	72.7	42.7	45.3	30.7	31.3	15.3	2.7	3.3	0.7	18.7

4.1.2 施設利用者アンケート

(1) 調査の概要

①実施時期：令和3年（2021年）4月3日（土）～5月5日（水）

※新型コロナウイルス緊急事態宣言発出措置に伴い4月25日～5月31日施設利用制限あり

②実施方法：対象施設にて配布する2次元コード読み取りによるWEBアンケート

③対象者：対象施設利用者

④主な内容：・性別、年代、居住地域について

・対象施設で行うスポーツの種類

・対象施設の利用について

・大型スポーツ施設の利用について

・”みるスポーツ”について

<対象施設別の回答者数>

対象施設	回答者数（人）
総合体育館	72
スポーツセンター	72
スポーツランド	108
小岩アーバンプラザ	47
小松川さくらホール	36
陸上競技場	23
江戸川区球場	10
臨海球技場	44
水辺のスポーツガーデン	17
合計	429

(2) 総合体育館

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

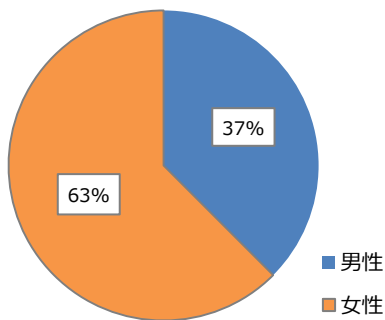
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～休館

対象：総合体育館利用者

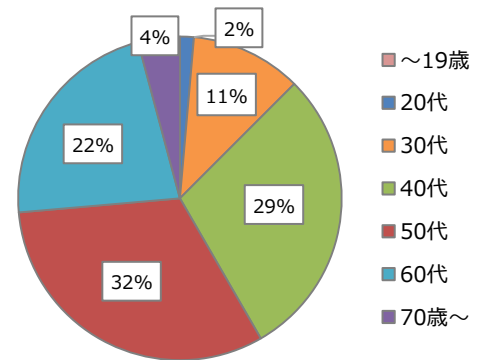
回収数：72票

2) 回答者の基本データ

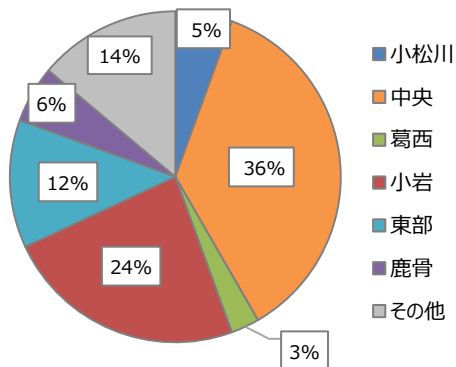
<性別>



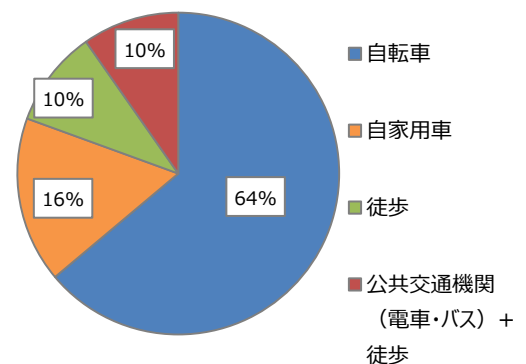
<年代>



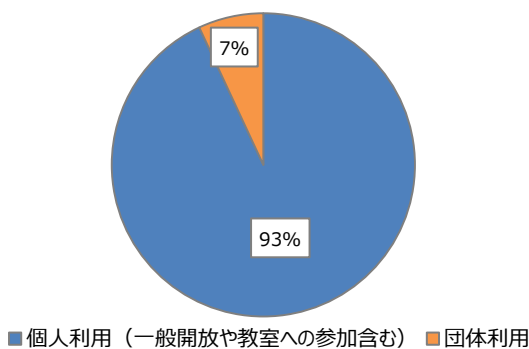
<居住地区>



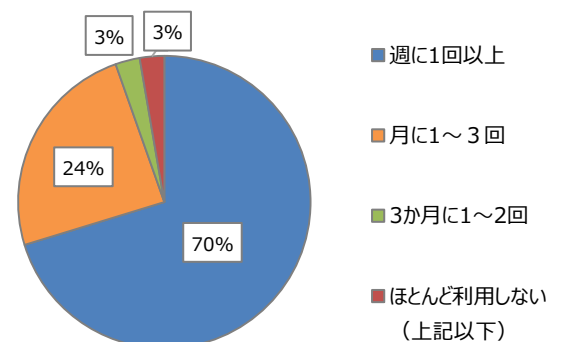
<交通手段>



<利用形態>



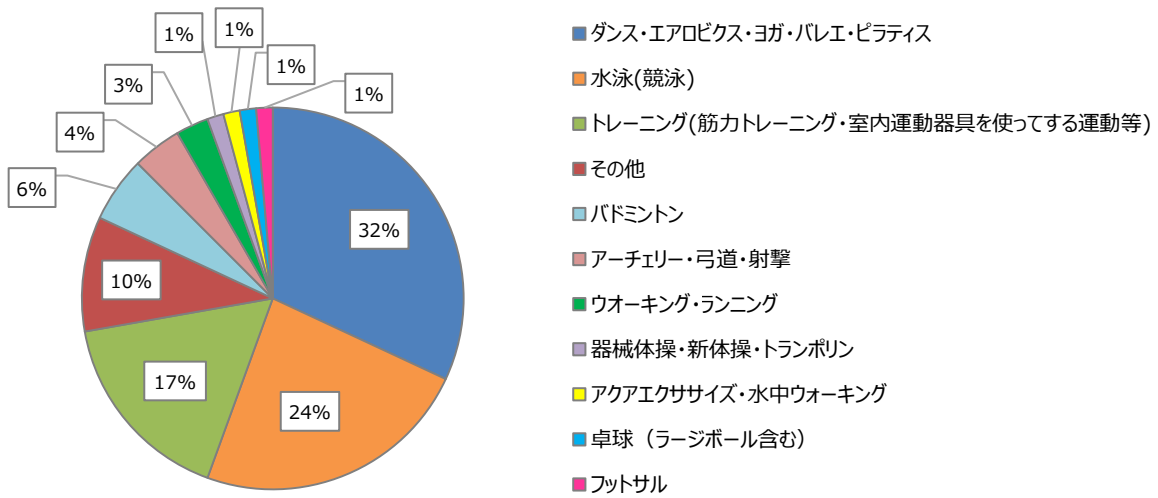
<利用頻度>



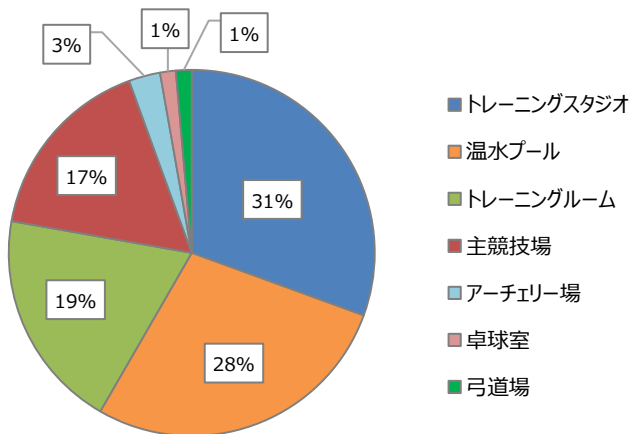
- ・ 主に30～60代の回答が多い
- ・ 中央地区・小岩地区住民の回答が多い

3) 調査結果

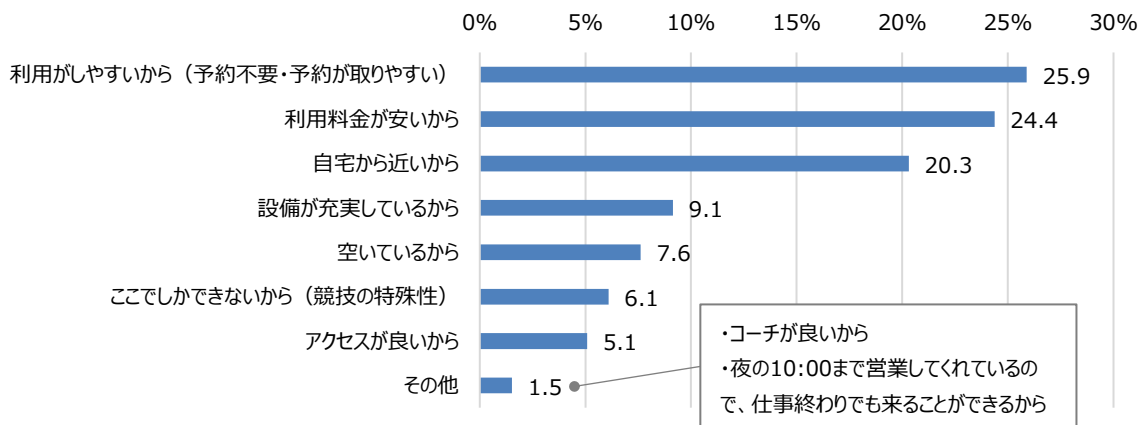
<実施スポーツ>



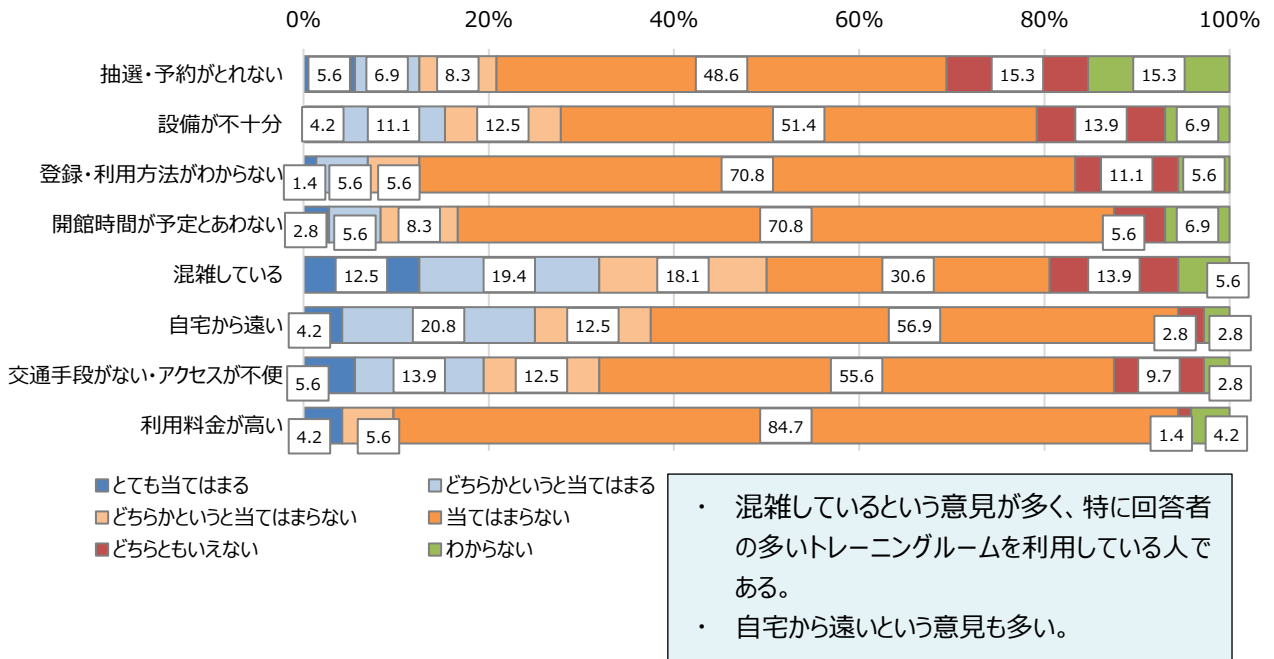
<利用した部屋(施設)>



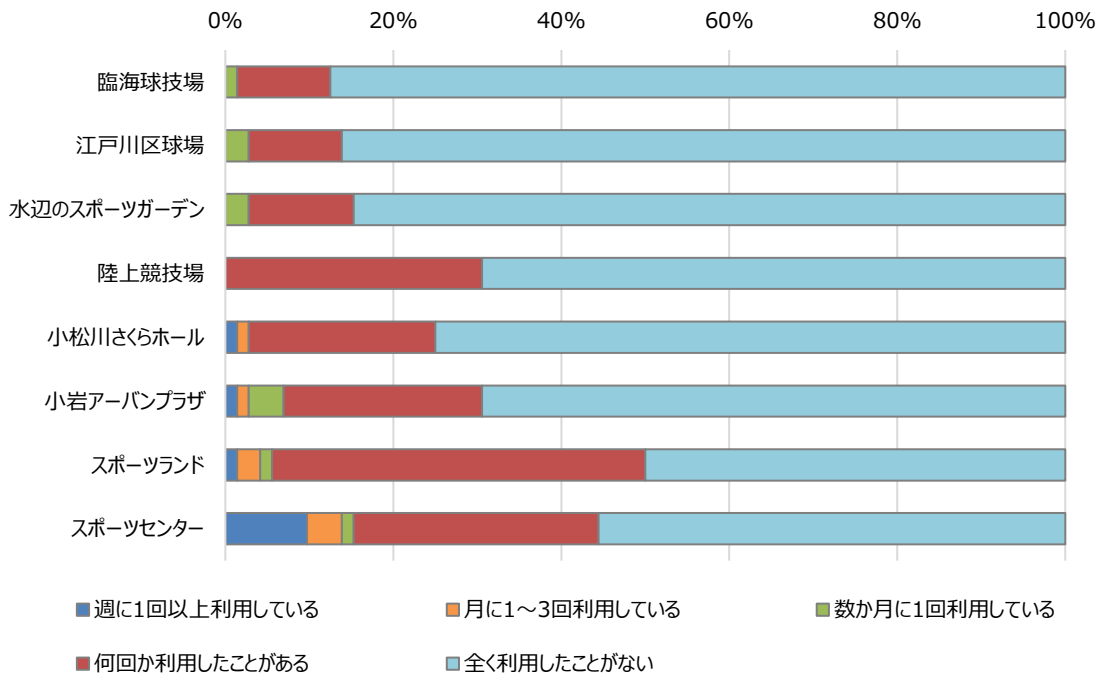
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(3) スポーツセンター

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB 回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

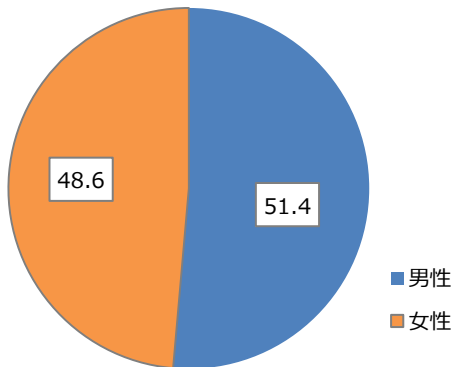
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～休館

対象：スポーツセンター利用者

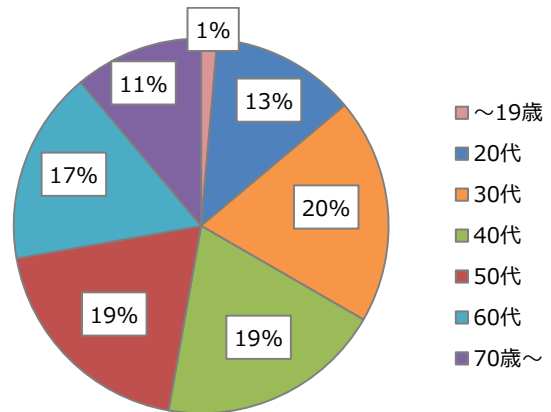
回収数：72票

2) 回答者の基本データ

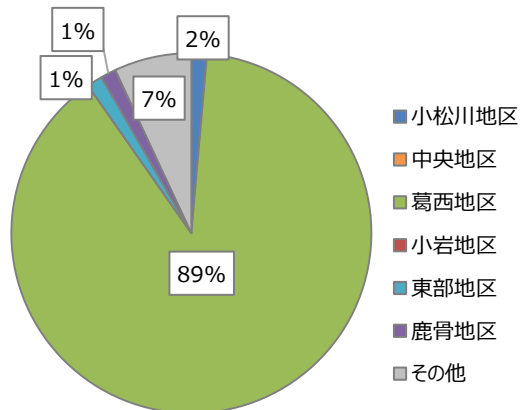
<性別>



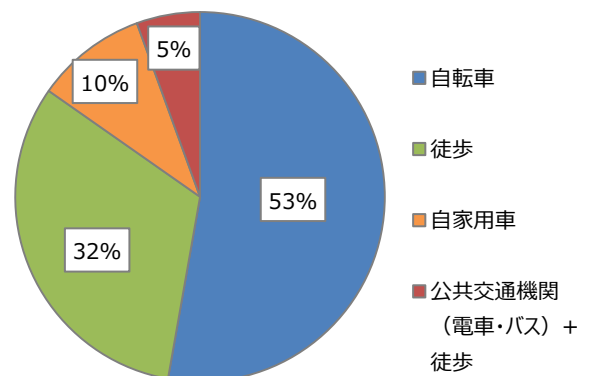
<年代>



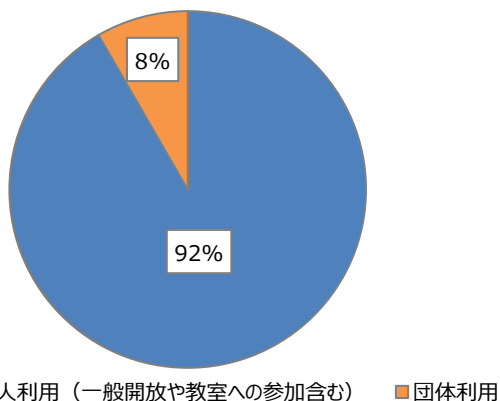
<居住地区>



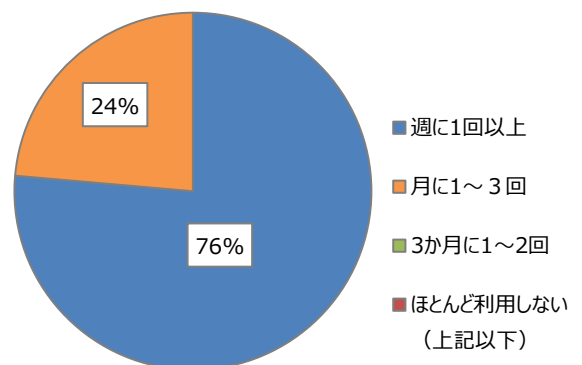
<交通手段>



<利用形態>



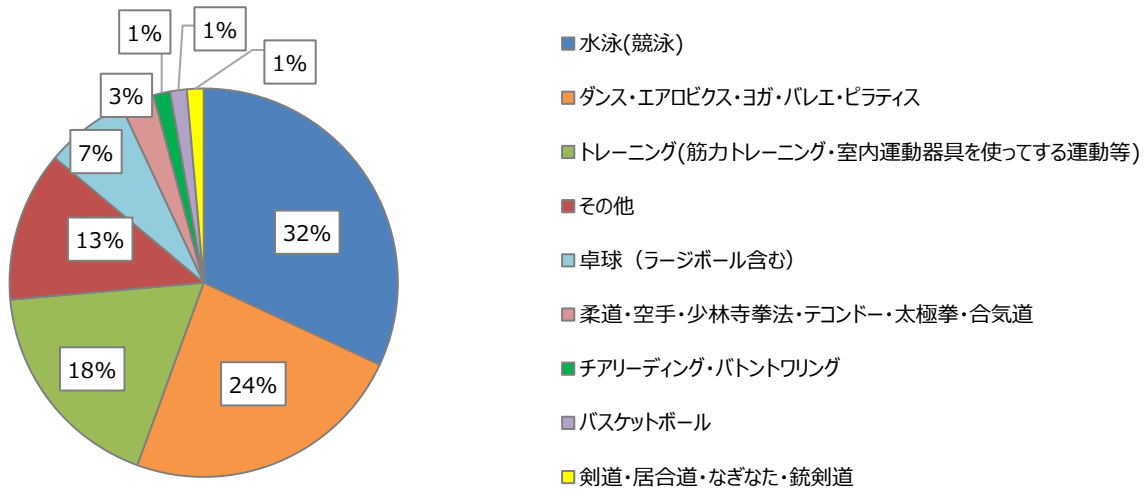
<利用頻度>



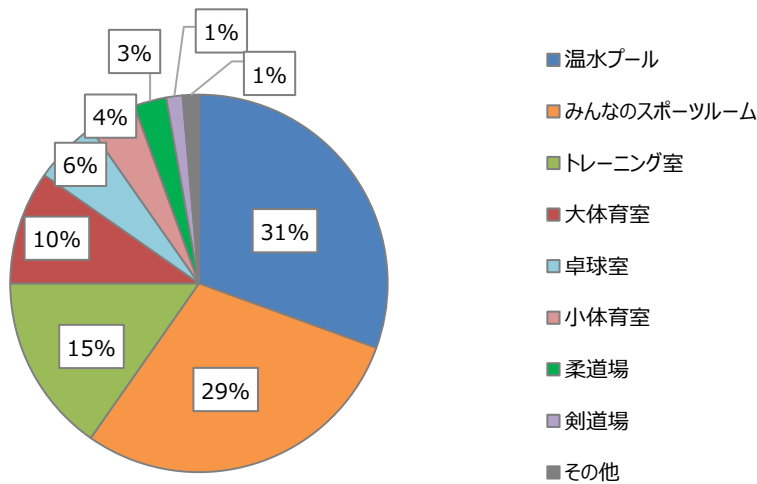
・回答者は20代から70代以上と幅広い。
・葛西地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

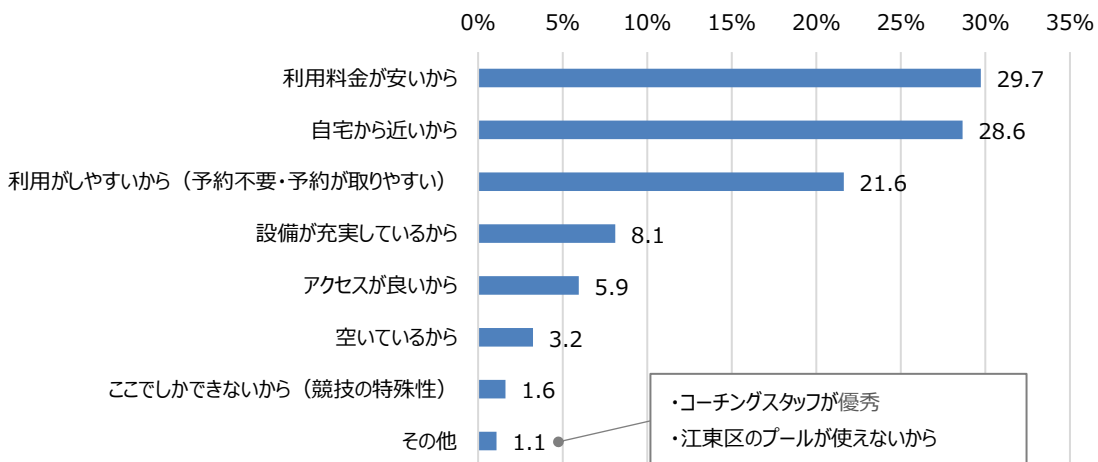
<実施スポーツ>



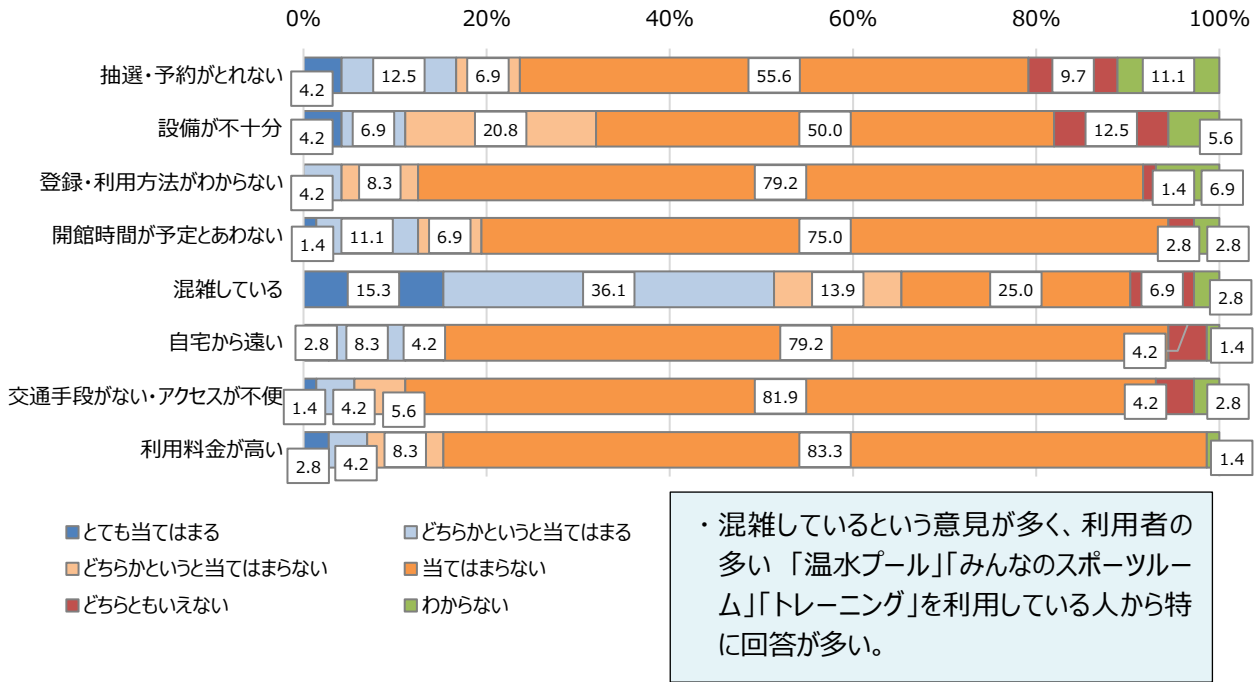
<利用した部屋(施設)>



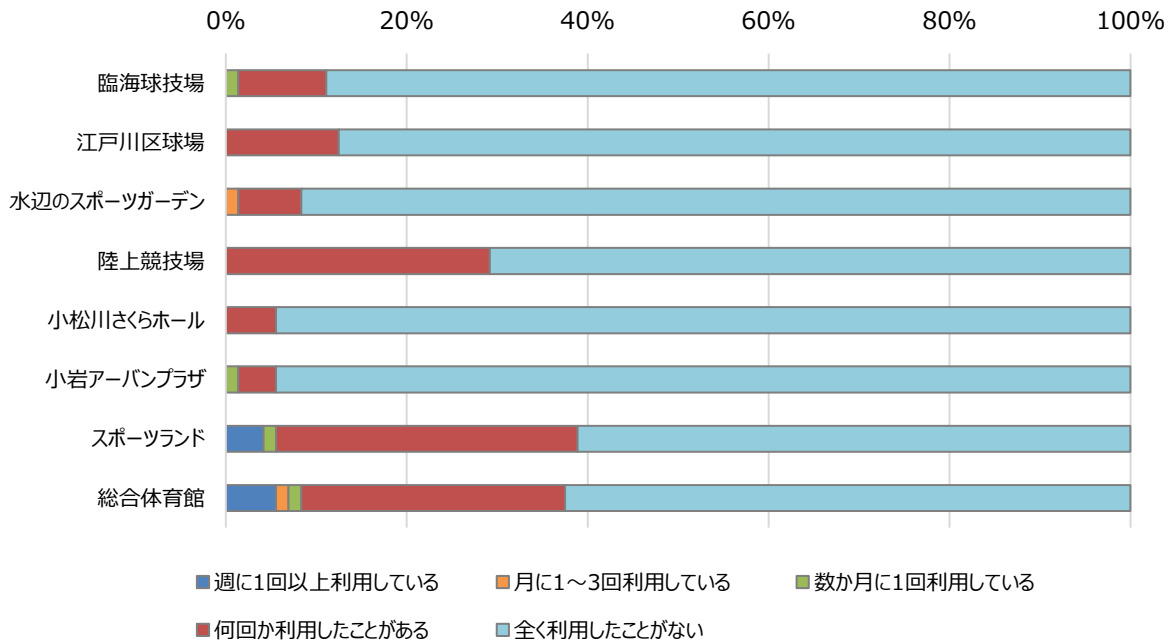
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(4) スポーツランド

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された、2次元コード読み取りによるWEB 回答
 期間：令和3年（2021年）4月3日～4月18日

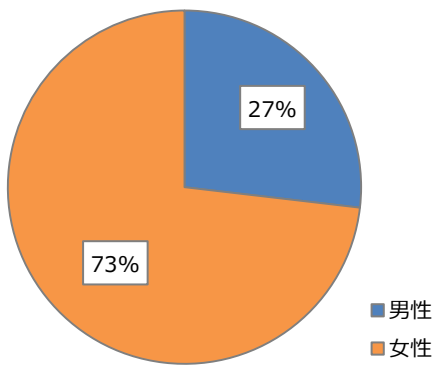
対象：スポーツランド利用者

回収数：108票

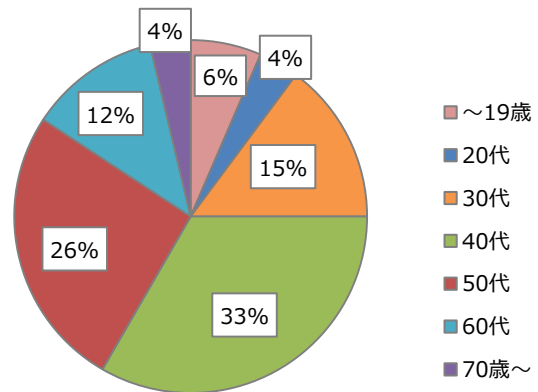
・回答者は多世代、中でも40代50代の回答が多い。
 ・頻りにアイススケートリンクを個人利用している人の回答が多い。

2) 回答者の基本データ

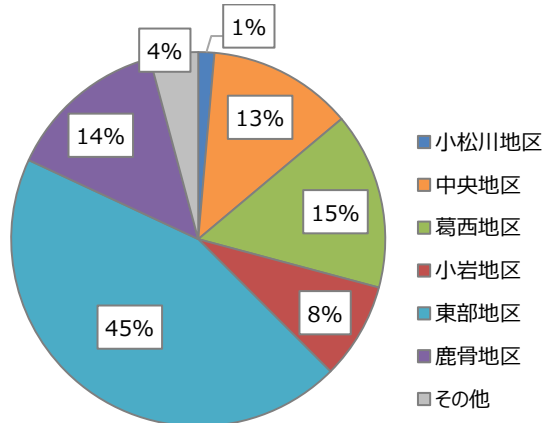
<性別>



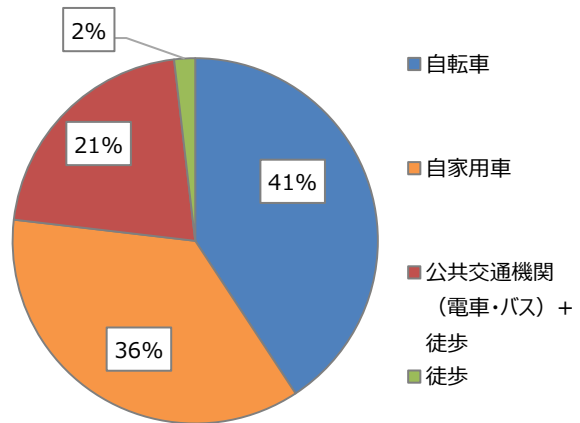
<年代>



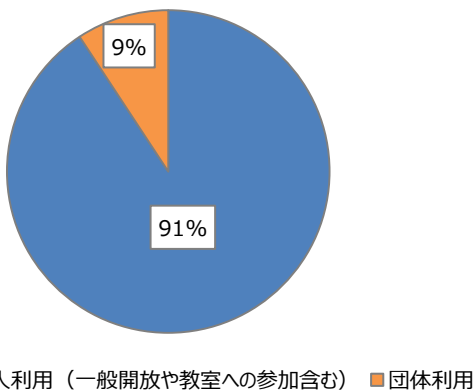
<居住地区>



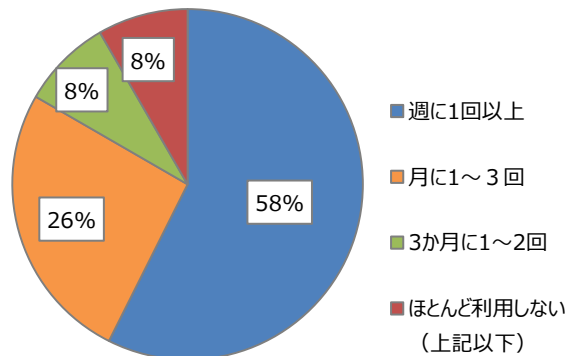
<交通手段>



<利用形態>

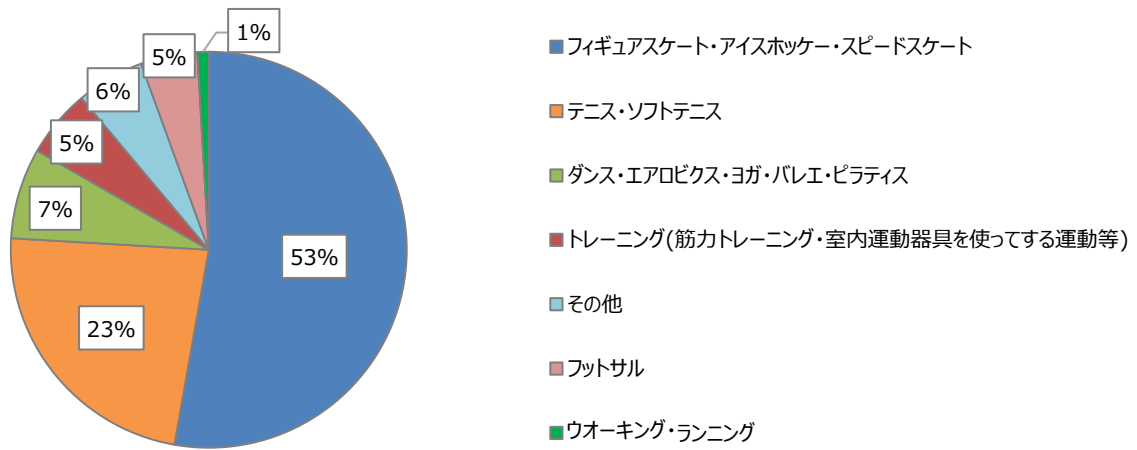


<利用頻度>

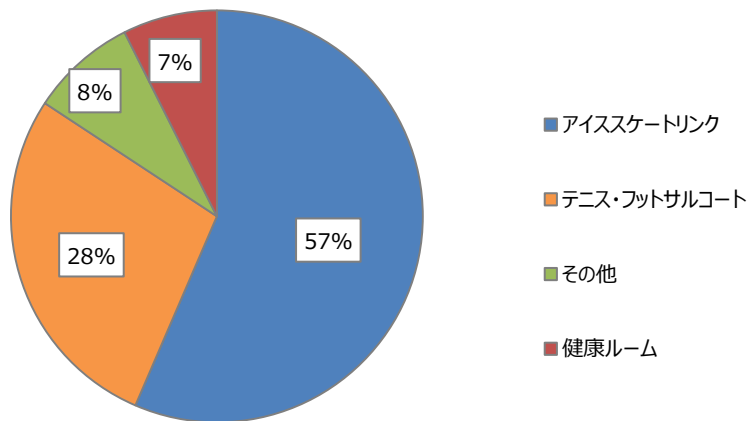


3) 調査結果

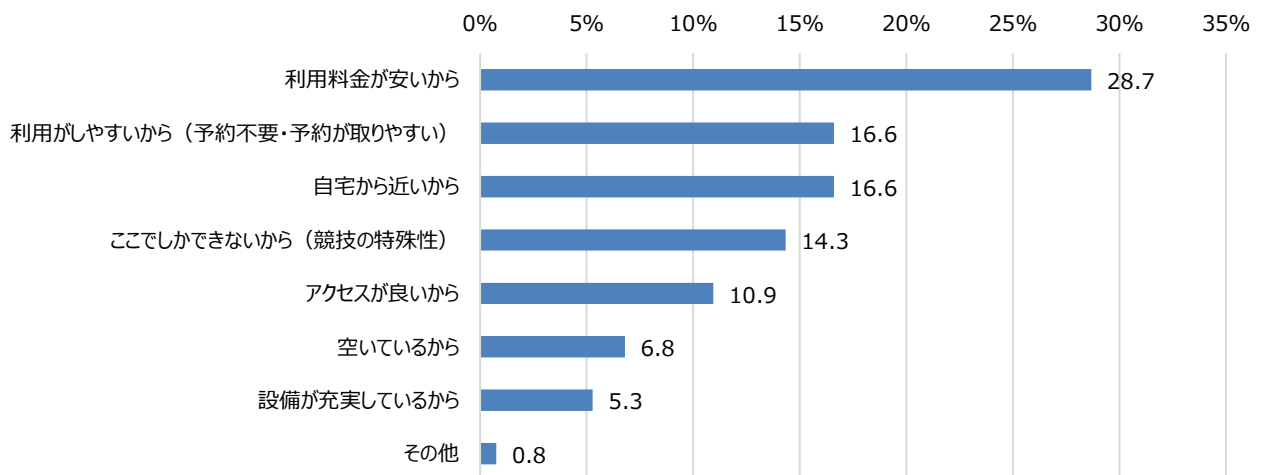
<実施スポーツ>



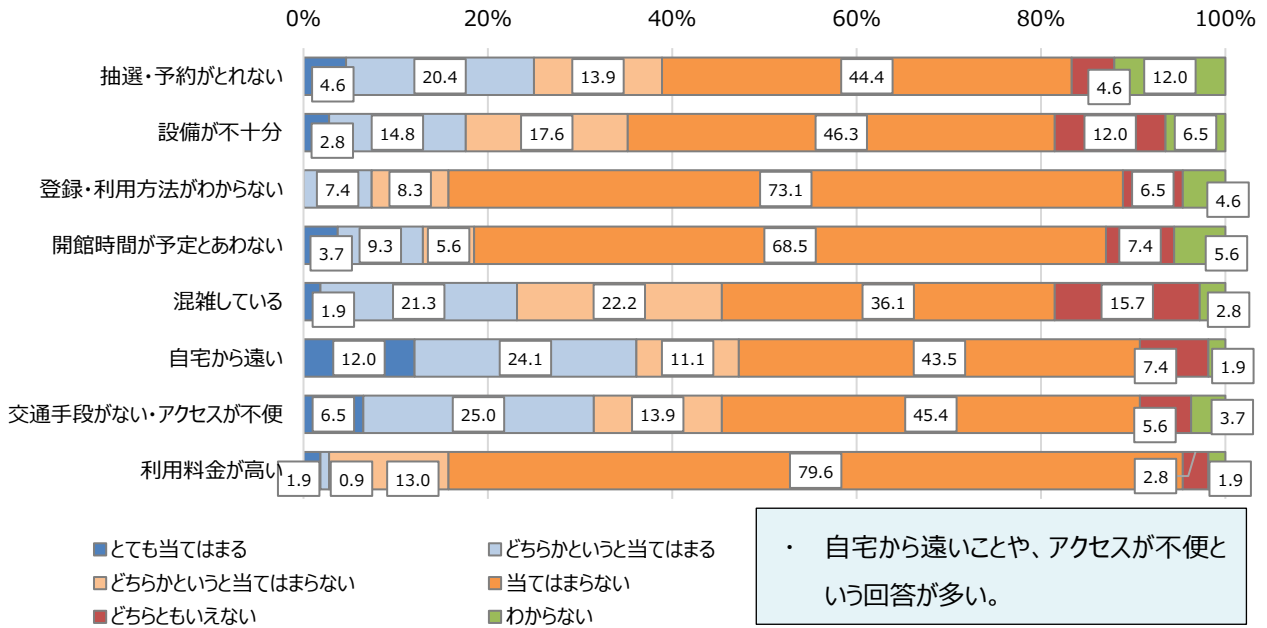
<利用した部屋（施設）>



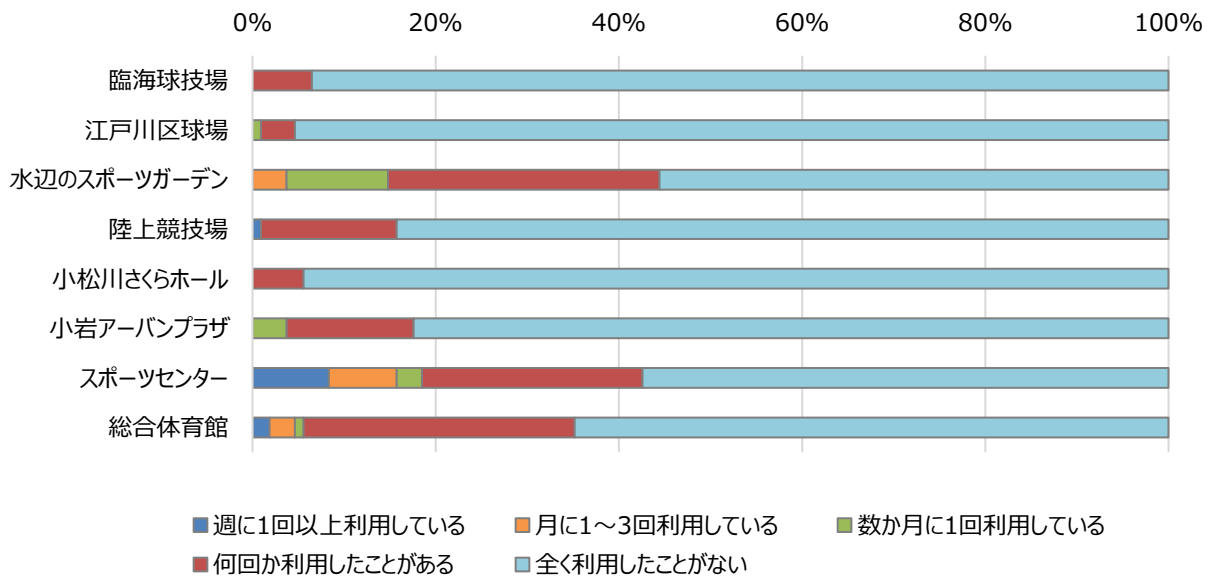
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(5) 小岩アーバンプラザ

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された、2次元コード読み取りによるWEB 回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

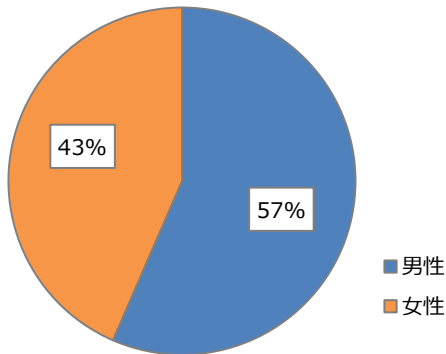
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～休館

対象：小岩アーバンプラザ利用者

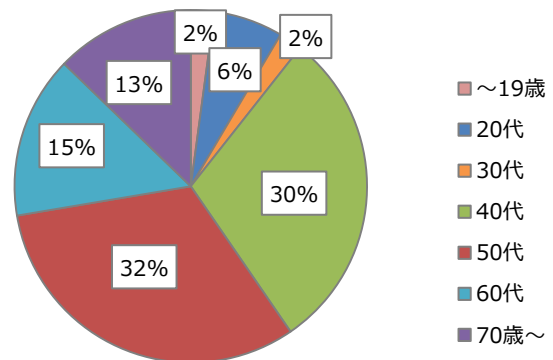
回収数：47票

2) 回答者の基本データ

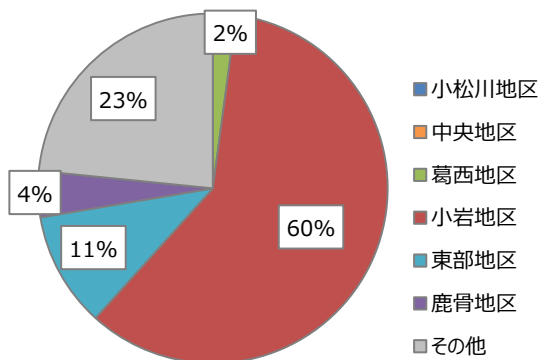
<性別>



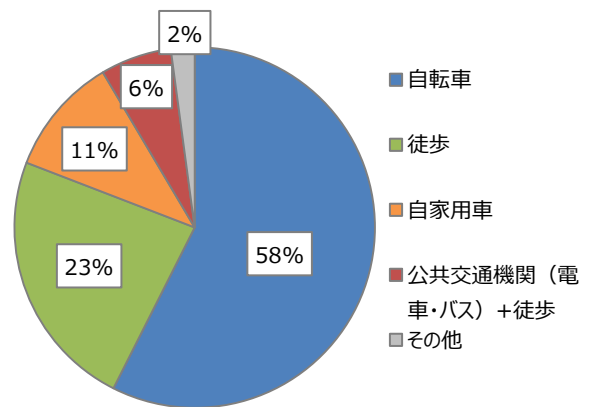
<年代>



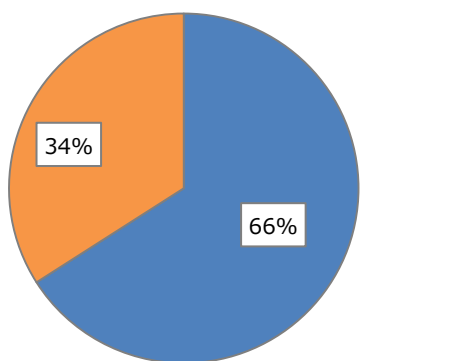
<居住地区>



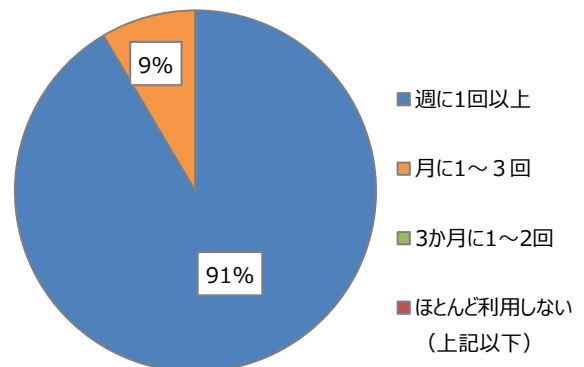
<交通手段>



<利用形態>



<利用頻度>

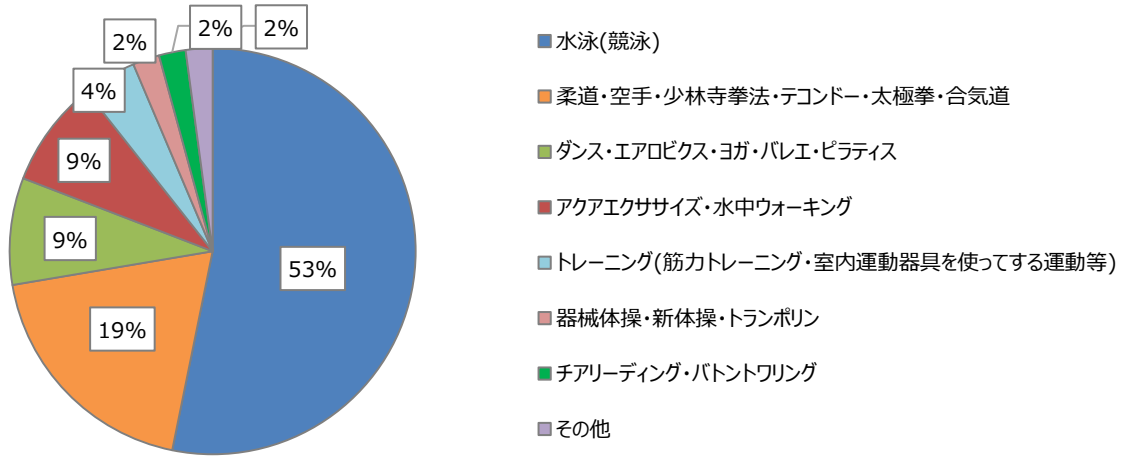


■ 個人利用（一般開放や教室への参加含む） ■ 団体利用

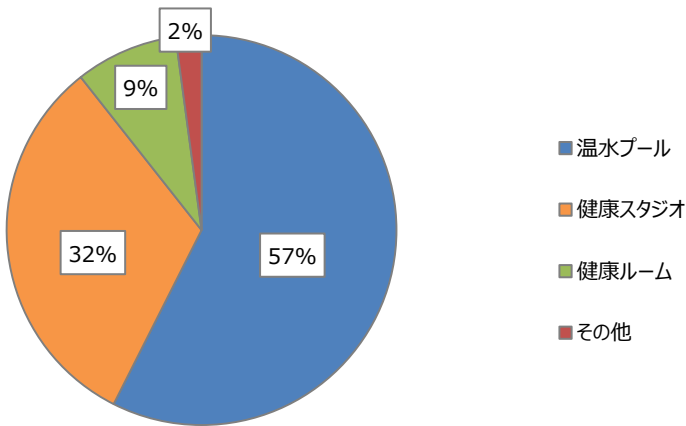
・40代以上の回答が多い。
・小岩地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

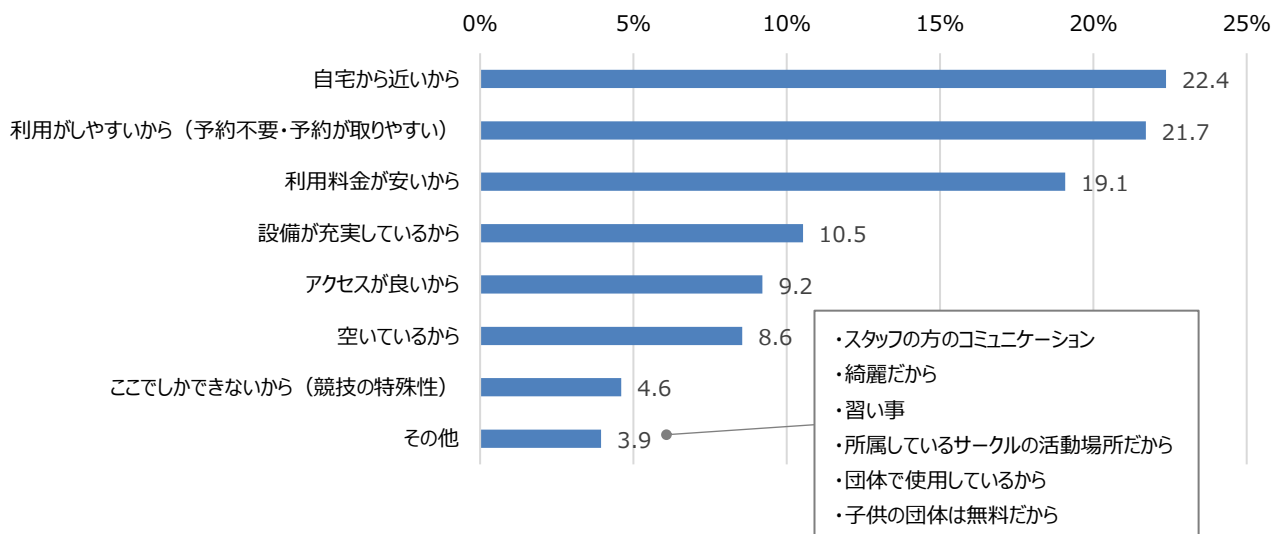
<実施スポーツ>



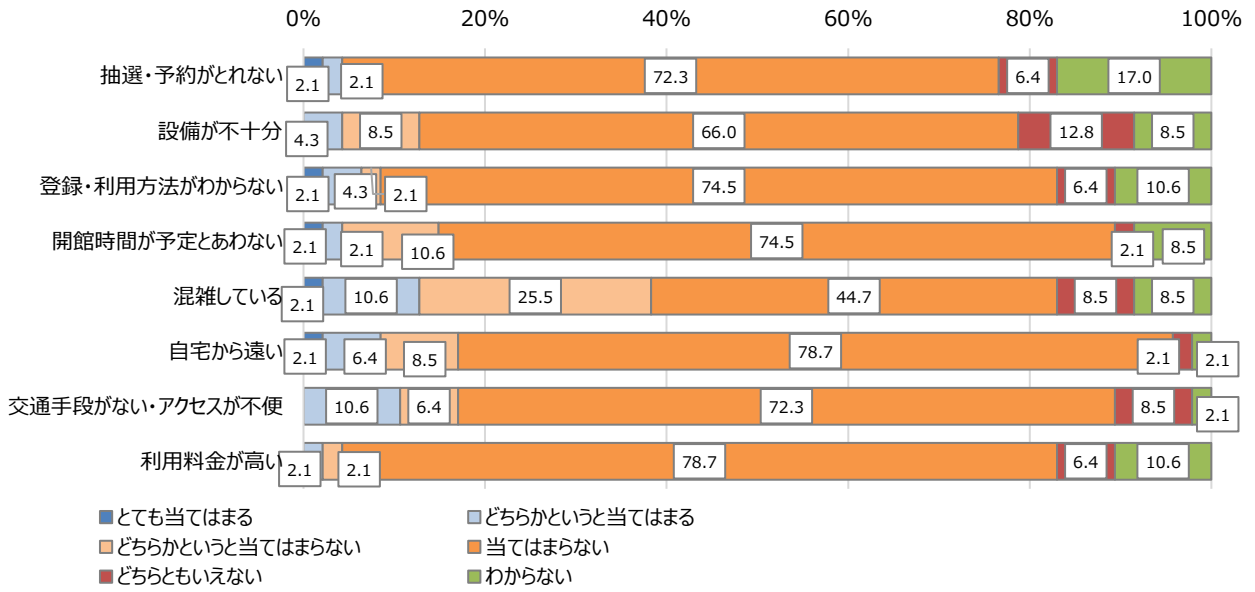
<利用した部屋(施設)>



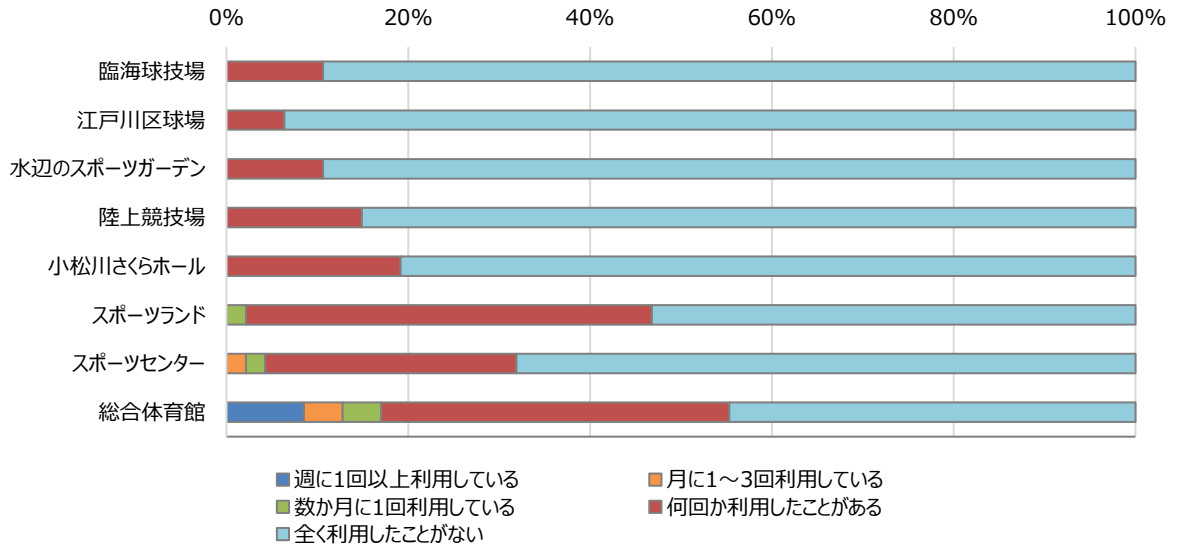
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(6) 小松川さくらホール

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB 回答

※4/20より、受付等にて紙面アンケートも併せて配布

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

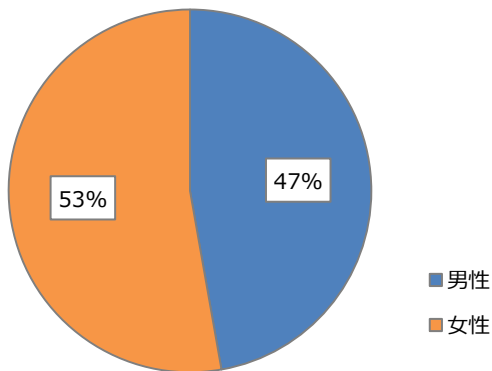
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～休館

対象：小松川さくらホール利用者

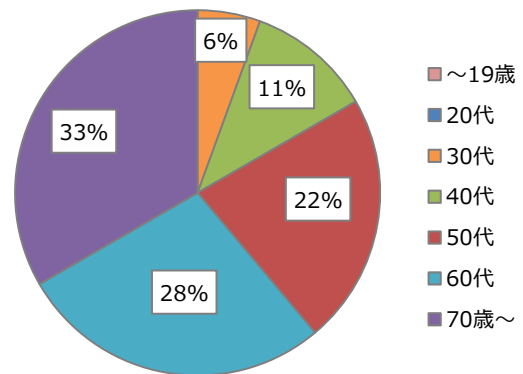
回収数：36票（WEB6票、紙面30票）

2) 回答者の基本データ

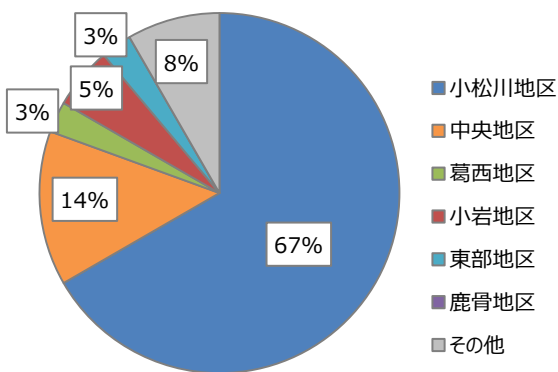
<性別>



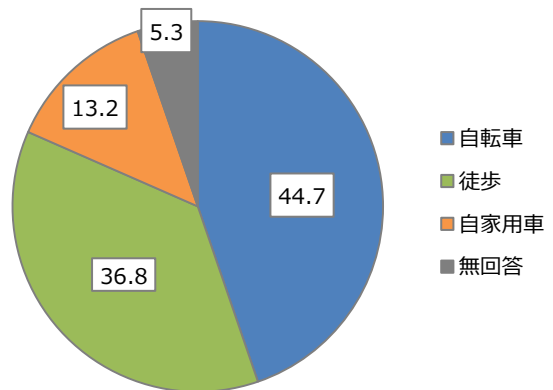
<年代>



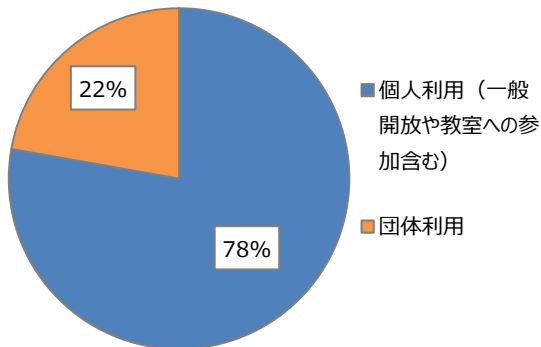
<居住地区>



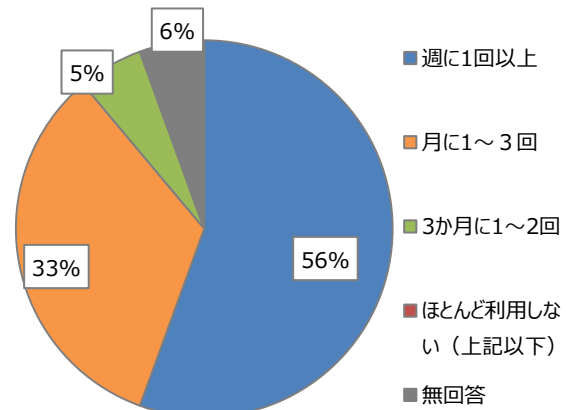
<交通手段>



<利用形態>



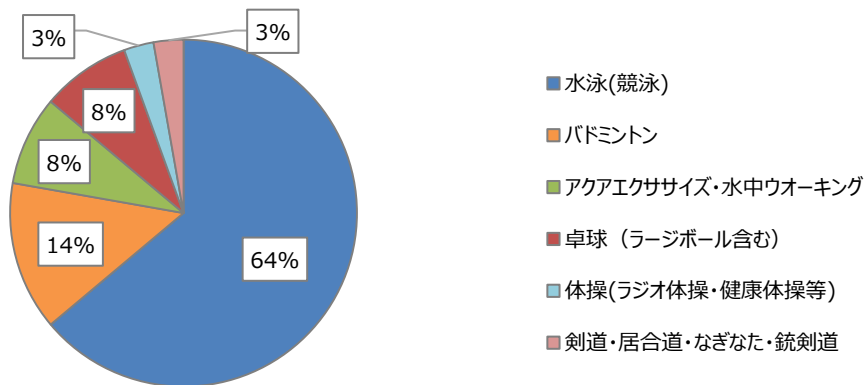
<利用頻度>



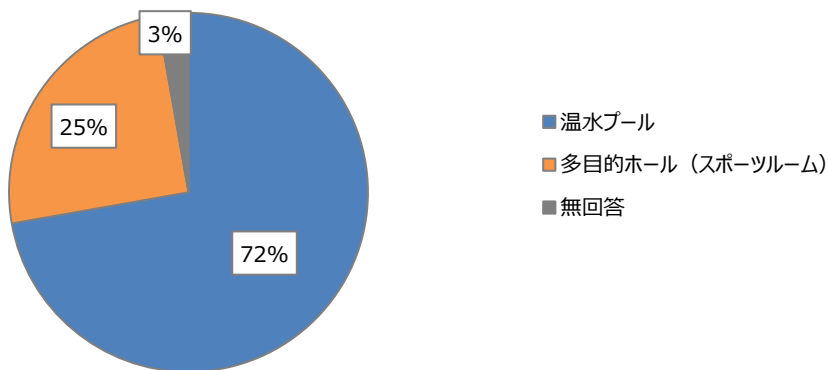
・高齢者の回答が多い。
・小松川地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

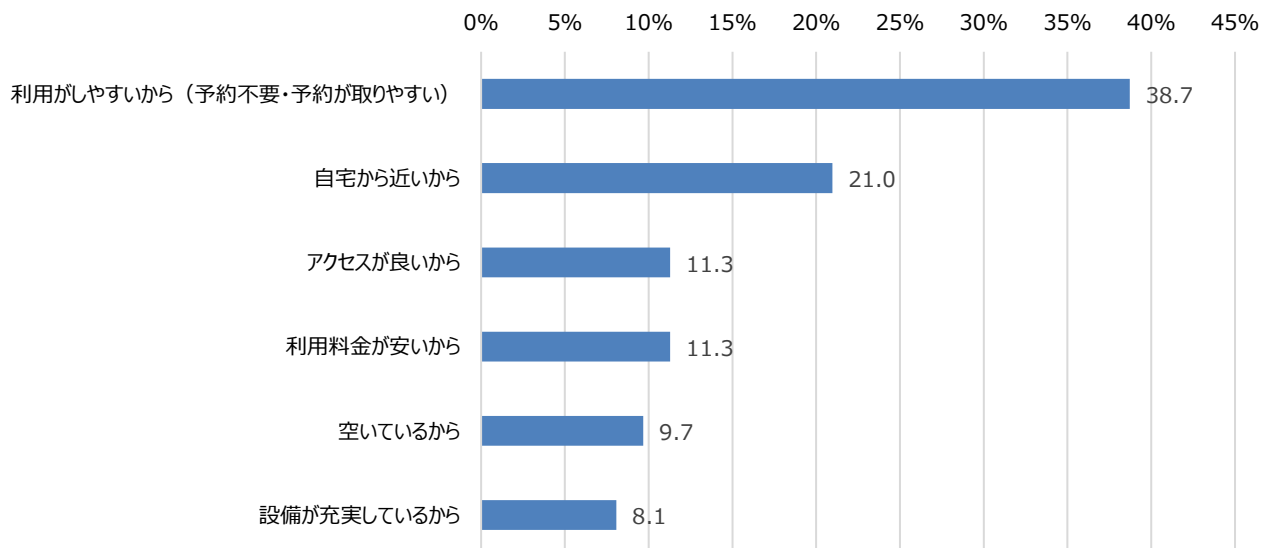
<実施スポーツ>



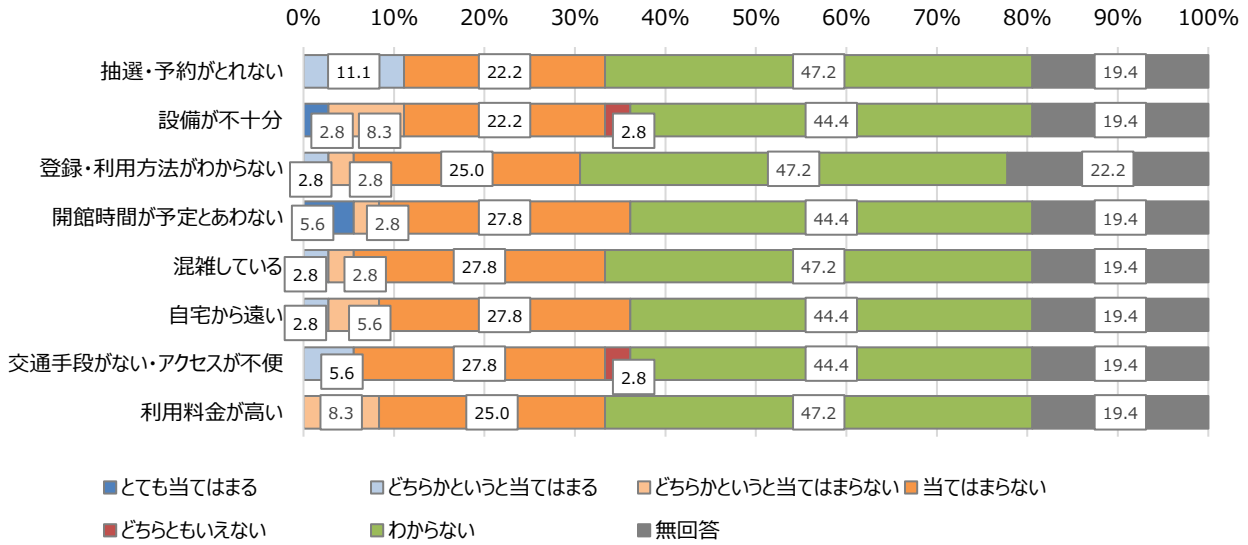
<利用した部屋 (施設) >



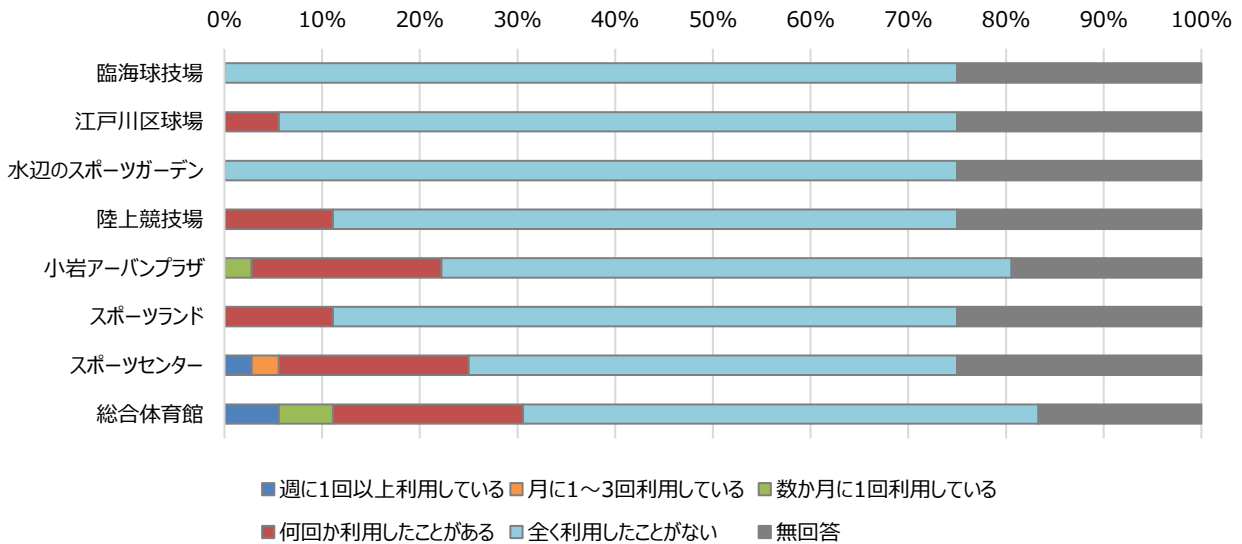
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(7) 陸上競技場

1) 調査概要

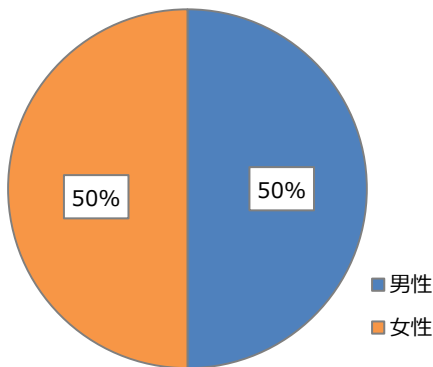
方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB 回答
 期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～午後8時以降の利用休止/収容率50%までの利用
 対象：陸上競技場利用者

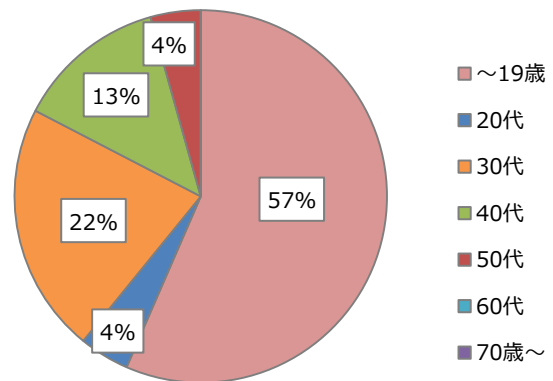
回収数：23票

2) 回答者の基本データ

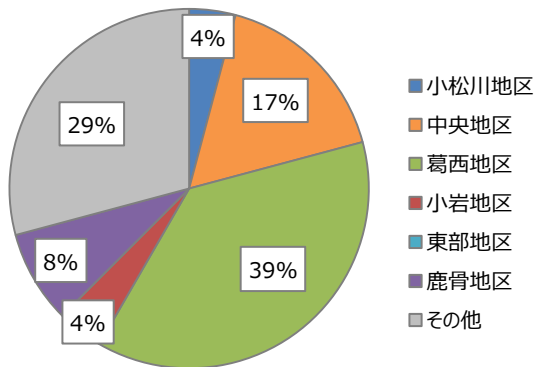
<性別>



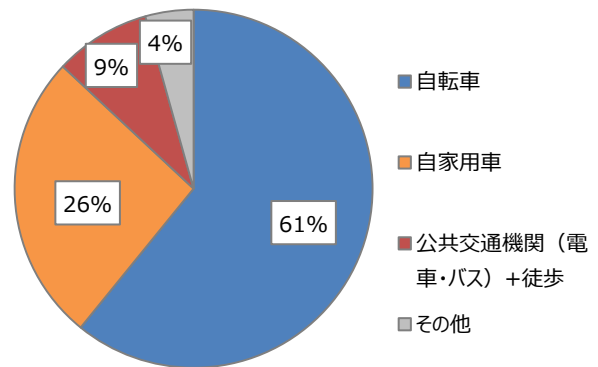
<年代>



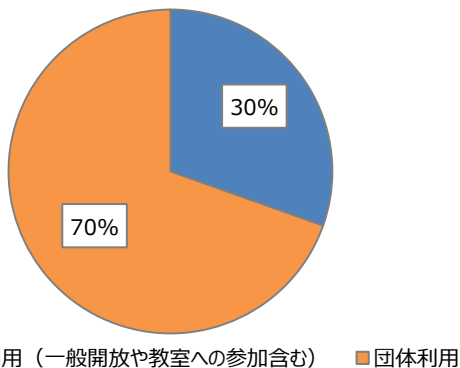
<居住地区>



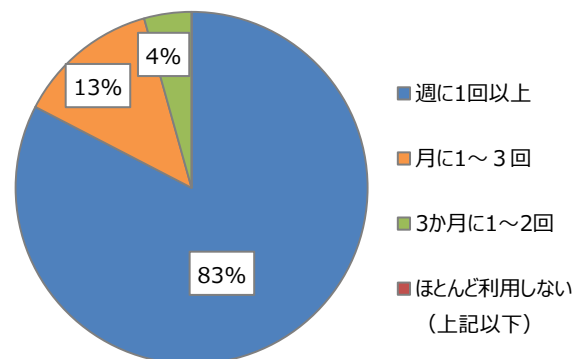
<交通手段>



<利用形態>



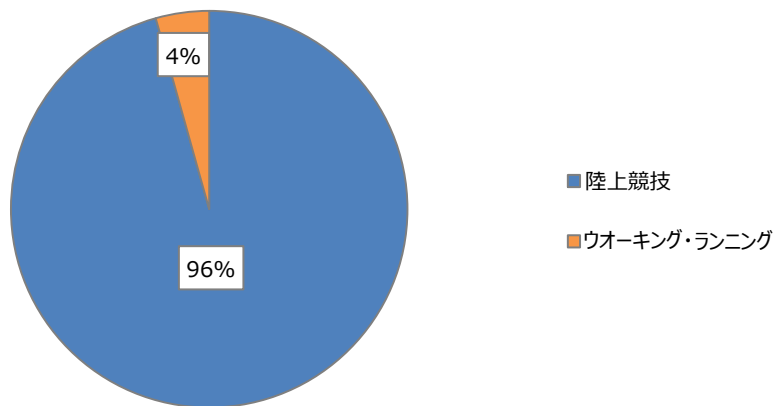
<利用頻度>



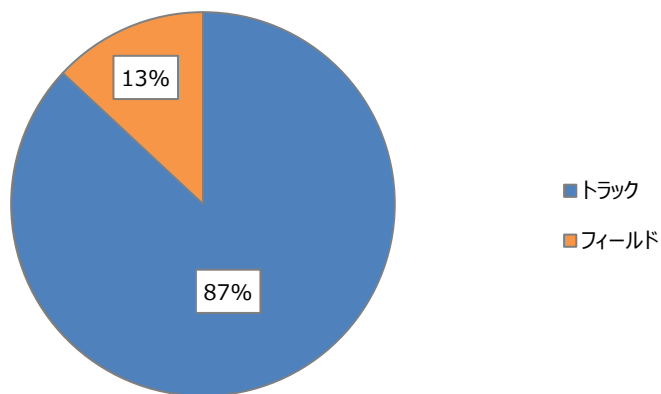
・19歳以下の回答が多い。
 ・葛西地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

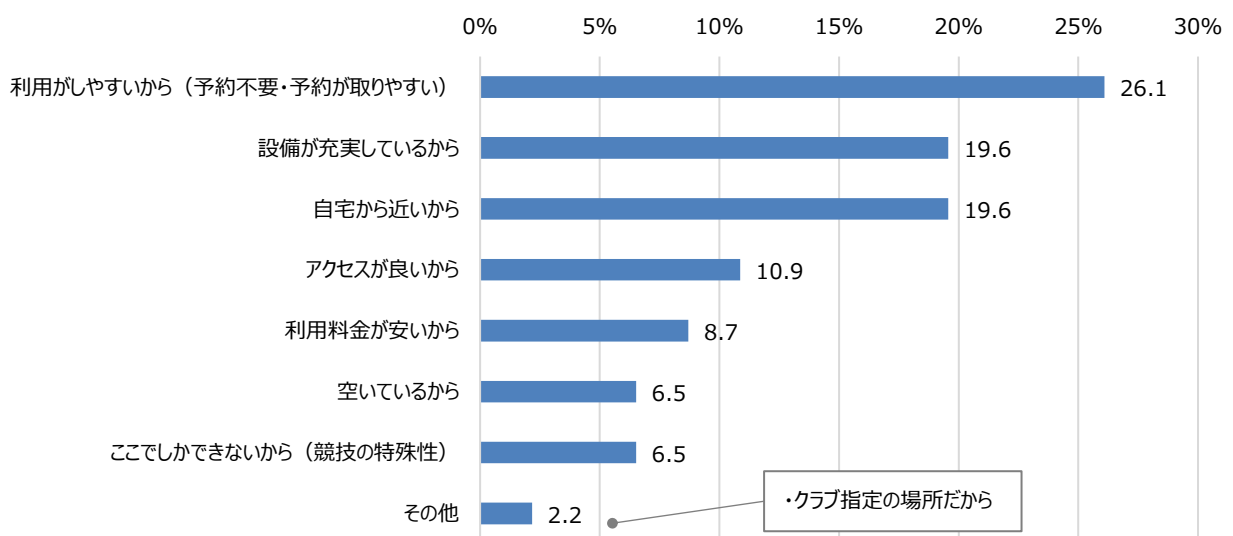
<実施スポーツ>



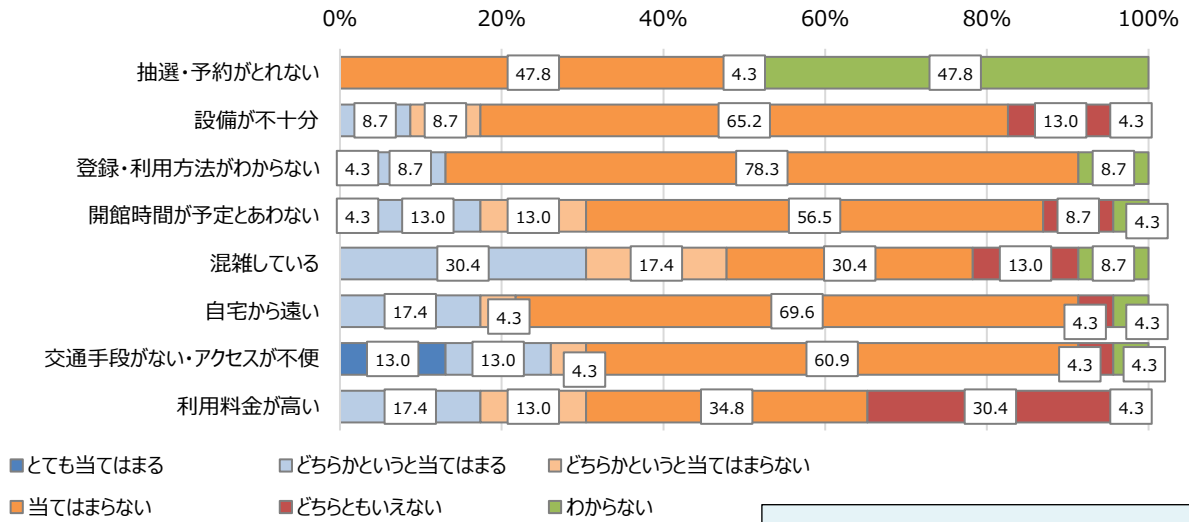
<利用した部屋（施設）>



<利用した理由>

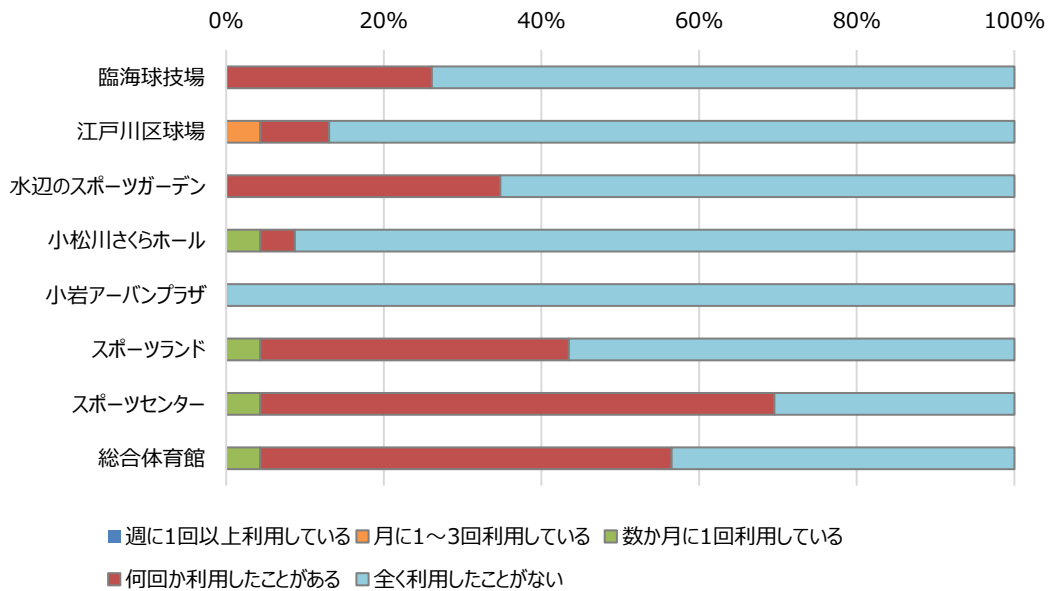


<利用する際に困ったこと>



・混雑しているという意見が多い。

<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(8) 水辺のスポーツガーデン

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB 回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

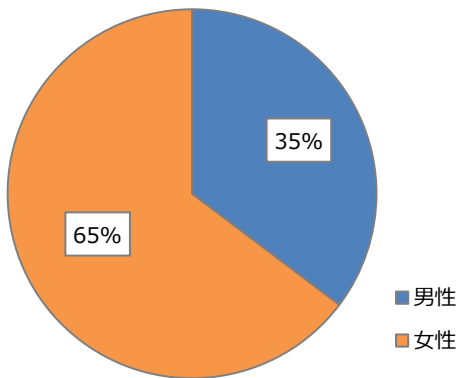
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～ 午後8時以降の利用休止

対象：水辺のスポーツガーデン利用者

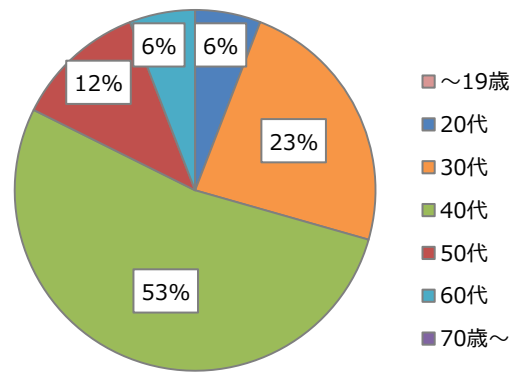
回収数：17票

2) 回答者の基本データ

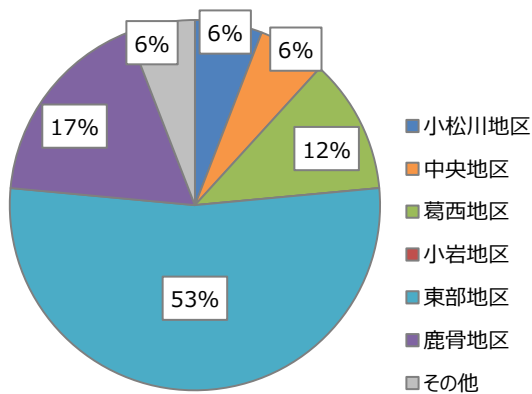
<性別>



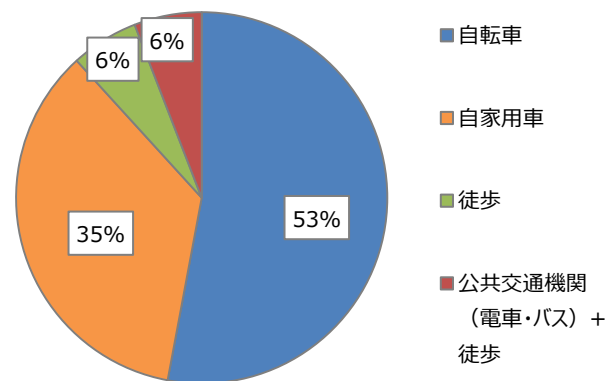
<年代>



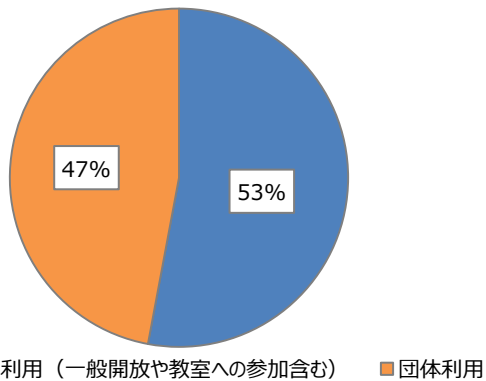
<居住地区>



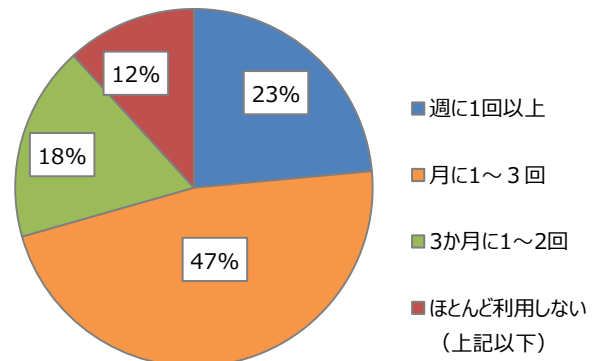
<交通手段>



<利用形態>



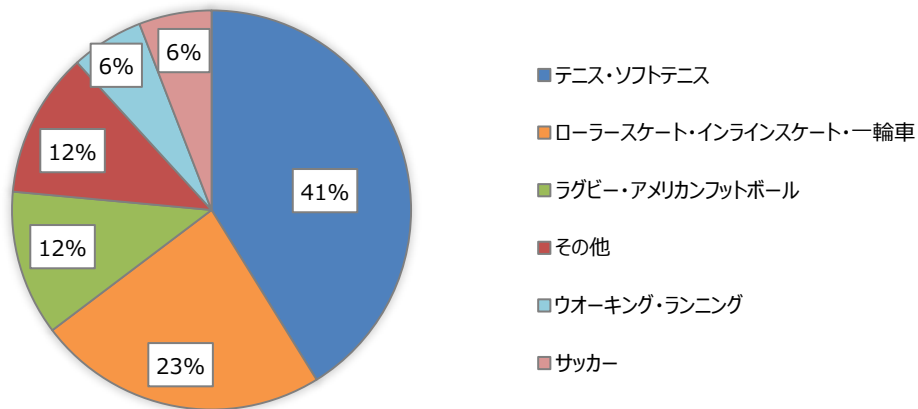
<利用頻度>



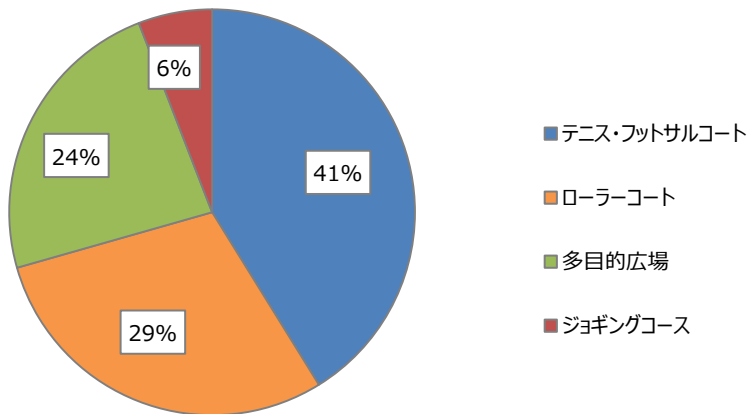
・40代の回答が多い。
・東部地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

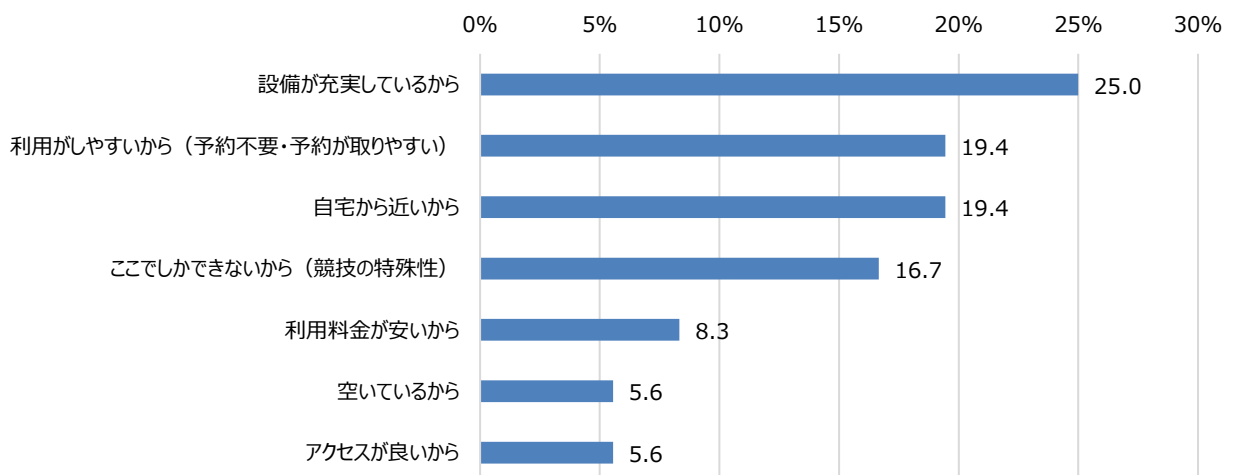
<実施スポーツ>



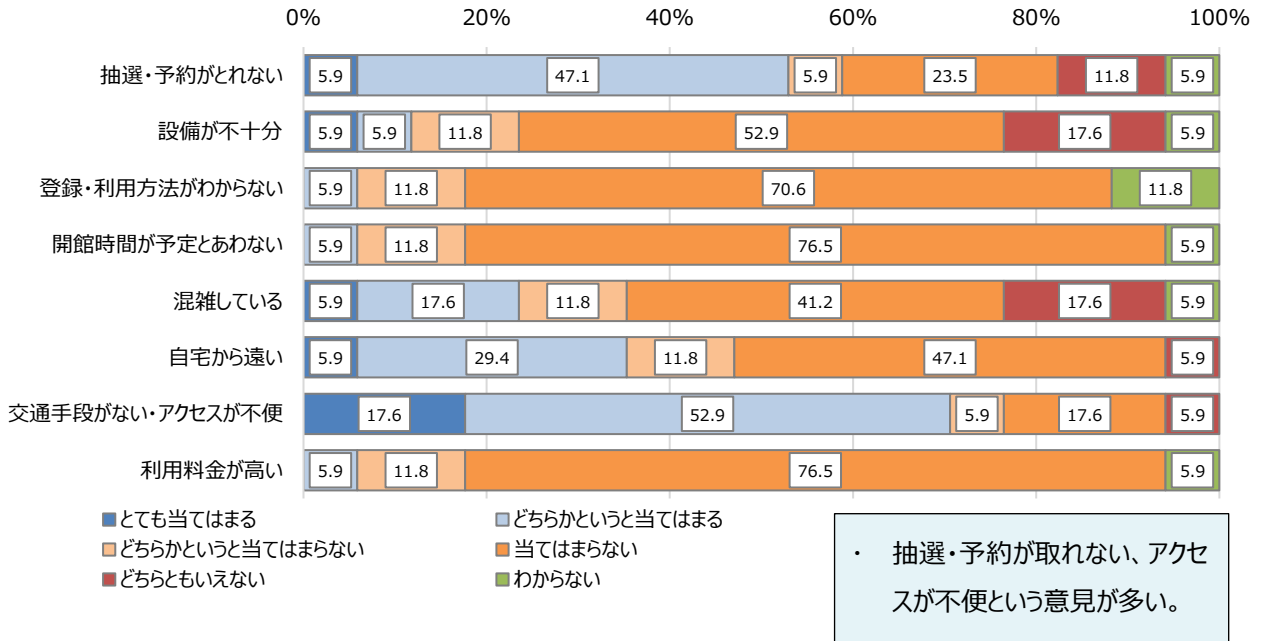
<利用した部屋（施設）>



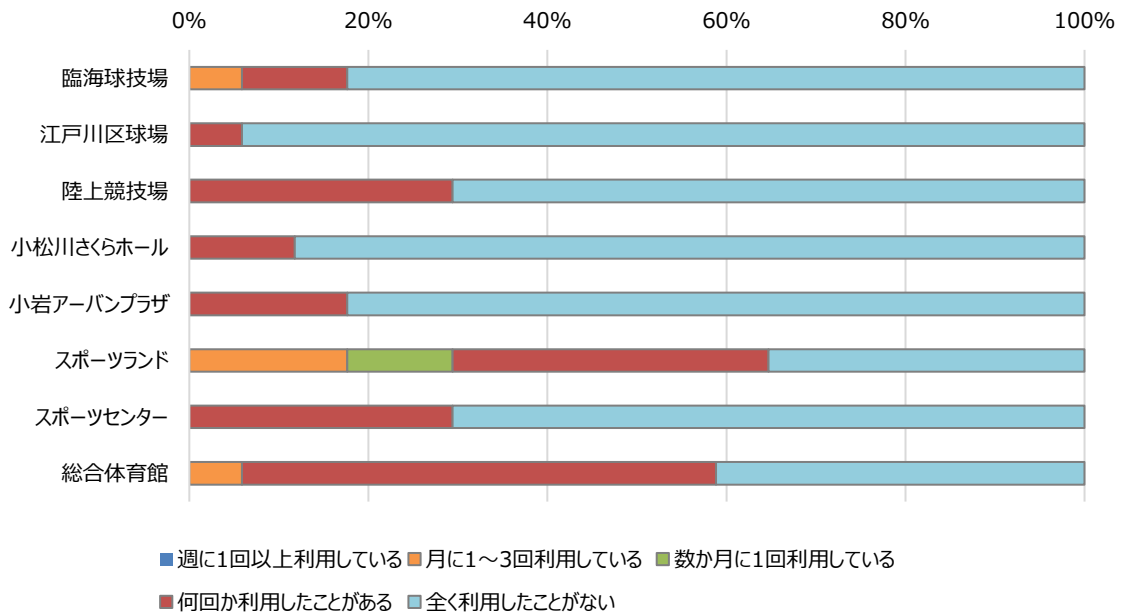
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(9) 江戸川区球場

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

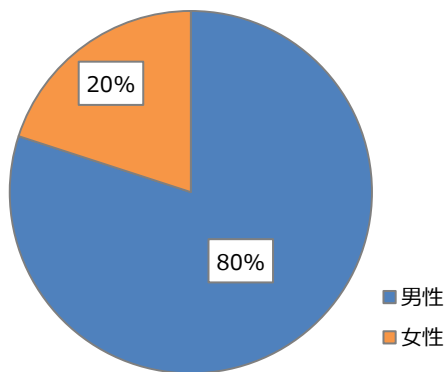
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～午後8時以降の利用休止/収容率50%までの利用

対象：江戸川区球場利用者

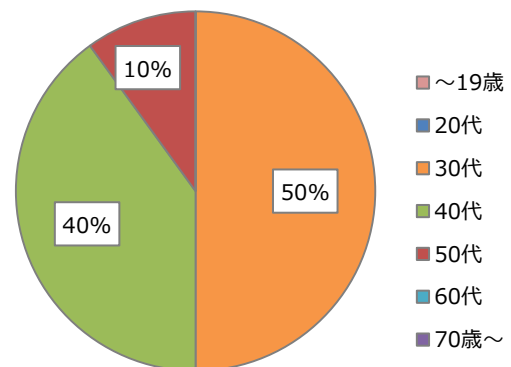
回収数：10票

2) 回答者の基本データ

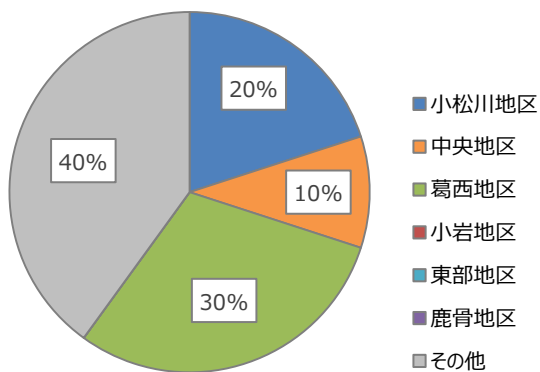
<性別>



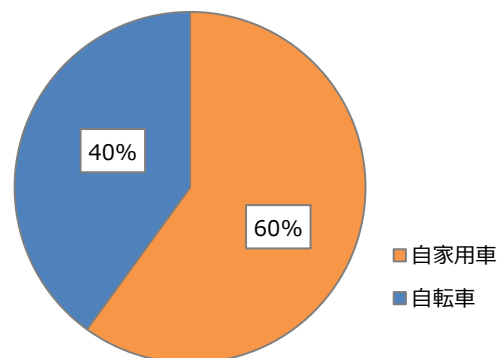
<年代>



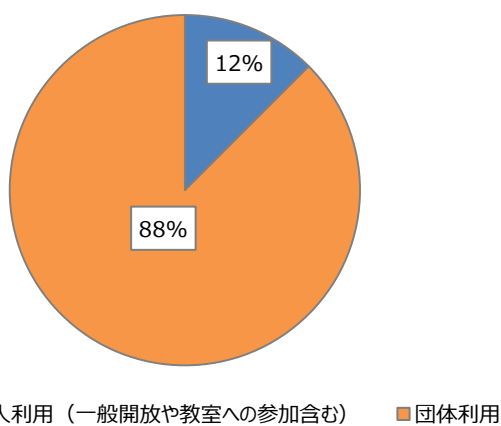
<居住地区>



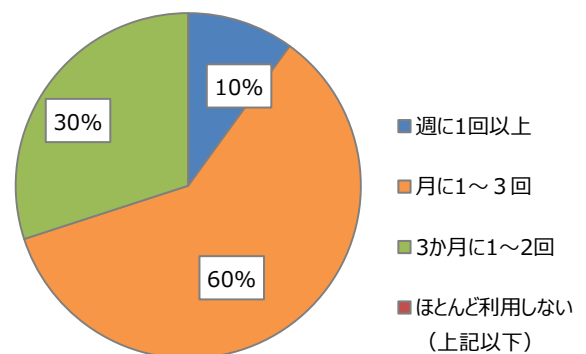
<交通手段>



<利用形態>

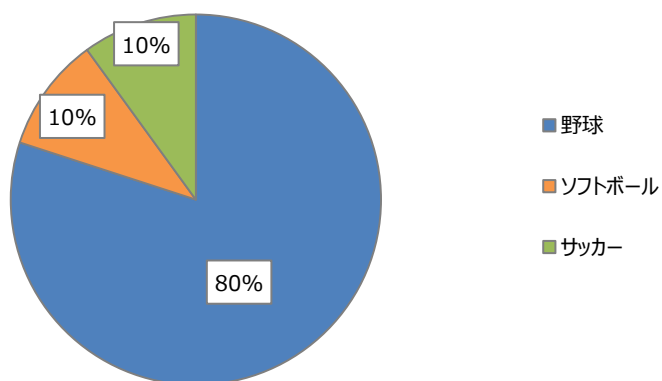


<利用頻度>

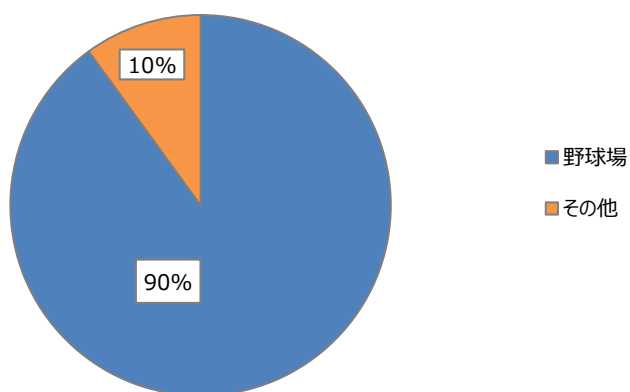


3) 調査結果

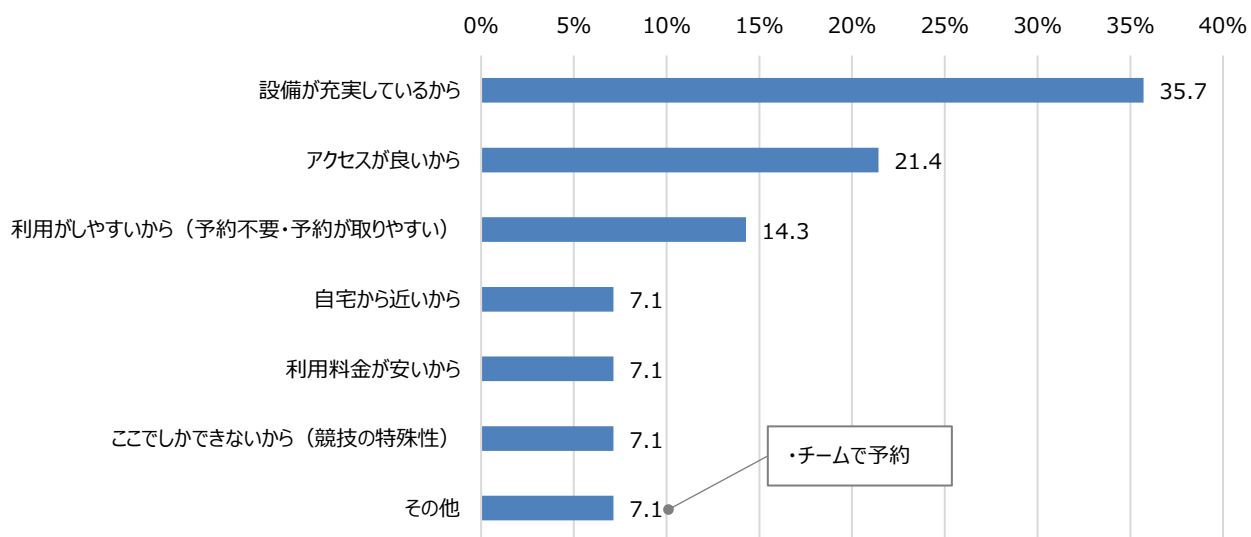
<実施スポーツ>



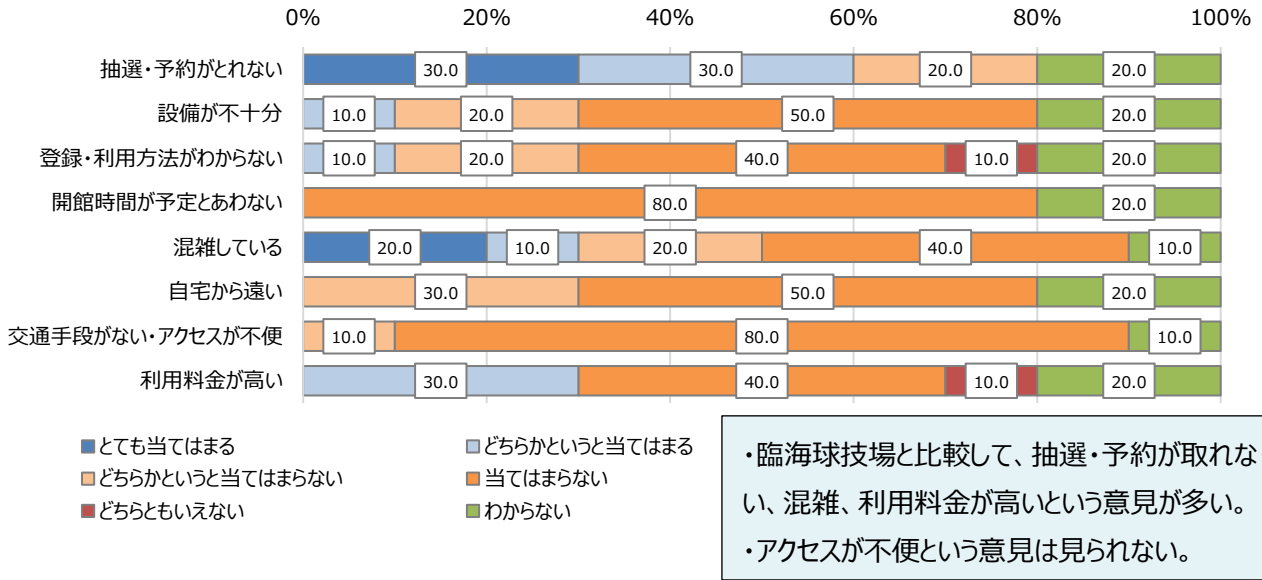
<利用した部屋（施設）>



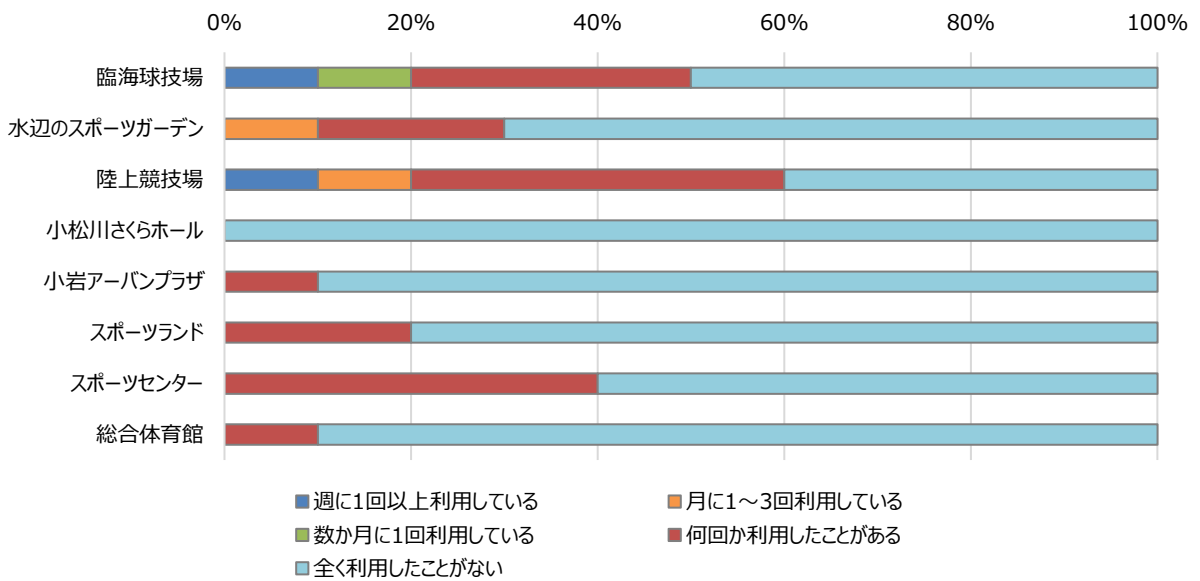
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



(10) 臨海球技場

1) 調査概要

方法：受付等にて配布されるアンケート依頼に記載された2次元コード読み取りによるWEB 回答

期間：令和3年（2021年）4月3日～5月5日

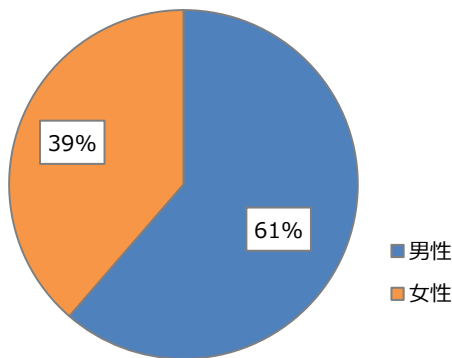
※新型コロナウイルス緊急事態宣言措置に伴い4月25日～ 午後8時以降の利用休止

対象：臨海球技場利用者

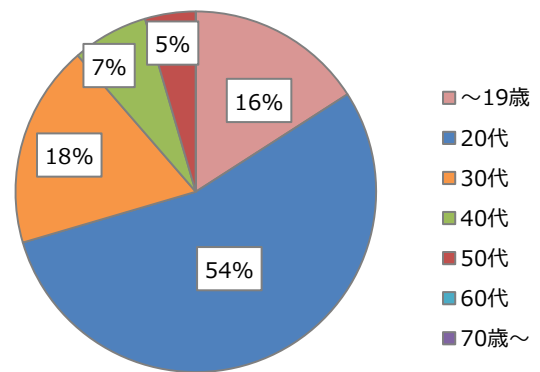
回収数：44 票

2) 回答者の基本データ

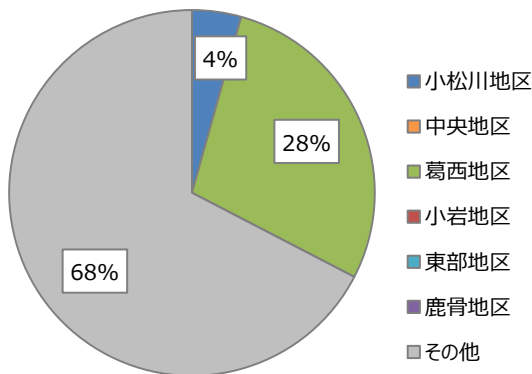
<性別>



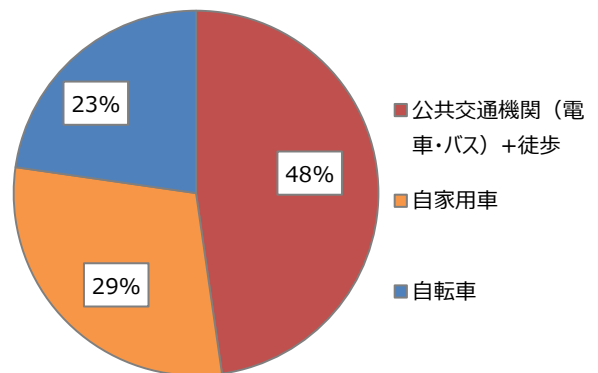
<年代>



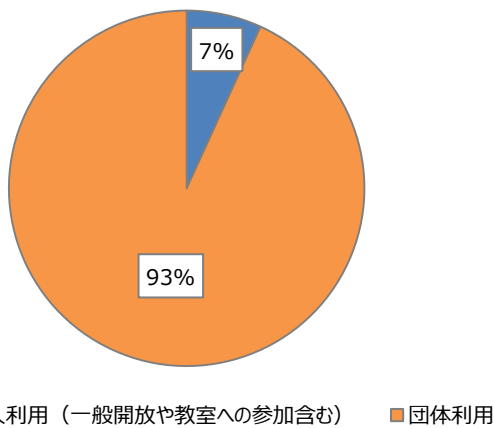
<居住地区>



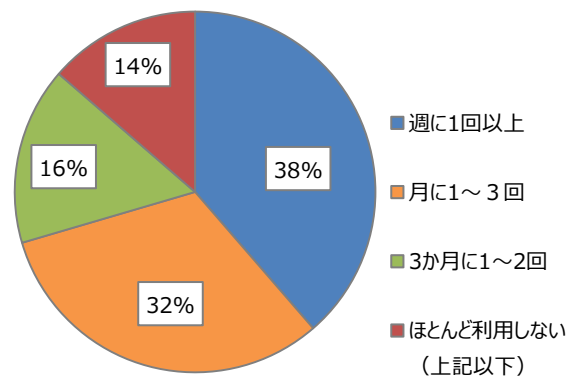
<交通手段>



<利用形態>



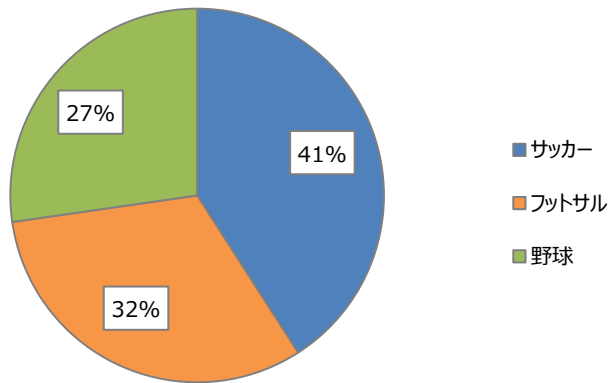
<利用頻度>



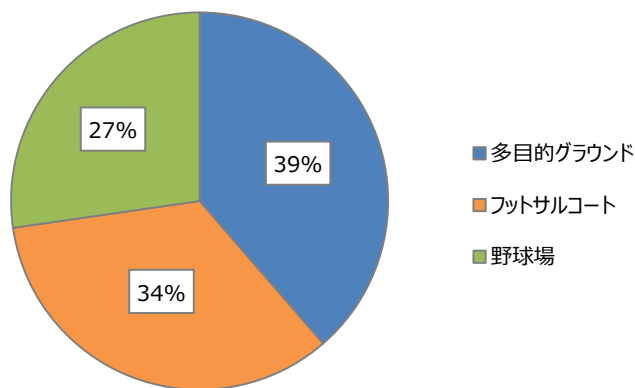
・20代の回答が多い。
・葛西地区住民の回答が多い。

3) 調査結果

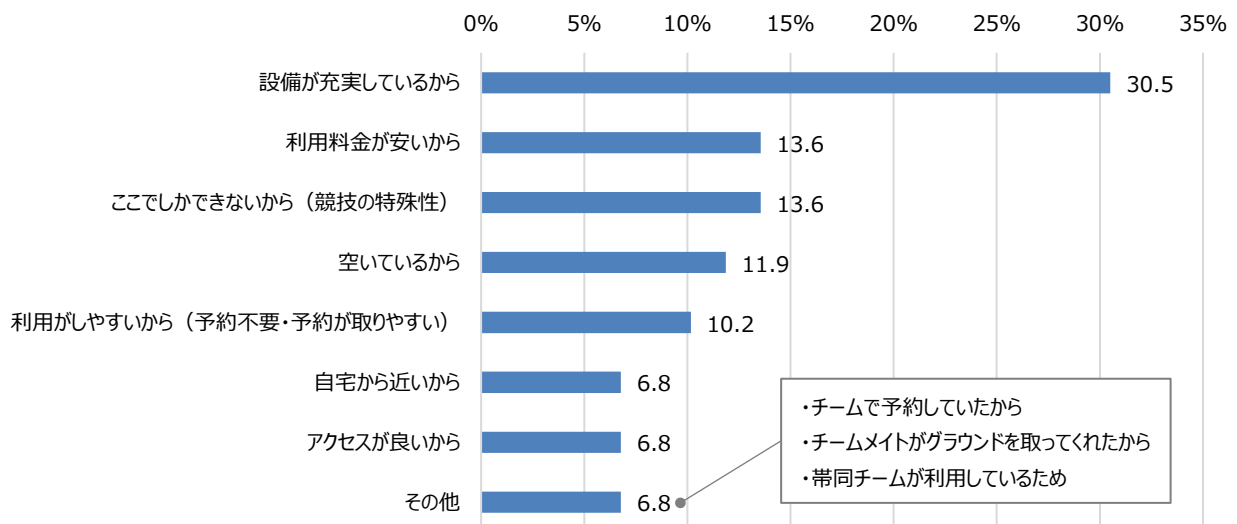
<実施スポーツ>



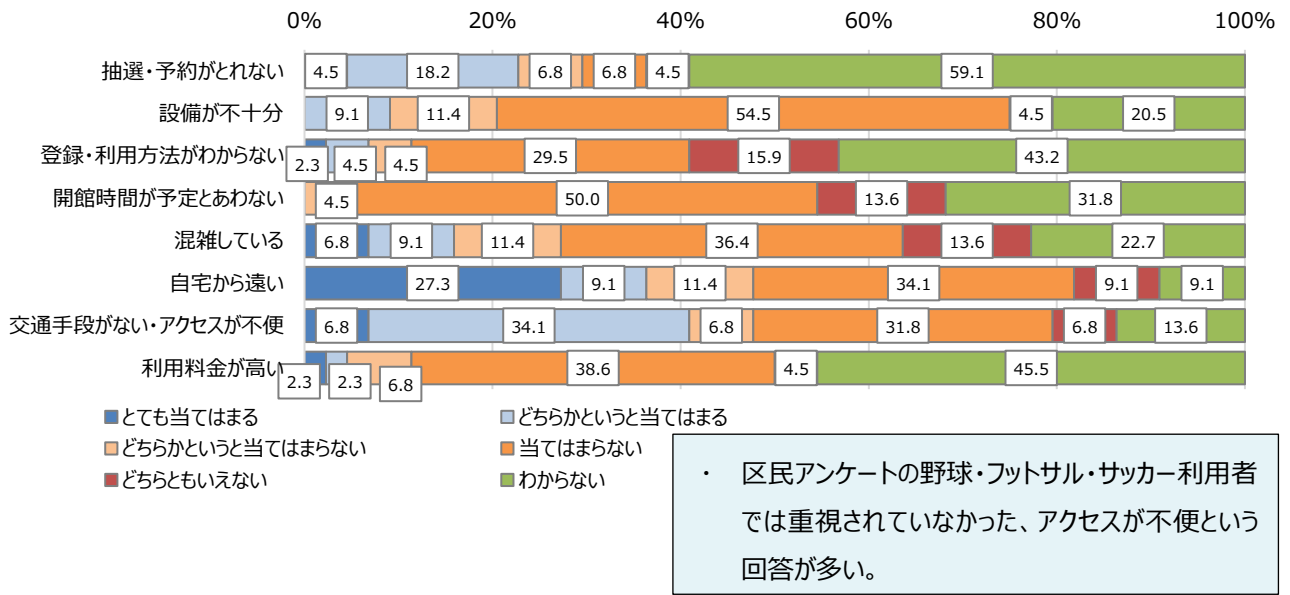
<利用した部屋（施設）>



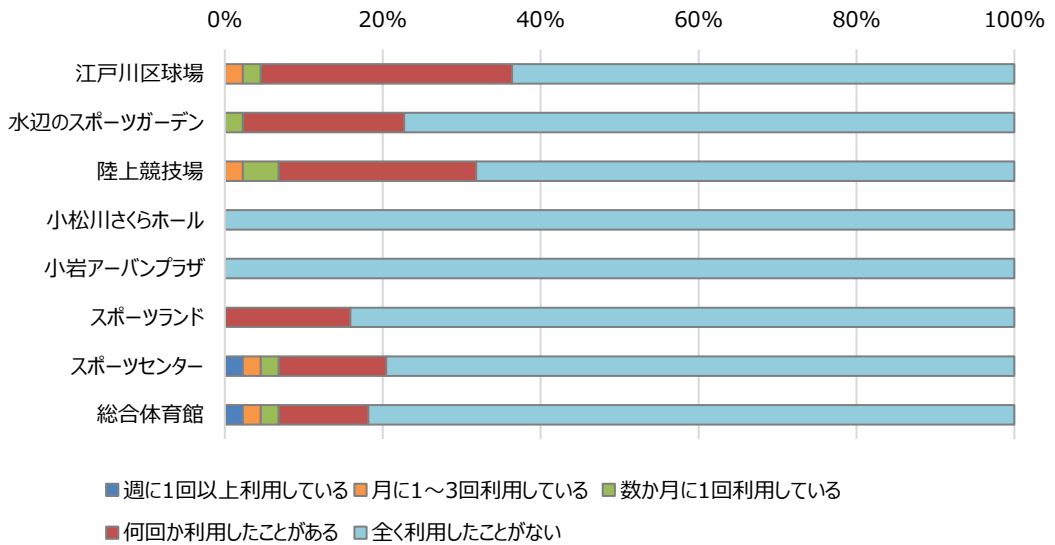
<利用した理由>



<利用する際に困ったこと>



<その他の区内公共スポーツ施設の利用状況>



4.2 ヒアリング調査

4.2.1 調査概要

本調査にあたり、以下のヒアリング調査を実施した。

■ ヒアリング実施一覧

主なテーマ	分類	ヒアリング項目
スポーツ施設	民間企業 A (アイススケートリンク)	<ul style="list-style-type: none">市場・需要について施設整備について運営について
	民間企業 B (フィットネス)	<ul style="list-style-type: none">江戸川区内の運営施設の主な利用者層についてコロナによる影響について公共スポーツ施設とのすみわけの考え方について公共と連携について
	公益法人 C (障害者スポーツ)	<ul style="list-style-type: none">施設について東京都の障害者スポーツの環境について今後の障害者スポーツの環境整備について
プロスポーツ	公益法人 D (サッカー)	<ul style="list-style-type: none">都内の施設について施設整備について競技者動向
	プロスポーツチーム E	<ul style="list-style-type: none">国内の競技展望について江戸川区の連携について
	プロスポーツチーム F	<ul style="list-style-type: none">現状の活動について江戸川区との連携について
パラスポーツ	公益法人 G	<ul style="list-style-type: none">障害者スポーツについて障害者スポーツ施設整備について
全般	大学教授 H	<ul style="list-style-type: none">今後のスポーツ需要・スポーツ振興について公共スポーツ施設の役割について公共スポーツ施設の整備・運営について

4.2.2 結果概要

主なテーマ	分類	主なヒアリング結果
スポーツ 施設	民間企業 A (アイススケート リンク)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者は、昔はファミリー層がメインであったが、現在は大人と子供の比率が同程度であり、特に 40 代から 50 代女性の利用が多い フィギュアスケート競技人口は増加傾向にあるが、練習場所が不足している レジャー用と競技用を分離できる仕様であれば、収益面や安全面で利点がある
	民間企業 B (フィットネス)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の利用が多かったが、コロナ禍で利用が減っている 若年層の利用はコロナ禍以前から減少傾向にある 公共は、区内全域、多世代、幅広い競技を対象とするが、民間は近隣住民、限られた年齢層を対象とし、施設面積等から実施可能な競技も限定的である ハコを行政が用意し、ソフトで民間が活躍する分担が良いと考えている
	公益法人 C (パラスポーツ)	<ul style="list-style-type: none"> 競技よりもリハビリテーションや運動を楽しむ目的で利用する人が多い 気軽に使える施設や、障害者が一般的なスポーツに参加できる場も必要 ハードよりもソフトの課題が多く、スポーツ支援をできる人材の確保が重要
プロ スポーツ	公益法人 D (サッカー)	<ul style="list-style-type: none"> 都内のサッカー場は競技人口に対してかなり不足している 都内のサッカー競技人口は横ばいであり、社会人は減少傾向、シニアが増加傾向、小学生は全国的には減少傾向だが、都内では微増している 公共交通アクセスが良い場合を除き、一定数の駐車場が必須である
	プロスポーツチーム E	<ul style="list-style-type: none"> イベントや普及活動を含め、区の施設を年間 15~20 日以上利用できるとよい チーム同士や地元住民、他競技との共存・連携も必要と考えている ホームスタジアムとして利用可能ならば、区外からも人を呼び込む拠点としたい
	プロスポーツチーム F	<ul style="list-style-type: none"> 区内競技人口に対して、競技施設が少ない ホーム会場や練習場所等で区施設を利用したいが確保が難しい 様々な競技に対応する人工芝の多目的グラウンドが増えると良い
パラ スポーツ	公益法人 G	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区はパラスポーツの取組について先進的な自治体と認識している 始めの利用者が少なくとも、特定団体で埋まらないような仕組み作りが重要 拠点施設をきっかけとし、居住地区でもできるような持続可能な仕組みが必要
全般	大学教授 H	<ul style="list-style-type: none"> 競技種目ごとの志向変化に関する調査はほとんど行われていない 隣接市区からも人を呼び込むような大きな領域での視点が必要 これからの公共施設整備においては、機能を複合的にしていくべきである 障害者スポーツ施設は、動線や運営、皆で楽しめる雰囲気作りが重要 プールは、コロナの影響等から収益面で公設民営とせざるを得ない状況にある 受益者負担の観点から利用料金を設定していくことも必要である

5. 新たな機能導入の検討

5.1 先進事例の導入検討

スポーツ拠点形成にふさわしい複合施設や障害者スポーツ施設、新たなスポーツ施設のあり方について他自治体の事例を整理し、導入の可能性や課題等について検討した。

5.1.1 先進事例調査

アリーナ・屋内スポーツ施設

分類	特徴	事例
複合化	複数種類の施設の合築	カルッツかわさき（川崎市） 学び・交流プラザ（山口県）
多機能・多様な利用	音楽ホールや展示場としても使えるアリーナ	ゼビオアリーナ（仙台市） サンドーム福井（福井県）
	1室で多種目の利用に対応する機能	墨田区総合体育館武道場（墨田区） カルッツかわさき（川崎市）
パラ競技者対応	障害者専用（優先）施設	ふれあいランド岩手（岩手県） 埼玉県障害者交流センター（さいたま市） 横浜ラポール（横浜市）
	障害者対応のすぐれた施設	ノバリア（鳥取県）

スタジアム・球場等

分類	特徴	事例
多機能・多様な利用	コンサート等、スポーツ以外の利用	Toyota スタジアム（アメリカ） フォーサイズバースタジアム（ニュージーランド）
複合化	多様な施設が合築されている	長崎スタジアム（長崎県・整備中） 広島球場（広島市） パーゼル（オーストリア）

プール

分類	特徴	事例
多用途	区民と学校の両用	日野学園（品川区）
	水泳以外の利用	大阪府営公園服部緑地内・屋外プール「フィッシングパーク」（大阪府）

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	川崎市スポーツ・文化総合センター（カルッツかわさき）
分類	複合化：複数種類の施設の合築
住所	神奈川県川崎市川崎区富士見1丁目1番4号
面積／駐車場	敷地面積 13,230 m ² （延床面積 25,423 m ² ）／64台（車いす用4台）
設備	<スポーツ施設> 大体育室、小体育室、武道室、トレーニング室、研修室、弓道場、クラブハウス、その他諸室
	<文化施設> ホール、アクトスタジオ、音楽練習室、楽屋、その他諸室
	<共用施設> 大会議室、中会議室、小会議室（和室）
用途	体育室：スポーツイベント、大会や練習、レクリエーション、展示会や興行など 各種イベント
	弓道場：和弓、洋弓(アーチェリー) 障害者の洋弓にも対応
	武道室：様々な格技
	研修室：研修、講習会、会議、各種軽運動など トレーニング室：フィットネストレーニング
管理運営	ホール：コンサート、舞台芸術、大規模会議など
	アクトスタジオ：リハーサル、ダンスなどの練習、寄席やミニコンサート等の集客イベント、 大規模催事の際のホール控室
	音楽練習室：小中規模の音楽練習など
備考	会議室：会議、研修、サークル活動など
管理運営	(株)アクサス川崎（指定管理）
備考	・車いす用観覧席などバリアフリー設備バリアフリー設備が充実。 ・既存の川崎市体育館、教育文化会館大ホールの機能を確保しつつ、さらなる機能性の向上を図っている。 ・富士見周辺地区整備推進計画(令和2年(2020年)2月策定)の重点地区に位置。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	学び・交流プラザ
分類	複合化：複数種類の施設の合築
住所	山口県周南市中央町4番10号
面積／駐車場	敷地面積 11,964.13 m ² (延床面積 8,935.40 m ²) / 265 台
設備	スポーツ施設 交流アリーナ、武道場
	文化施設 多目的ホール、生涯学習センター、公民館、図書館、交流室、調理実習室、創作活動室、和室、レクリエーション室、共用スペース
用途	スポーツ施設 各種スポーツ、柔剣道、イベントなど
	文化施設 多目的ホール：講演・演劇・集会、軽運動・会議など レクリエーション室：研修・講座・学習活動など
管理運営	市営
備考	・多目的ホールは、可動席を備えホール利用とフロア利用が可能。 ・5の機能（生涯学習、図書館、スポーツ振興、創造・鑑賞、情報・交流）を備え、「集い 学び 育む 人とまちの創造拠点」を目指す。

事例 ・ ・ : 複数種類の施設の合築

検討の可能性：○

公共施設再編の際には合築を検討することが考えられる。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	ゼビオアリーナ仙台
分類	多機能・多様な利用：音楽ホールや展示場としても使えるアリーナ
住所	宮城県仙台市太白区あすと長町 1-4-10
面積／駐車場	敷地面積 7,930 m ² / なし
設備	アリーナ、楽屋、ロッカールーム、控室、救護室
用途	スポーツ バスケットボール・フットサル・フィギュアスケートなど、様々な屋内スポーツの大会や試合 その他 コンサート、展示会、試験会場、就職セミナー、企業・学校の運動会、入学式・卒業式等学校の各種式典、パブリックビューイング、ドローンレース、アニメイベント、地域イベントなど
管理運営	ゼビオアリーナ有限責任事業組合（LLP）
備考	・床を土間コンクリートにすることで、アイスリンク設営を容易にしている。 ・常設の LED センタービジョン・リボンビジョン、高品質音響設備、バトン・吊天井設備による演出が可能。 ・席数 4,009 席（可動席 1,232 席、一般席 2,673 席、VIP 席 104 席）

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	サンドーム福井
分類	多機能・多様な利用：音楽ホールや展示場としても使えるアリーナ
住所	福井県越前市瓜生町 5-1-1
面積／駐車場	敷地面積 50,370 m ² （延床面積 イベントホール棟 21,924 m ² 、福井ものづくりキャンパス（管理会議棟）5,164 m ² / 約 1,800 台
設備	イベントホール：ホール、商談室、主催者室、控室、シャワールームなど 福井ものづくりキャンパス（管理会議棟）：小ホール、会議室など 屋外広場
用途	コンサート、イベント、各種会議、研修、レセプション・パーティ
管理運営	（一財）福井県産業会館（指定管理）
備考	・電動可動席（6,000 席）は複数パターンの配置に対応。 ・仮設席は、1 F 3000 席・3 F 1000 席設営可能。 ・屋外広場には、仮設舞台・テントなども設営可能。

事例 ・ ：音楽ホールや展示場としても使えるアリーナ

検討の可能性：

総合文化センターがある中で、音楽ホール等と兼用にするニーズは低いものと考えられる。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	墨田区総合体育館 武道場
分類	多機能・多様な利用：1室で多種目の利用に対応する機能
住所	東京都墨田区錦糸 4-15-1
面積／駐車場	敷地面積 14,336 m ² (延床面積 19,837 m ²) / 100 台
設備	柔道場、剣道場各 2 面 (兼用時 4 面・多目的利用可)、観客席 (固定席 252 席)
用途	剣道、柔道、空手、ダンス系 (利用範囲に制限あり)、体操系
管理運営	すみだスポーツサポート PFI(株) (指定管理)
備考	畳は可動式のため、すべての面で床仕様・畳仕様の両方の利用が可能。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	カルッツかわさき 武道室
分類	多機能・多様な利用：1室で多種目の利用に対応する機能
住所	神奈川県川崎市川崎区富士見 1 丁目 1 番 4 号
面積／駐車場	敷地面積 13,230 m ² (延べ面積 25,423 m ²) / 64 台
設備	武道室、多目的指導員室、更衣室
用途	柔道、剣道、合気道、空手道、少林寺拳法、なぎなた など
管理運営	(株)アクセス川崎 (指定管理)
備考	畳敷きからフローリングに変更することで、多種目の格技が利用可能。

事例 ・ : 1室で多種目の利用に対応する機能

検討の可能性：○

競技人口の少ない種目の対応などで必要な方法と考えられる。

アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	ふれあいランド岩手
分類	パラ競技者対応：障害者専用（優先）施設
住所	岩手県盛岡市三本柳8地割1-3
面積／駐車場	敷地面積 46,268.34 m ² / 約 200 台
設備	スポーツ施設 プール、体育館、陸上競技場、トレーニングルーム、卓球室、テニスコート、ゲートボール場、アーチェリー場
	文化施設 ふれあいホール、会議室、研修室、教養室（茶室兼用）、音楽室、陶芸室、創作室、調理実習室、レストラン
用途	各種スポーツ、教室、講習など
管理運営	(社)岩手県社会福祉協議会（指定管理）
備考	・県内の社会福祉活動の中核施設としての機能を提供することに加え、利用者に対して効果的な指導も提供している。 ・ボランティア養成講座なども開催している。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	埼玉県障害者交流センター
分類	パラ競技者対応：障害者専用（優先）施設
住所	埼玉県さいたま市浦和区大原 3-10-1
面積／駐車場	敷地面積 71,570.30 m ² / 有（台数記載なし）
設備	スポーツ施設 体育館、トレーニング室、プール、運動場、ソフトボール場、テニス場、アーチェリー場、ゲートボール場、ゴルフアプローチ場、ゴルフネット
	文化施設 多目的ホール、音楽室、調理室、和室、会議室、研修室、工芸室、おもちゃ図書館、図書資料室、作品展示コーナー、食堂など
用途	各種スポーツ、ワークショップなど
管理運営	(社)埼玉県社会福祉事業団（指定管理）
備考	施設内での支援に加え、居住地域でのスポーツや文化活動の振興を図るため、職員の派遣も行っている。

出典：ふれあいランド岩手 HP、埼玉県 HP 障害者交流センターの指定管理者公募について

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
分類	パラ競技者対応：障害者専用（優先）施設
住所	神奈川県横浜市港北区鳥山町 1752
面積 / 駐車場	延床面積 28,817.74 m ² / 188 台
設備	スポーツ施設 グラウンド、アーチェリー場、バウンドテニスコート、ローンボウルス場、ラポールグラウンド、100m 直線コース、テニスコート、アリーナ、サウンドテーブルテニス室、プール、フィットネスルーム、健康相談コーナー、ウォーキングコース、ボウリングルーム
	文化施設 ラポールシアター、創作工房、和室、ラポールボックス(多目的室)、会議室、ラポール座（視聴覚室）、おもちゃ図書館、レストラン
用途	各種スポーツ、コンサート、展示会、ワークショップなど
管理運営	(社)横浜市リハビリテーション事業団（指定管理）
備考	地下に駐車場と、グラウンド、トラック、アーチェリー場などスポーツ施設を配置し、雨に濡れずに入館、利用が可能。

■ アリーナ・屋内スポーツ施設 事例

施設名	鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア
分類	パラ競技者対応：障害者対応のすぐれた施設
住所	鳥取県鳥取市布勢 146-1
面積 / 駐車場	延床面積 696.43 m ² / 40 台
設備	スポーツ施設 スポーツ広場、トレーニングルーム
	文化施設 マルチルーム、相談室、交流スペース
用途	各種スポーツ、会議、講習会など
管理運営	(一社) 鳥取県障がい者スポーツ協会
備考	・鳥取県立布勢総合運動公園内。 ・スポーツ教室の開催など、障がいの有無に関わらず交流できる場を提供。

事例 . . . : 障害者専用（優先）施設 / 障害者対応のすぐれた施設
 検討の可能性：○
 パラスポーツの振興の観点からどちらも考えられる。

■ スタジアム・球場等 事例

施設名	Toyota Stadium (トヨタスタジアム)
分類	多機能・多様な利用：コンサート等、スポーツ以外の利用
住所	6000 Main Street Frisco, Texas 75034
面積	145-acre
設備	スタジアム、練習フィールドなど
用途	アメリカンフットボール、サッカー、コンサート、イベント
管理運営	AEG
備考	・スタジアム内にはコンサートステージが常設。 ・命名権は TOYOTA USA による。

■ スタジアム・球場等 事例

施設名	Forsyth Barr Stadium (フォーサイズバースタジアム)
分類	多機能・多様な利用：コンサート等、スポーツ以外の利用
住所	130 Anzac Avenue, Dunedin Central, Dunedin 9058
設備	全天候型スタジアム、オタゴ大学スポーツ研究施設
用途	ラグビー、サッカー、コンサート、イベント、会議
管理運営	Dunedin Venue Management Limited
備考	片側のゴール裏はステージの設置、車が入ることを前提として、スタンドは必要なときのみ仮設。底部も舗装路となっている。

事例 ・ : コン서트等、スポーツ以外の利用
 検討の可能性：
 今後のプロスポーツチームとの連携状況によっては可能性あり。

■ スタジアム・球場等 事例

施設名	長崎スタジアム
分類	複合化：多様な施設が合築されている
住所	長崎県長崎市幸町
面積	敷地面積 74,762.067 m ² / 台数記載なし
設備	スタジアム、ホテル、商業施設、アリーナ、サブアリーナ、エネルギーセンター、オフィス
管理運営	(株)リージョナルクリエイション長崎
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年(2024年)完成予定。 ・商業施設とスタジアムなど施設間を回遊できる構造、ピッチから客席までの距離が近いサッカースタジアム、こだわりの音響・映像設備を備えるアリーナを計画。

令和3年(2021年)3月時点

■ スタジアム・球場等 事例

施設名	広島市民球場 (MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)
分類	複合化：多様な施設が合築されている
住所	広島市南区南蟹屋2丁目3番1号 広島市南区西蟹屋3丁目及び南蟹屋2丁目
面積/駐車場	敷地面積 50,472.42m ² / 250台
設備	グラウンド、ショップ、カフェ、イベント広場、プロムナード
用途	野球、ソフトボール、イベント、展示
管理運営	(株)広島東洋カープ (指定管理)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観客定員：33,000人 ・都心部の交通結節点に位置。 ・北側の JR 側へ大きく開く形態として、グラウンドの開放感、通風、街との一体感を確保。新幹線など JR 車窓からも感じる事が可能。 ・1階観客席の最後部に、幅が広く、段差のないコンコースを配置。コンコースからグラウンドを眺めながら、球場の周回が可能。 ・砂かぶり席、パーティーフロア、テラスシート、パフォーマンスシートなど様々な観戦スタイルが可能。

出典：国土交通省 HP スタジアムを核とした大規模プロジェクトから、新しいまちの誕生、広島市民球場 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島 HP

■ スタジアム・球場等 事例

施設名	St.Jakob Park (ザクト・ヤコブ・パルク)
分類	複合化：多様な施設が合築されている
住所	Birsstrasse 320 A, 4052 Basel
駐車場	680 台
設備	スタジアム、ショッピングセンター(約 50 店舗)、高齢者向け住宅、アパート、オフィス、会員制フィットネスクラブ、セミナー会場
用途	サッカー、コンサート、商業施設、住宅、オフィス
管理運営	FC Basel 1893 AG
備考	・スイス国内最大のサッカー専用スタジアム ・収容人数 38,512 人 ・UEFA4 つ星スタジアム

事例 . . . : 多様な施設が合築されている
 検討の可能性：
 大規模な再開発等にあわせて行うものであり、本検討での可能性は低い。

■ プール 事例

施設名	日野学園温水プール（品川区立総合体育館内）
分類	多用途：区民と学校の両用
住所	品川区東五反田 2-11-2
面積／駐車場	敷地面積 10,178.86 m ² （延床面積 8,479m ² ）／12 台
設備	温水プール（可動床式 6 コース 25 メートル×13.9 メートル）
管理運営	（公財）品川区スポーツ協会（指定管理）
備考	・平成 18 年（2006 年）より日野学園と総合体育館との複合施設。 ・日野学園の学校教育で使用しない時間に区民の利用が可能。

事例：区民と学校の両用

検討の可能性：○

区民の高い水泳ニーズを受け止めるには、学校プールの区民との共同利用化などを検討していくことも考えられる。

■ プール 事例

施設名	服部緑地ウォーターランド フィッシングパーク
分類	多用途：水泳以外の利用
住所	大阪府豊中市服部緑地 1-8
面積／駐車場	126.3 ha（服部緑地）／151 台（服部緑地第 2 駐車場）
設備	プール、管理釣り場
用途	プール、釣り場
管理運営	（株）ゴーセン（指定管理）
備考	・大阪府営服部緑地内。 ・オフシーズンを活用した管理釣り場（エリアフィッシング）

事例：水泳以外の利用

検討の可能性：

釣り場といった特殊な活用は考えづらいため、今後、屋外プールを残していく必要性は少ないものと考えられる。

5.1.2 検討のまとめ

アリーナ・屋内スポーツ施設

(1) 複合化

複合化の目的・効果：

- スポーツ・文化活動に参加する区民を集中させることで、「にぎわいづくり」につなげる
- 複合化・集約化による利便性の向上。
- 共用部の共有化による省面積などにより、整備費用や維持管理費用の低減化を図ること。

運営側のメリット：

- 来訪者の目に情報がふれやすくなり、集客効果の向上につながる事が期待できる。

デメリットや注意点：

- 性格の異なる施設が入ることでカラーが統一できなくなる。
- 音の干渉など。

施設名	特徴
カルッツかわさき (川崎市)	<ul style="list-style-type: none">➤ スポーツ施設と文化施設の合築による市民文化の拠点づくり➤ 芸術系のホールは、オーケストラ、バレエ、ミュージカル、コンサートに使用できる（これまではコンサート専用）➤ 会議室はスポーツ施設と文化施設の共用➤ 川崎市体育館（平成 26 年（2014 年）12 月閉館）と教育文化会館大ホール（平成 30 年（2018 年）3 月閉鎖）の複合化
学び・交流プラザ (周南市)	<ul style="list-style-type: none">➤ 駅周辺のにぎわいづくり➤ 既存 7 施設の有する生涯学習機能・図書館機能・スポーツ振興機能・創造緩衝機能・情報交流機能を複合化して 4 施設に集約し、さらにこれを合築することで、共用部の省面積化を図る（計 4,800 m² 3,000 m²）

施設の再編に際しては、まちなかに各種機能を盛り込んだ複合施設として整備することで、にぎわいづくりと利便性の向上、整備・管理費の低減化を図ることが可能となる。

(2) 多機能・多様な利用

屋内スポーツ施設の多機能化は、多様な利用ができるような床の仕様とすることがポイントとなる。

- コンクリートのフロアとすることで、車両の進入なども可能として重機材などの搬入も可能となる。
- 畳床や壁を可搬式・可動式とすることで、多目的に利用可能となる。

施設名	特徴
ゼビオアリーナ仙台 (仙台市)	<ul style="list-style-type: none">➤ 全国でも珍しい民設民営アリーナ➤ 養生の必要がない土間コンクリートフロアがベースで、11 トントラックが直接乗り入れ可能➤ 排水設備も設置、ビーチバレーコート、土俵、アイススケートリンク等の設置にも対応➤ 視認性を高めるため各階(1F・2F・3F)ごとに座席角度が可変
サンドーム福井 (鯖江市)	<ul style="list-style-type: none">➤ 平成7年(1995年)10月にアジア初の世界体操競技選手権のために整備されるも、多目的ドームであり、産業振興施設として位置付けられている➤ 各種スポーツ大会、コンサートなどに多用されている
墨田区総合体育館 武道場(墨田区)	<ul style="list-style-type: none">➤ 可動式の畳床により、柔道場がフローリング床として使用可能
カルッツかわさき (川崎市)	<ul style="list-style-type: none">➤ 可動間仕切りと、可搬式の畳により、武道場がフローリング床として使用可能➤ 畳の撤去により広々とした多目的室として利用可能

コンサートや展示会など、スポーツ以外の利用を想定するのであれば、頻度にもよるが、コンクリートの打ちっぱなしにした方が、使い勝手が良く稼働率も高まることが期待できる。

ただし、競技の種類によっては既存の板張りを望む意見が聞かれるため、どの程度他の用途に利用する可能性があるのかを十分に検討したうえで選択する必要がある。

(3) パラ競技者対応

パラ競技者対応施設は、施設によっていくつかの考え方が取られている。

- 障害者の方が、安全・安心にスポーツを続けられる環境を提供している。
- 障害者の方がスポーツにふれる機会を提供し、地域に送り出す。
- 指導や介助など、パラスポーツを支える人を育てる。

施設名	特徴
ふれあいランド岩手	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 健常者と障害者がスポーツをとおして交流することを目指している ➢ 障害者が使いやすい施設・設備対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 腰掛可能な高さのプールサイド、階段設置 ● 車いす用卓球台 等 ➢ ボランティア等の養成 ➢ 活動の自立への支援
埼玉県 障害者交流センター	<p>健常者でも利用できるが、障害者が優先されていることから、ほぼ障害者利用で占められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害者が使いやすい施設・設備対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 腰掛可能な高さのプールサイド、階段設置 ● 車いす用卓球台 等 ➢ 文化施設 <ul style="list-style-type: none"> ● 上下可変流し台の調理研修室
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害者向けの施設・設備が充実（ローンボウルス、バウンドテニス、視覚障害者ランニング誘導マシン等）
鳥取ユニバーサル スポーツセンター ノバリア	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害者スポーツに関わることのできる人を増やしていく、裾野を広げていくことを目的に掲げる ➢ 障害の内容や程度に応じて、その人に合ったスポーツを適切にガイドしてくれる人を育てる

障害者のスポーツ施設は、区内のスポーツ環境の整備やソフト事業の展開にあわせて、位置づけを検討する。

現時点、江戸川区ではパラスポーツの指導員を増やすなど、パラスポーツの普及に力を入れているが、障害者が安心・安全にトレーニング等を各地で行える環境はまだ整備途上である。このため、拠点施設を整備して、人材の育成、情報発信等を行える活動拠点としていくことも検討する。

スタジアム・球場等

(4) 多機能・多様な利用

- 収益性の高いコンサートなどに利用しやすいよう、ステージを常設、スタンドを仮設にするなどしている。
- スタジアムの稼働率を高めて収益性をあげるための取組である。

施設名	特徴
Toyota Stadium	➤ スタジアム内にステージが常設
フォーサイズ・パー・スタジアム	➤ アウェイ側ゴール裏仮設スタンド ➤ 透明フィルムによる全面屋根 ➤ ハイブリッド人工芝ピッチ

(5) 複合化

- スポーツ興行だけでなく、エリアとしての収益性、魅力を高めるために、複合的な開発・整備が行われている。

施設名	特徴
長崎スタジアム	➤ ホテル、商業施設、アリーナ、オフィスなどの多様な施設が合築した複合開発
広島球場	➤ フィットネスジム、ショップ、カフェなど
ザンクト・ヤコブ・パルク	➤ ショッピングセンター、アパート、オフィスなどが合築

野球場やサッカー場(スタジアム)の整備に際しては、稼働率を高めるためにコンサート等も行いやすい構造・仕様等の工夫を施すことが望ましい。

スタジアム単体ではなく、再開発や複合開発の中の集客施設シンボル施設として、エリア全体で収支を考えていくことが考えられる。

プール

(6) 区民と学校の両立

- 稼働率の低い学校プールの整備費、維持管理費の削減。
- 水泳専門の指導者(民間スイミングクラブなど)の登用による教員の負担軽減、授業の効率化。

(7) 水泳以外の利用

- 冬期の収益性向上。

学校施設の老朽化なども進む中、稼働率の低い学校プールの維持管理費用の負担が各自治体で課題として挙げられている。

区民の健康志向の高まりを踏まえると、夏季のみではなく、通年の稼働が望ましく、全国的にも学校プールの廃止・集約化とあわせて屋内プールを整備していく方向にある。

5.2 近隣自治体との連携に関する検討

近隣自治体の取組状況や、周辺の事例について把握し連携の可能性と実施上の課題を整理した。

5.2.1 広域連携の形態

相互利用...既存の施設を複数の自治体で利用し合う形態。

共同設置...複数の自治体で施設を整備して利用し合う形態。

5.2.2 相互利用の内容

(1) 連携自治体の規模

- 同規模または多様な規模
人口などの自治体の規模が同等または多様な自治体の組み合わせ。
- 中心自治体と周辺自治体
定住自立圏構想や連携中枢都市圏構想の中心市とその構成自治体の組み合わせ。

(2) 料金設定

- 対象自治体住民の住民料金での利用
既存の料金体系を維持しつつ、相互利用の対象自治体の住民については、自地域の住民と同様の料金で利用できるという考え方。
- 域内統一料金の設定
同種の施設であれば、統一した料金を設定するという考え方。（導入例は見られない。）

料金設定	メリット	デメリット
対象自治体住民の 市民料金での利用	既存の枠組みを維持すること になるため、比較的導入しや すい。	同じサービスでも料金が異なることになるた め、より安い自治体の施設に利用が集中 する可能性がある。
域内統一料金の設定	利用する対象自治体住民に とっては分かりやすい。	自地域の住民についても料金の見直し が必要となる。

(3) 費用負担（維持管理運営費、修繕・更新費用）

- 各自治体がこれまでと同様に負担し合う
施設管理者である各自治体がこれまでと同様に負担し合うという考え方。
- 必要なコストを自治体間で分担し合う
利用者割、立地、人口規模等をもとにルールを設定し、他の自治体も負担金等の形で管理費等を負担する方法。（導入例は見られない。）

料金設定	メリット	デメリット
各自治体がこれまでと同様に負担し合う	従来と仕組みは変わらないため、比較的導入しやすい。	相互利用する自治体間での利用がアンバランスな場合、住民等に説明ができなくなる可能性がある。
必要なコストを自治体間で分担し合う	自治体間の公平性が保たれる。	施設を所有管理している当該自治体に対し、他の自治体が負担する仕組みを構築する必要がある。

(4) 管理運営方法

- 各自治体による管理運営をベースに、自治体間での調整を図る会議体等を組み合わせる場合が多い。
- 利用料金の調整を図る組織として事務組合を設置する事例もある。

(5) 予約システム

- 統一システム
対象自治体において統一のシステムを導入する方法。予約窓口が一元化され、域内住民も、窓口まで行かず容易に予約が可能となる。利用状況の統一的な比較・検討も容易になると考えられる。
- 各自治体のシステム
自治体ごとに既存の予約システムを利用する方法。施設ごとに予約方法が異なる。

(6) 相互利用の事例

事例

事例	志太地域域内「文化・スポーツ施設等相互利用推進事業」
自治体	藤枝市（含旧岡部町）・焼津市（含旧大井川町）
連携自治体規模	同規模または多様な規模 中心自治体と周辺自治体
管理運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 相互利用の方向性の調整は各市企画部門、施設の管理運営については各施設所管課や指定管理者が担当している。 ● 域内住民が市民料金を利用するための料金減免分は、志太広域事務組合の積立金により賄われている。
予約システム	統一システム 各自治体のシステム
備考	<p>【市民・組合・各市の資金の流れ】</p> <p>相互利用導入後</p> <p>対象地域内住民 300円 地域外住民 500円</p> <p>利用施設</p> <p>焼津市 200円請求 藤枝市 200円支払い</p> <p>志太広域事務組合</p> <p>分配金</p> <p>従前</p> <p>市内住民 300円 市外住民 500円</p>

事例

事例	埼玉県東南部5市1町「公共施設の相互利用」
自治体	越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
連携自治体規模	同規模または多様な規模 中心自治体と周辺自治体
管理運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治体による管理運営がベース。 ● 埼玉県東南部都市連絡調整会議から実施に至った。
予約システム	統一システム 各自治体のシステム
備考	<p>・「まんまるよやく」システム</p> <p>パソコン、携帯電話、自宅の固定電話やFAXを利用して24時間どこからでも施設の空き状況の確認や利用申込が可能。</p> <p>まんまるよやく専門部会を5市1町の窓口とし、全体調整を埼玉県東南部都市連絡調整会議事務局が実施する体制。</p> <p>利用者登録 各自治体の利用者登録受付窓口</p> <p>抽選申込 空き申込 空き状況確認</p> <p>パソコン・スマートフォン</p> <p>令和3年（2021年）11月より携帯電話、固定電話、FAXは廃止予定</p> <p>・各施設窓口でも予約可能。</p>

5.3 収益性のある施設の導入検討（プロスポーツに関する検討）

5.3.1 プロスポーツの誘致に関する他自治体事例

(1) 調査対象

自治体	チーム名	リーグ	平均観客数	施設
墨田区	フウガドール すみだ	Fリーグ	約 1,000	墨田区総合体育館
浦安市	バルドラール 浦安	Fリーグ	1,000～ 1500	バルドラール浦安アリーナ (浦安市総合体育館)
船橋市	千葉ジェッツ ふなばし	B 1リーグ	5,000～ 8,000	船橋アリーナ
宇都宮市	宇都宮 ブレックス	B 1リーグ	約 3,000	ブレックスアリーナ宇都宮 (市民体育館)
さいたま市	さいたま ブロンコス	B 3リーグ	約 500	浦和駒場体育館ほか

* 入場者数についてはコロナの影響のある令和元年～令和3年（2019年～2021年）を除く

* 令和3年度（2021年度）からブロンコスは浦和駒場体育館を使用

(2) 結果概要

各自治体のプロスポーツ受け入れのきっかけ、影響・効果、自治体としての狙い等について、電話によるヒアリング調査（一部メール・FAXでの回答により補完）を実施したところ、各自治体の受け入れパターンがあり、スポーツ振興への貢献や地域経済への波及効果が見込まれることが明らかとなった。

5.3.2 プロスポーツによる利用可能性について

(1) プロスポーツの興行について

1) リーグ戦形式と平均観客数

国内の主要なトップ(プロ)スポーツリーグの興行の方法と平均の観客数については、下表のとおりとなっている。

種目 (リーグ名)	興行の方法(開催地)	平均観客数
野球 (NPB)	基本は、ホームグラウンドで年間約 140 試合の半分を行う。 一部、本拠地以外の地域での開催がある。	約 3 万人
野球・二軍	基本はホームグラウンドで年間約 90 ~100 試合の半分を行う。 ホームグラウンド以外でも周辺地域や、巡業等も行っている。	300 ~2,000
サッカー (Jリーグ)	リーグ戦とカップ戦をあわせて概ね 40 ~45 試合の約半分をホームグラウンドで行っている。	J 1 約 2 万 J 2 約 8 千人
フットサル (Fリーグ)	年間概ね 20 ~25 試合の約半分をホームアリーナで行っている。	約 1,000 人
バスケットボール (Bリーグ)	ホームアリーナでの試合数は B 1 で年間 36 試合、B 2 で 42 試合。	約 3,000 人
バレーボール (Vリーグ)	年間試合数は男子 V1 で 27 試合、女子 V1 で 21 試合。 H & A 方式ではないためホームアリーナでの試合数は数試合程度。	約 2,500 人
卓球 (Tリーグ)	21 試合をホーム/アウェイ戦およびセントラル方式で行うため、7 ~ 8 試合をホームで行うこととなる。	約 1,000 人
ラグビー (ジャパンラグビー リーグワン)	年間 16 試合のうち半分がホームグラウンド開催。 (クボタスピアーズ船橋・東京ベイでは今季の江戸川開催を 6 試合としている)	約 11,000 人

出典：NPB：日本野球機構統計データ（ホームページで公開）2019 年公表値より

野球二軍：各球団発表資料（ホームページ等）から情報収集

サッカー（Jリーグ）：Jリーグ公式サイト掲載の DataSitei より

フットサル：Fリーグ公式サイト掲載値より

バスケットボール：Bリーグシーズンレポートより（2016～2020 の各シーズン）

バレーボール：Vリーグ公式サイト掲載値より

卓球：卓球専門メディア Rallys ホームページより

ラグビー：観客数はトップリーグ公表資料から 2019-2020 の 1 開催あたりの人数

2) スタジアム・アリーナの規模について

各リーグ等で定めている人数要件は以下のとおりである。

種目（リーグ名）		観客人数に関する規定
屋内	バスケットボール（Ｂリーグ）	B1：5,000 席以上 B2：3,000 席以上
	バレーボール（Vリーグ）	S1：3,000 席以上 S2：1,500 席以上 S3 750 席以上
	卓球（Tリーグ）	規定なし
屋外	野球（NPB）	規定なし （千葉マリンスタジアム約 30,000 人～阪神甲子園球場約 47,000 人）
	野球・二軍	規定なし（ヤクルト戸田球場 250 人～横須賀スタジアム 5,000 人）
	サッカー（Jリーグ）	J1：15,000 人以上 J2：10,000 人以上 J3：5,000 人以上 （三ツ沢公園球技場・平塚競技場 15,000～横浜国際総合競技場 62,000 人）
	フットサル（Fリーグ）	F1：1,500 席以上 F2：300 席以上
	ラグビー （ジャパンラグビーリーグワン）	15,000 人以上

参加資格となるVリーグライセンスを「Sライセンス」という

出典：「Bリーグホームアリーナ検査要項（2022-23 シーズン用）」、「Vリーグライセンス交付規則」、「Jリーグスタジアム標準」、「日本フットサルリーグ要項」、「2021 年秋開幕の新リーグに関する参入要件の骨子」

3) 経済効果について

Jリーグの経済効果について、以下のように算出されている。

チーム名	地域経済効果	雇用効果	税収効果
ベガルタ仙台	約 41 億円	374 人	約 8,000 万円
川崎フロンターレ	約 33 億円	299 人	約 5,000 万円
ヴァンフォーレ甲府	約 17 億円	320 人	約 3,000 万円
ガンバ大阪	約 41 億円	340 人	約 9,000 万円
愛媛FC	約 5 億円	57 人	約 800 万円
大分トリニータ	約 25 億円	322 人	約 4,600 万円

出典：「スポーツビジネスを核とした地域活性化フィジビリティ調査」報告書（H22.3 経済産業省関東経済産業局）

(2) プロスポーツによる利用可能性について

1) 利用パターン

周辺自治体の事例等から、プロスポーツによる施設の利用や本拠地化については、次のようなパターンがあると整理される。

タイプ	概要
地元育成型	地元の学校や企業等を母体にしたチームが、力をつけてトップリーグに上がっていくもの。地元自治体等が、これにあわせて要件に見合う施設等の整備を進めバックアップしていく。
マッチング型	本拠地（ホームタウン）を探しているチームと、プロ誘致も視野にいれている自治体の意向が合致して、移転してきた場合など（その時点では施設が基準を満たしていない場合もある）。
申し入れ型	リーグの規定等を満たす施設を持つ自治体に、本拠地を探しているチームが申し入れをしてくる場合。

2) 江戸川区の現状

タイプ	概要
地元育成型	現在、関東リーグ1部に参戦している東京23FCは、Jリーグ参加を目指している。臨海球技場を主たる練習会場としており、ホームゲームは江戸川区陸上競技場を用いている。
マッチング型	クボタスピアーズ船橋・東京ベイが、ジャパンラグビーリーグワンに参入しており、江戸川区と連携協定を締結している。
申し入れ型	現状では、プロリーグの開催可能な施設はない。

3) 今後の可能性と課題

施設	状況
アリーナ	<p>プロリーグの基準を満たす施設はなく、総合体育館の建替え等で座席数が増やされなければ、プロチームによる本拠地利用の可能性はないものと考えられる。</p> <p>また、Bリーグのホームアリーナ規模とするには、類似事例から、最低でも4,200㎡程度の建築面積、5,200㎡程度以上の敷地が必要である。</p>
スタジアム	<p>江戸川区陸上競技場は収容人数約7,000人と、現状でJ3の基準[*]を達成しており、サッカーのJ3までならば受け入れられる。</p> <p>J2以上や、ジャパンラグビーリーグワンの受け入れのためには、将来的には15,000席への増席が必要となる。</p> <p>また、Jリーグのホームスタジアム規模とするには、類似事例から、最低でも9,800㎡程度の建築面積、18,000㎡程度以上の敷地が必要である。</p>
スタジアム（野球）	<p>江戸川区球場は座席数約4,000席であり、プロ野球ファームの試合ならば開催可能な席数である。</p> <p>ファームの本拠地は合宿所等の近傍である必要があることから、既存の球団のファームの移転がなければ可能性は低い。</p> <p>また、プロ野球のホームスタジアム規模とするには、類似事例から、50,000㎡程度以上の敷地が必要である。</p>

^{*}J3ライセンスのスタジアムに関する規定

ホームスタジアムの収容人員は原則として5,000人以上を求める（原則として座席のみであるが、特に安全性などをJリーグが精査して、問題がないと判断された場合は芝生席も座席と同じ扱いとみなすことができる）。

座席の増築、並びに芝のグラウンドや照明設備がないクラブには、今後整備を目指す前提で設備がない状態でも発給を認める。

6. 区内スポーツ施設の必要性・適正量の検討

6.1 スポーツ施設の区分の考え方

スポーツ施設のあり方を検討するにあたり、スポーツ庁が平成30年(2018年)に策定した『スポーツ施設のストック適正化ガイドライン』の参考資料として作成された、『ストック適正化における大規模スポーツ施設の基本的方向性』では、大規模スポーツ施設が提供する公共サービスの機能と利用イメージを以下のように整理している。

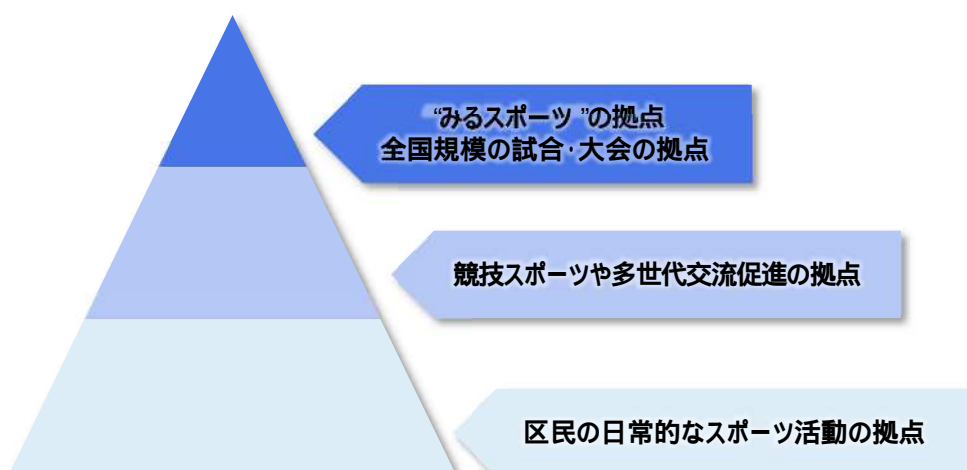


(スポーツ庁資料を一部編集)

(1) スポーツ施設の類型

『ストック適正化における大規模スポーツ施設の基本的方向性』の考えをもとに、本調査では、スポーツ施設を利用目的（主な利用者）により、以下の3つの区分に整理して考えることとする。

類型	主たる整備目的	規格・規模	主な利用方法	施設例 (プールの例)
	<p>“みるスポーツ”の拠点</p> <p>全国規模の大会など、トップアスリートの試合などを行う施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多数の観客席やエンターテインメント性向上のための設備が導入され興行施設として利用できる ● 高グレード、各種トップリーグの施設基準などを満たす 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際試合などを含む、プロスポーツや、全県もしくは全国を圏域とした大会や試合など ● コンサートなどにも利用されることがある ● 質の保全や費用の視点から一般利用は制限される 	
	<p>スポーツを通じた多世代の交流促進や、公式戦などスポーツ振興に用いる施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公的大会などが行える一定程度の規格を満たす ● 大会運営などに対応できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民リーグ、区内各種公式試合会場 ● 区やスポーツ協会、種目別連盟・協会などによる教室や交流イベントにも利用 ● 空いている時間には、周辺住民にも利用 	<p>スポーツセンター など</p>
	<p>区民の日常的なスポーツ活動のための施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童・生徒の練習試合などは行える施設から、競技（試合など）のための規格を満たさない施設まで含む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な区民が、いわゆる日々の運動やトレーニングなど定期的な活動に用いる ● 定期的な活動をしている地域スポーツ団体の活動拠点 	<p>小松川さくらホール など</p>



< スポーツ施設類型の考え方 >
 (H30 スポーツ庁「ストック適正化における大規模スポーツ施設の基本的方向性」を参考に作成)

(2) 類型と施設内容

種目による利用特性の違い等を考慮し、施設ごとに類型を示すと次のように考えられる。

【屋内施設】

	類型	類型	類型
大体育室	数千席の観客席のあるアリーナ	複数の試合が同時に行える複数面を持つ体育館。 ある程度の観客席を有する。	
小体育室			学校体育館や これと同程度の体育室 A 中学、高校などの体育館 B 小学校体育館
多目的室		トランポリンなど専用の器具を備えたり、競技性のある種目等の練習にも利用したりできる規模の施設	軽運動、卓球などが行える公民館の体育室やホールなど
弓道場	観客席を有する遠的、近的を備える施設 10人立ちなど	6人立ちなど複数名が利用できる施設	学校の弓道場など数名が練習できる施設
武道場	数千席の観客席をもち 6～8面を設けられるアリーナ (実際には大体育室で兼用)	複数の試合面を持つ	剣道、柔道兼用で1面もしくはそれぞれ1面ずつ有する学校や既存体育館の武道場。
トレーニングルーム		ウェイトリフティングのトレーニングなどができる機器をそろえる	トレッドミルなど一般的なフィットネスルーム
屋内プール	50m競泳用プール 飛び込み板付きプール等 数千席程度の観客席を有する	25mもしくは50mの公認プール 若干の観客席を有する	25m程度のプール
アイススケートリンク	数百～数千席の観客席を備え、アイスホッケーやフィギアスケートの公式戦が行える	アイスホッケーやフィギアスケートの公式戦が行える	公式戦等を行えないアイススケートリンク

【屋外施設】

	類型	類型	類型
サッカー・ラグビー場	数千～万人規模の観客席を持つ競技場	公式戦規格のサッカー場	学校のグラウンド等 A：試合ができる B：試合には不向き
陸上競技場	1～2種公認	公認陸上競技場	学校のグラウンド等 A：200m以上 B：200m以下
野球場	数万人規模のスタンド付き野球場	フェンス、バックネットの整備された野球場	学校のグラウンド等 A：試合ができる B：試合には不向き
テニスコート	スタンド付き8面以上のテニス場	複数面（4面以上）を持つテニス場	学校テニスコート、 公営テニスコート
多目的広場			校庭や芝生の広場 公園の多目的グラウンド
その他		パークゴルフ等コース等	
屋外プール	数千人規模の観客席を持つ公認50mプール	公認プール	学校等のプール

6.1.2 本業務の検討対象と施設の性格づけ

本業務の検討対象である施設について、それぞれの使われ方などを勘案して類型を整理すると、次のとおりとなる。

(1) 屋内施設

	プール	アリーナ	トレーニングルーム	柔剣道場	卓球室	弓道場	アーチェリー場	エアライフル射場
総合体育館								
スポーツセンター								
小岩アーバンプラザ								
小松川さくらホール								

(2) 屋外施設（一部屋内）

	プール	野球場	少年野球場	サッカー場	ラグビー場	テニスコート	トラック	フットサルコート	アイススケートリンク	ローラーコート
スポーツランド										
陸上競技場										
江戸川区球場										
臨海球技場										
水辺のスポーツガーデン										

6.1.3 スポーツニーズの考え方

(1) 類型ごとのスポーツニーズのとらえ方

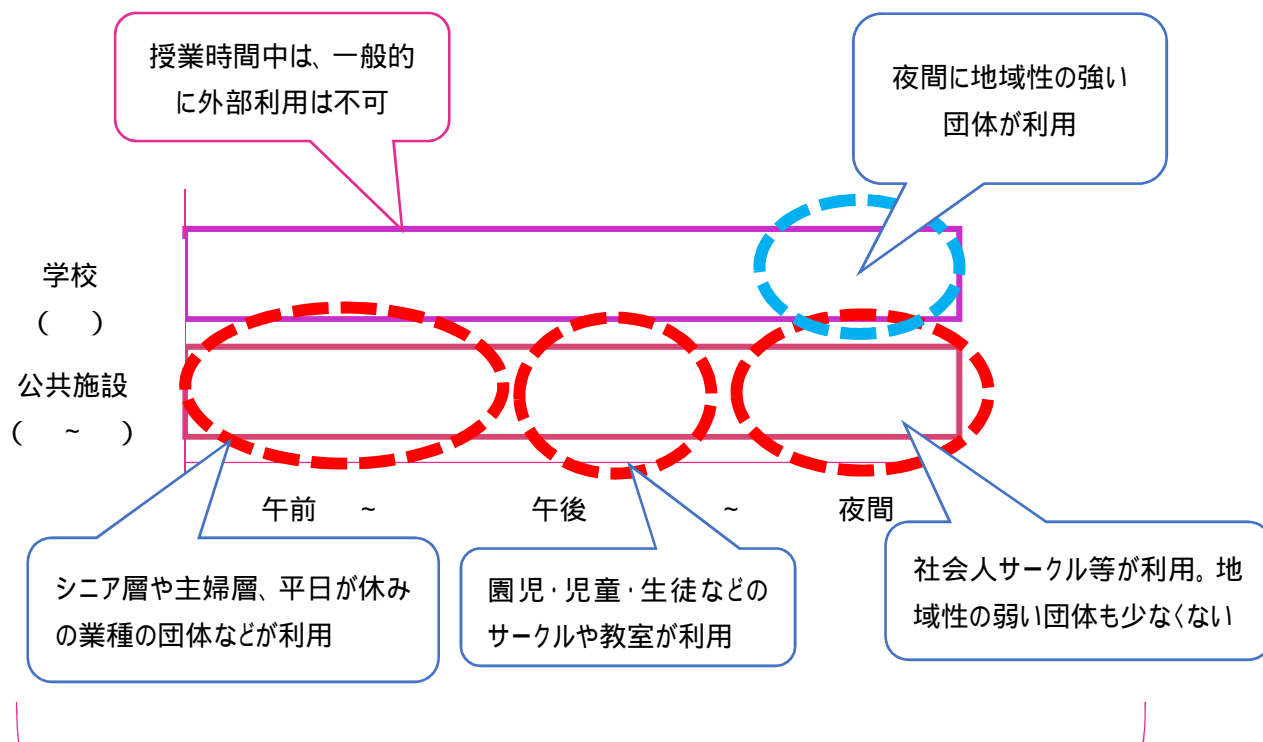
スポーツニーズの検討に際しては、このように施設の性格(類型)ごとのニーズを把握していくことが必要となる。

	類型	類型	類型
大会・公式戦など			
プロスポーツ(興行)	○		-
国際大会等	○		-
全国・全県規模の大会	(決勝等)	○	-
区内の公的大会	(決勝等)	○	-
児童・生徒の大会など	(決勝等)	(決勝等)	○(規格外学校)
体験会や交流会等のイベント			
協会や競技団体等主催の体験会や交流会	(大規模イベント)		-
地域団体によるイベント等	-		
日常的な活動(いわゆる練習、トレーニング)			
地域性の強いサークル (PTA、 中学 OB など)	-		
地域性の弱いサークル	-		
個人、少人数グループ	-		
部活動	-		
その他			
合宿(キャンプ)			-
民間の大会等			-
観戦ニーズ			

国内（特に施設が不足気味の都市部）では、公式競技（大会）が行える施設（類型 ）の週末利用は、ほとんどが種目別の協会や連盟の大会などの公式行事によって先行的に予約で埋まり、一般利用（特に日中）ができない状況にある自治体が少なくないようである。

しかしこのような類型 の施設でも、公式大会等は週末に偏在し、平日は一般利用に供されていることとなる。

平日の区民のスポーツニーズと利用可能な施設の関係は、以下のとおりとなる。



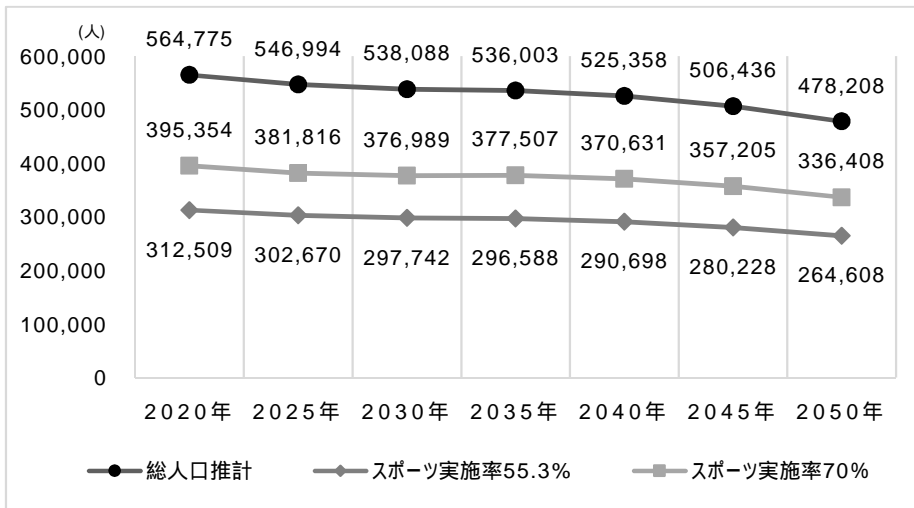
実際には、下位類型の施設でもできる活動が少なくないが、施設が使えない（施設不足で予約できない、使える要件を満たしていない等）ために、上位類型の施設を利用している場合も多いと思われる。

6.2 区民の将来スポーツ人口の推計

6.2.1 スポーツ実施人口の推移

令和2年～令和32年(2020年～2050年)の区民のスポーツ実施人口を、下記の条件にて推計した。

- ・ 区民アンケート結果(スポーツ実施率55.3%)のまま推移する場合
- ・ 「東京都スポーツ推進総合計画(H30.3)」の目標実施率70%を達成する場合
若年層(若):15～39歳、中年層(中):40～59歳、高齢者層(高):60～79歳とする。



年	2020年		2025年		2030年		2035年		2040年		2045年		2050年	
	55.3%	70%	55.3%	70%	55.3%	70%	55.3%	70%	55.3%	70%	55.3%	70%	55.3%	70%
若	115,137	151,877	113,292	149,443	112,154	147,943	109,697	144,701	104,991	138,494	101,271	133,587	98,043	129,329
中	109,563	144,524	105,761	139,510	96,156	126,839	85,980	113,416	83,152	109,686	81,891	108,023	81,721	107,798
高	87,169	98,952	79,854	92,862	86,224	102,206	101,650	119,390	106,200	122,452	101,760	115,596	86,656	99,282

6.2.2 種目別のスポーツ実施人口(区民の競技別スポーツ実施人口の推計値)(令和2年(2020年))

競技性が高く、比較的
運動強度の高い種目

競技から健康増進まで
幅広く強度が選べる種目

	サッカー	野球	その他屋外 スポーツ ¹	屋内 アリーナ ²	フットサル	テニス	卓球	武道 ³	水泳	ダンス ・体操
若	7,890	13,294	6,053	12,376	6,647	9,755	2,621	2,000	9,863	25,157
中	1,687	3,783	1,736	5,624	3,220	5,824	1,533	1,533	9,247	33,265
高	513	329	2,972	1,947	329	7,312	3,918	2,380	7,655	26,790

1: ゲートボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ、陸上競技、ラグビー・アメリカンフットボール、グラウンドホッケー・ラクロス等

2: バスケットボール、バレーボール・ソフトバレーボール、バドミントン、ハンドボール等

3: 柔道・空手・少林寺拳法・テコンドー・太極拳・合気道、剣道・居合道・なぎなた・銃剣道

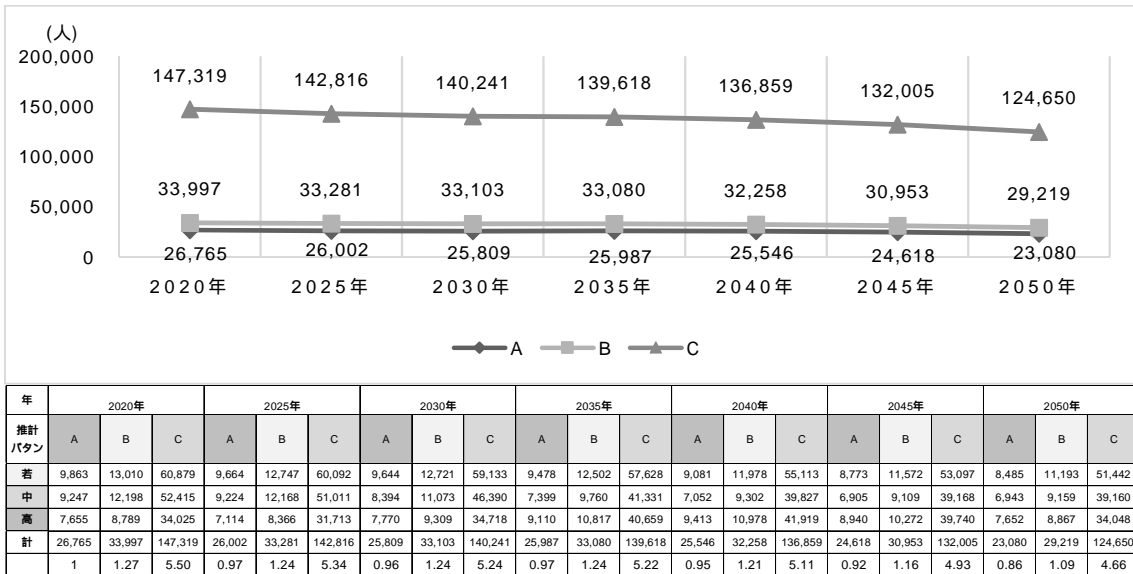
比較的運動強度の高い種目は若年層で行われている傾向が高く、競技から健康増進まで、自身にあった運動強度を選びやすい種目については、幅広い年齢層で行われている。

6.2.3 種目別のスポーツ実施人口の推移

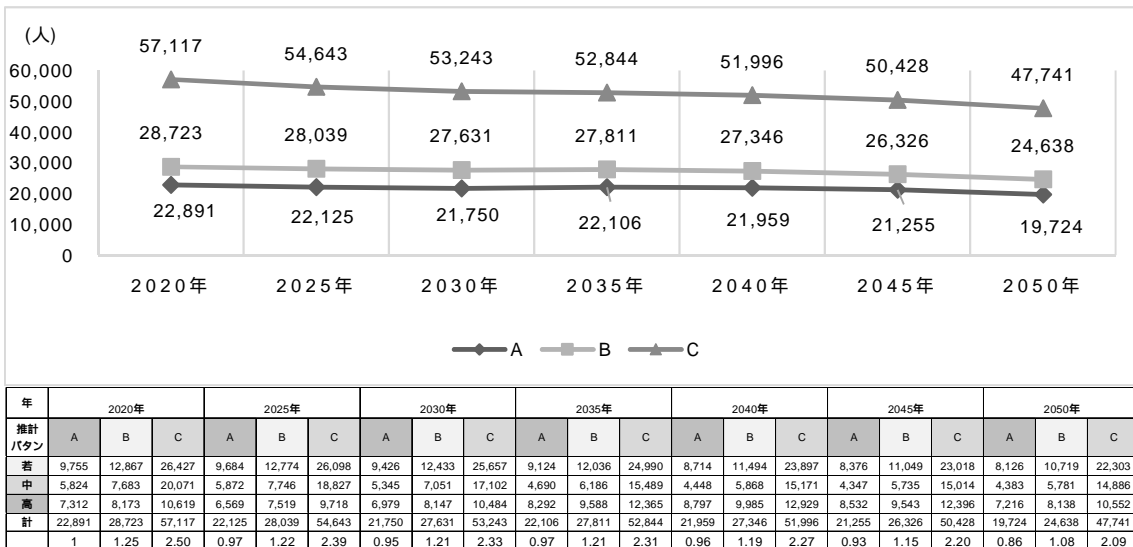
令和2年～令和32年(2020年～2050年)の区民の種目別スポーツ実施人口を、区民アンケート結果や「東京都スポーツ推進総合計画(H.30.3)」の目標実施率をもとに、下記のパターンA～Cの条件にて推計した。

パターンA：「普段やっている」と回答した人の割合に基づく推計
 パターンB：区民のスポーツ実施率が70%となった場合の推計
 パターンC：「今後やってみたい」と回答した人の割合に基づく推計

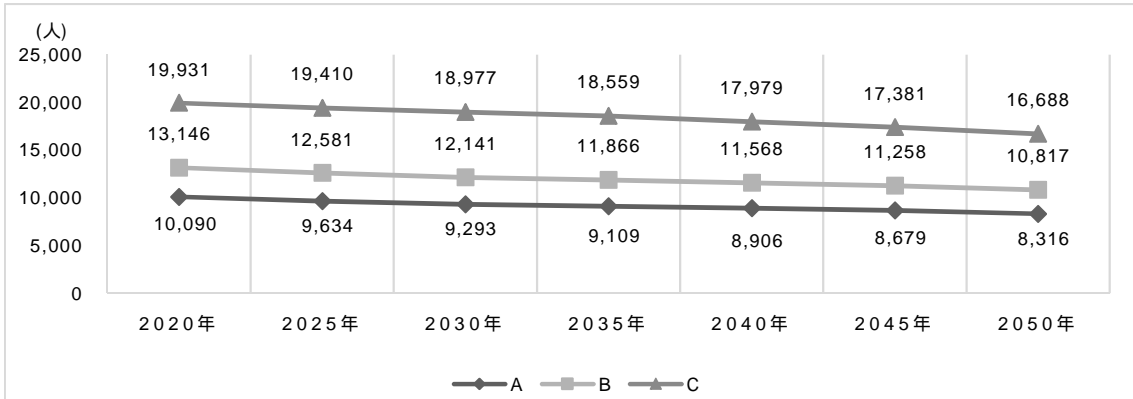
(1) 水泳



(2) テニス

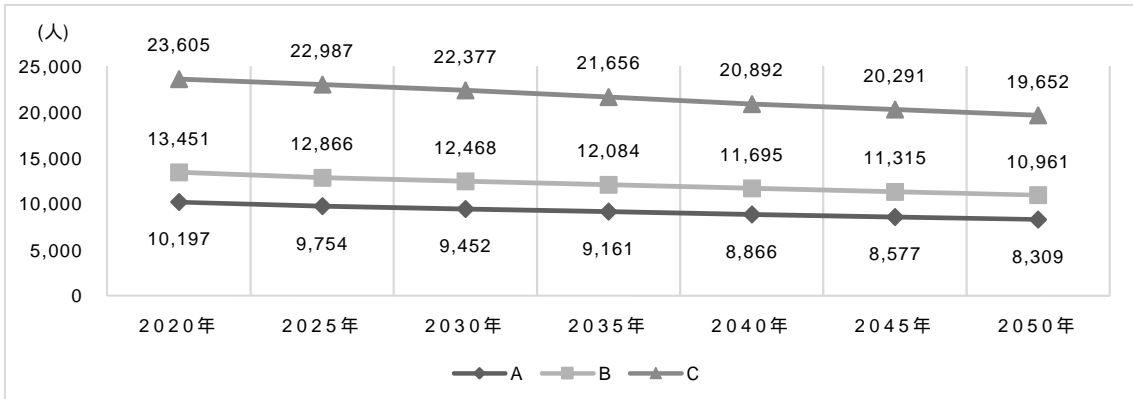


(3) サッカー



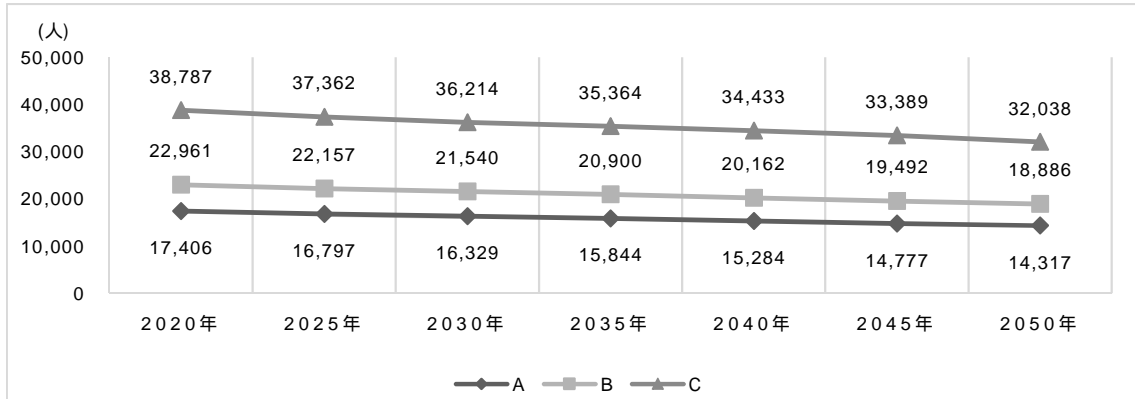
年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
推計パターン	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
若	7,890	10,408	12,970	7,815	10,309	12,778	7,640	10,077	12,620	7,415	9,781	12,327	7,085	9,346	11,794	6,817	8,992	11,371	6,610	8,719	11,012
中	1,687	2,226	5,042	1,420	1,873	4,848	1,285	1,695	4,407	1,224	1,615	3,948	1,257	1,658	3,824	1,266	1,670	3,769	1,226	1,617	3,758
高	513	513	1,919	399	399	1,784	369	369	1,949	470	470	2,285	564	564	2,360	596	596	2,241	480	480	1,918
計	10,090	13,146	19,931	9,634	12,581	19,410	9,293	12,141	18,977	9,109	11,866	18,559	8,906	11,568	17,979	8,679	11,258	17,381	8,316	10,817	16,688
	1	1.30	1.98	0.95	1.25	1.92	0.92	1.20	1.88	0.90	1.18	1.84	0.88	1.15	1.78	0.86	1.12	1.72	0.82	1.07	1.65

(4) フットサル



年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
推計パターン	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
若	6,647	8,768	18,050	6,570	8,666	17,740	6,449	8,507	17,601	6,276	8,278	17,238	6,000	7,914	16,503	5,777	7,621	15,926	5,599	7,386	15,414
中	3,220	4,248	5,042	2,821	3,721	4,848	2,557	3,373	4,407	2,390	3,152	3,948	2,412	3,182	3,824	2,414	3,184	3,769	2,358	3,110	3,758
高	329	434	513	363	479	399	446	589	369	495	653	470	454	599	564	386	510	596	353	465	480
計	10,197	13,451	23,605	9,754	12,866	22,987	9,452	12,468	22,377	9,161	12,084	21,656	8,866	11,695	20,892	8,577	11,315	20,291	8,309	10,961	19,652
	1	1.32	2.31	0.96	1.26	2.25	0.93	1.22	2.19	0.90	1.19	2.12	0.87	1.15	2.05	0.84	1.11	1.99	0.81	1.07	1.93

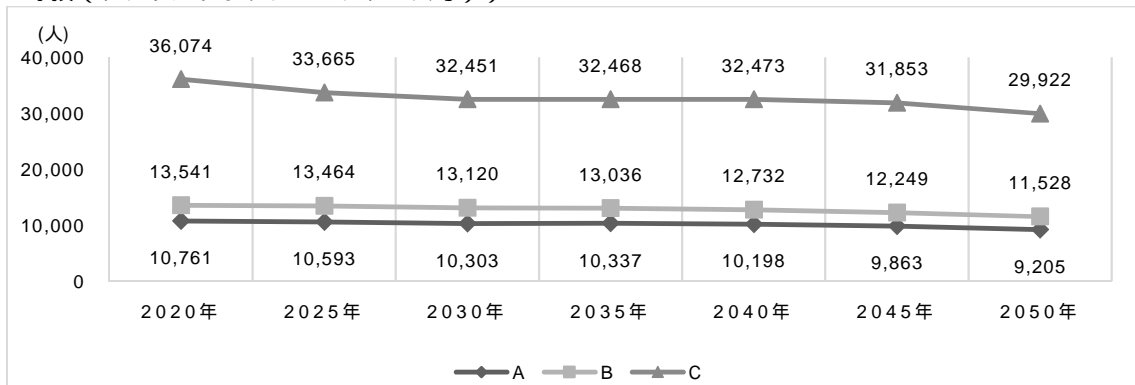
(5) 野球・ソフトボール



年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	
者	13,294	17,537	23,806	13,140	17,332	23,527	12,898	17,014	23,098	12,551	16,556	22,478	12,000	15,829	21,491	11,555	15,242	20,695	11,198	14,771	20,056
中	3,783	4,990	11,441	3,294	4,345	10,596	2,985	3,938	9,622	2,798	3,690	8,765	2,831	3,734	8,633	2,836	3,740	8,562	2,766	3,649	8,465
高	329	434	3,540	363	479	3,239	446	589	3,495	495	653	4,122	454	599	4,310	386	510	4,132	353	465	3,517
計	17,406	22,961	38,787	16,797	22,157	37,362	16,329	21,540	36,214	15,844	20,900	35,364	15,284	20,162	34,433	14,777	19,492	33,389	14,317	18,886	32,038
	1	1.32	2.23	0.96	1.27	2.15	0.94	1.24	2.08	0.91	1.20	2.03	0.88	1.16	1.98	0.85	1.12	1.92	0.82	1.08	1.84

(6) その他屋外スポーツ

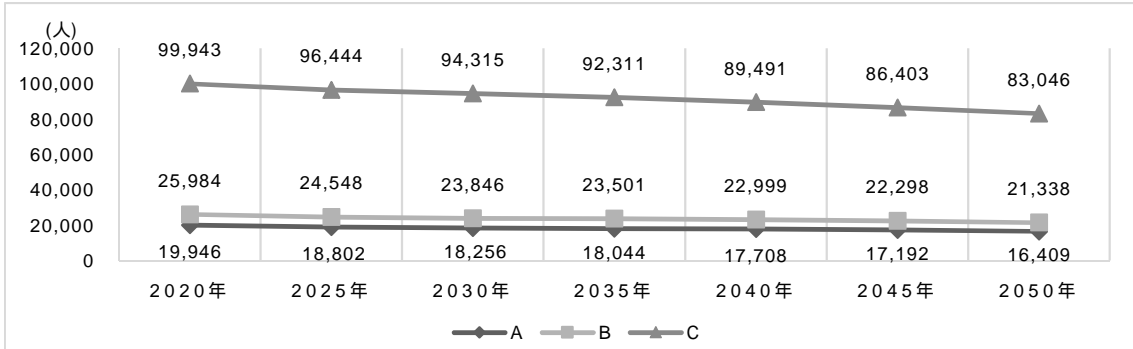
(ゲートボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ、陸上競技、ラグビー・アメリカンフットボール、その他屋外球技(グラウンドホッケー・ラクロス等))



年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	推計	A	B	C	
者	6,053	7,984	15,915	6,048	7,977	15,711	5,814	7,669	15,458	5,585	7,367	15,063	5,325	7,024	14,405	5,105	6,734	13,878	4,961	6,544	13,446
中	1,736	2,290	13,245	1,933	2,549	11,993	1,764	2,327	10,882	1,485	1,959	10,015	1,346	1,776	9,963	1,292	1,704	9,918	1,335	1,761	9,757
高	2,972	3,266	6,914	2,613	2,937	5,961	2,725	3,124	6,111	3,267	3,710	7,390	3,527	3,932	8,104	3,466	3,811	8,057	2,909	3,224	6,719
計	10,761	13,541	36,074	10,593	13,464	33,665	10,303	13,120	32,451	10,337	13,036	32,468	10,198	12,732	32,473	9,863	12,249	31,853	9,205	11,528	29,922
	1	1.26	3.35	0.98	1.25	3.13	0.96	1.22	3.02	0.96	1.21	3.02	0.95	1.18	3.02	0.92	1.14	2.96	0.86	1.07	2.78

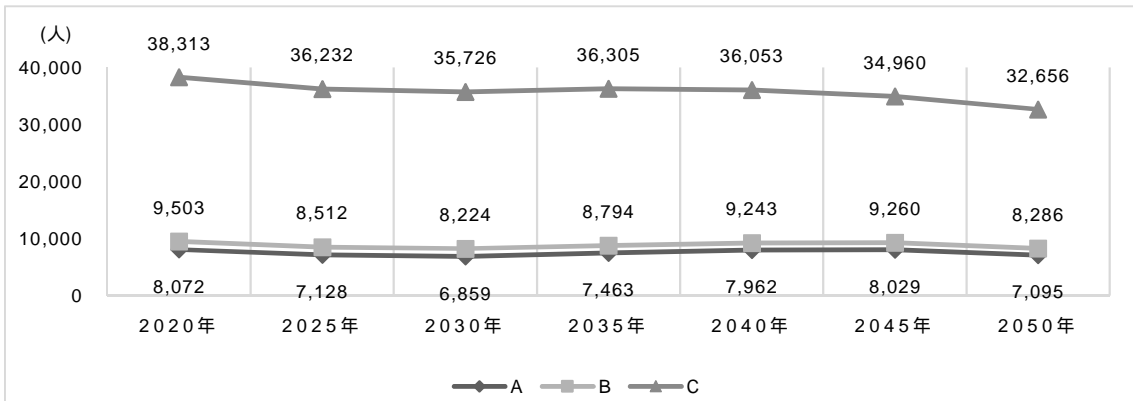
(7) 屋内アリーナ

(バスケットボール、バレーボール・ソフトバレーボール、バドミントン、その他屋内球技(ハンドボール等))



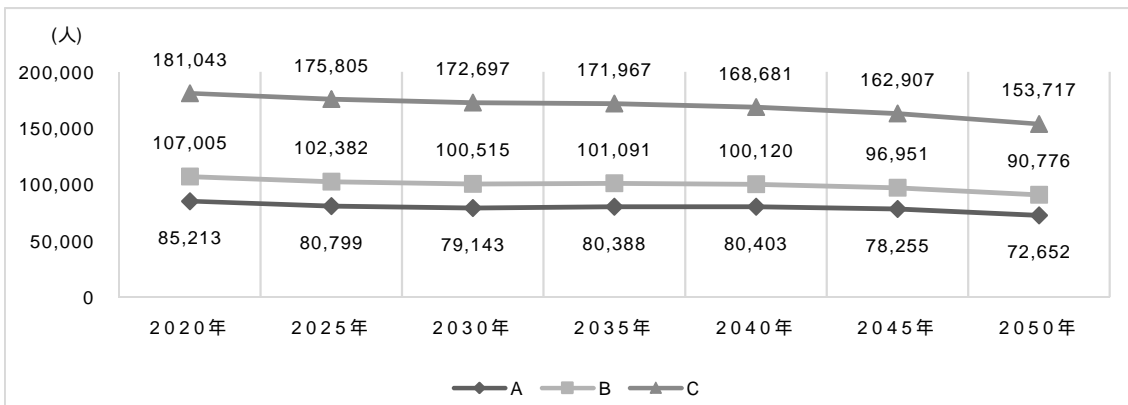
年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
推計	12,376	16,325	60,852	12,256	16,166	59,991	11,985	15,810	59,173	11,636	15,349	57,749	11,119	14,668	55,246	10,699	14,113	53,250	10,374	13,684	51,575
若	5,624	7,419	29,845	4,732	6,242	27,414	4,283	5,650	24,886	4,080	5,382	22,754	4,190	5,527	22,494	4,219	5,566	22,338	4,087	5,391	22,045
中	1,947	2,241	9,247	1,815	2,139	9,038	1,987	2,386	10,256	2,327	2,770	11,808	2,399	2,804	11,752	2,274	2,619	10,815	1,948	2,263	9,426
高	1,947	2,241	9,247	1,815	2,139	9,038	1,987	2,386	10,256	2,327	2,770	11,808	2,399	2,804	11,752	2,274	2,619	10,815	1,948	2,263	9,426
計	19,946	25,984	99,943	18,802	24,548	96,444	18,256	23,846	94,315	18,044	23,501	92,311	17,708	22,999	89,491	17,192	22,298	86,403	16,409	21,338	83,046
	1	1.30	5.01	0.94	1.23	4.84	0.92	1.20	4.73	0.90	1.18	4.63	0.89	1.15	4.49	0.86	1.12	4.33	0.82	1.07	4.16

(8) 卓球



年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
推計	2,621	3,457	18,699	2,572	3,392	18,464	2,560	3,377	18,157	2,512	3,314	17,687	2,406	3,174	16,914	2,323	3,064	16,293	2,248	2,965	15,786
若	1,533	2,023	10,103	1,401	1,848	9,107	1,272	1,678	8,262	1,166	1,537	7,620	1,155	1,523	7,596	1,148	1,514	7,566	1,131	1,493	7,436
中	3,918	4,023	9,511	3,155	3,271	8,661	3,028	3,170	9,307	3,785	3,943	10,998	4,402	4,546	11,543	4,558	4,681	11,101	3,716	3,829	9,434
高	3,918	4,023	9,511	3,155	3,271	8,661	3,028	3,170	9,307	3,785	3,943	10,998	4,402	4,546	11,543	4,558	4,681	11,101	3,716	3,829	9,434
計	8,072	9,503	38,313	7,128	8,512	36,232	6,859	8,224	35,726	7,463	8,794	36,305	7,962	9,243	36,053	8,029	9,260	34,960	7,095	8,286	32,656
	1	1.18	4.75	0.88	1.05	4.49	0.85	1.02	4.43	0.92	1.09	4.50	0.99	1.15	4.47	0.99	1.15	4.33	0.88	1.03	4.05

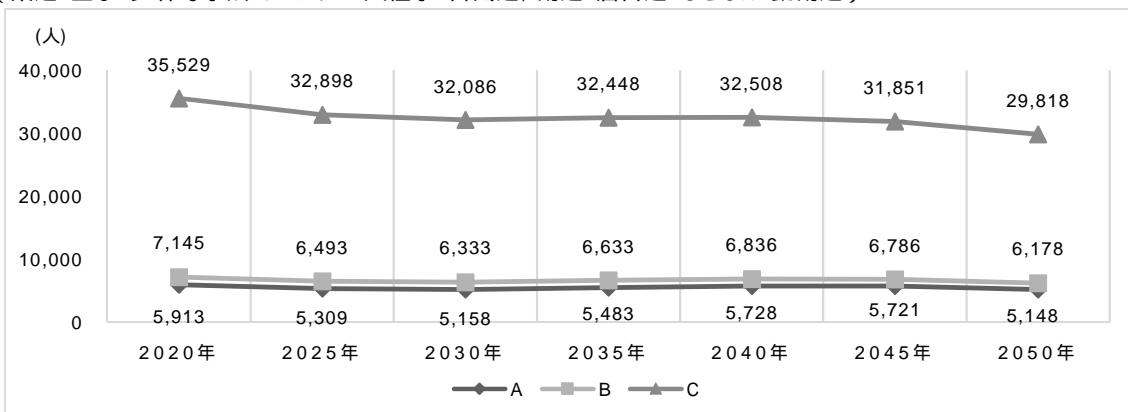
(9) ダンス・体操



年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
若	25,157	33,184	74,254	24,752	32,650	73,110	24,507	32,327	72,289	23,971	31,621	70,654	22,943	30,265	67,612	22,131	29,193	65,201	21,425	28,262	63,132
中	33,265	43,880	64,147	31,986	42,193	63,306	29,078	38,357	57,594	26,046	34,357	51,002	25,233	33,284	48,839	24,867	32,802	47,915	24,793	32,704	48,060
高	26,790	29,941	42,642	24,061	27,538	39,388	25,559	29,832	42,814	30,371	35,114	50,312	32,227	36,572	52,229	31,257	34,956	49,791	26,434	29,810	42,525
計	85,213	107,005	181,043	80,799	102,382	175,805	79,143	100,515	172,697	80,388	101,091	171,967	80,403	100,120	168,681	78,255	96,951	162,907	72,652	90,776	153,717
	1	1.26	2.12	0.95	1.20	2.06	0.93	1.18	2.03	0.94	1.19	2.02	0.94	1.17	1.98	0.92	1.14	1.91	0.85	1.07	1.80

(10) 武道

(柔道・空手・少林寺拳法・テコンドー・太極拳・合気道、剣道・居合道・なぎなた・銃剣道)

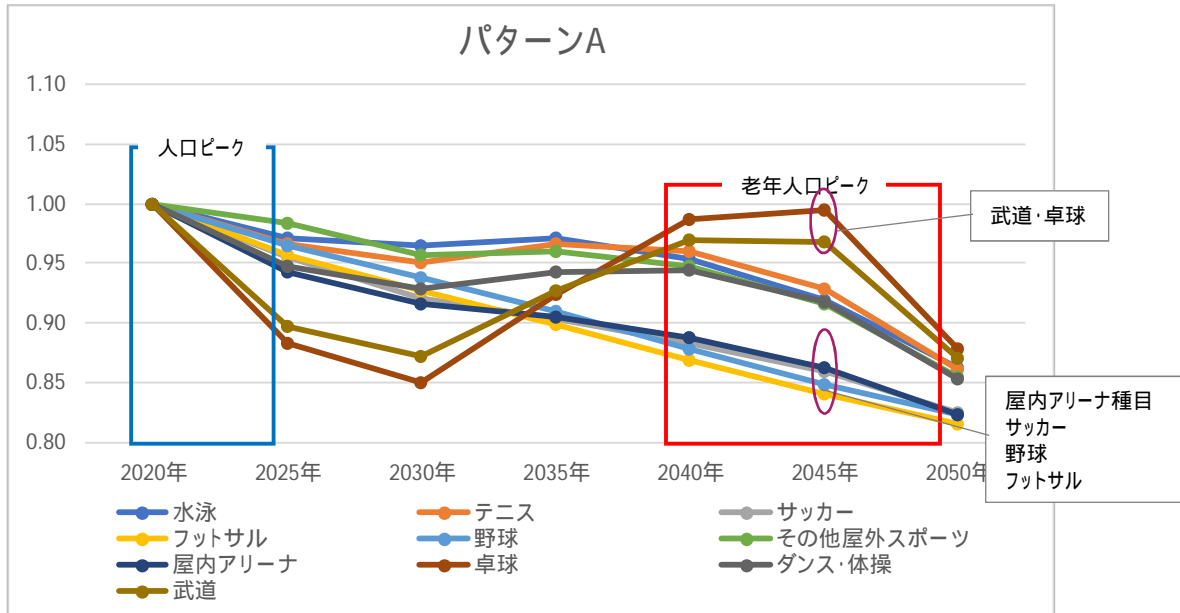


年	2020年			2025年			2030年			2035年			2040年			2045年			2050年		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
若	2,000	2,638	15,105	1,949	2,571	14,807	1,965	2,591	14,763	1,942	2,562	14,502	1,863	2,458	13,892	1,803	2,379	13,419	1,742	2,298	12,980
中	1,533	2,023	12,915	1,401	1,848	11,473	1,272	1,678	10,404	1,166	1,537	9,660	1,155	1,523	9,691	1,148	1,514	9,676	1,131	1,493	9,480
高	2,380	2,485	7,509	1,959	2,075	6,619	1,921	2,064	6,919	2,375	2,533	8,286	2,710	2,855	8,925	2,770	2,893	8,757	2,275	2,387	7,358
計	5,913	7,145	35,529	5,309	6,493	32,898	5,158	6,333	32,086	5,483	6,633	32,448	5,728	6,836	32,508	5,721	6,786	31,851	5,148	6,178	29,818
	1	1.21	6.01	0.90	1.10	5.56	0.87	1.07	5.43	0.93	1.12	5.49	0.97	1.16	5.50	0.97	1.15	5.39	0.87	1.04	5.04

6.2.4 種目別のスポーツ実施人口推計のまとめ

現在の実施人口を“1”とした場合の、種目別実施人口の比較を行った。

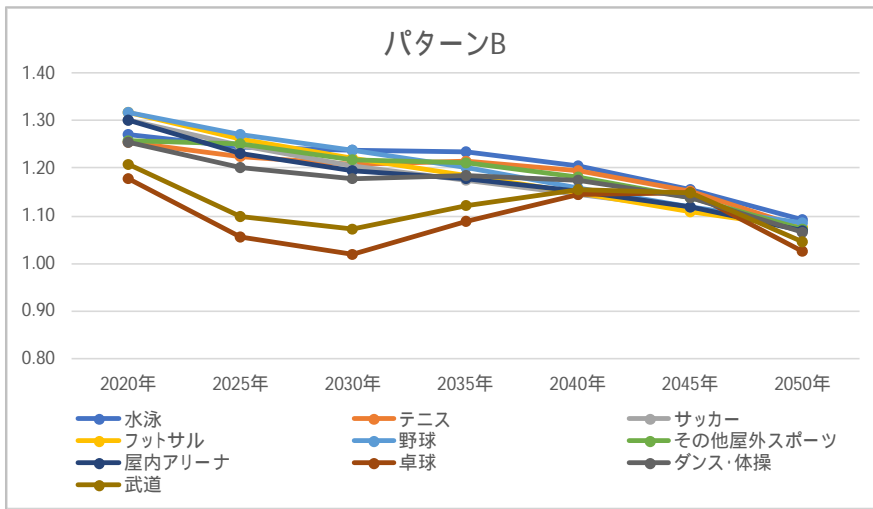
[パターンA：現在の実施率と同程度で実施率が推移した場合]



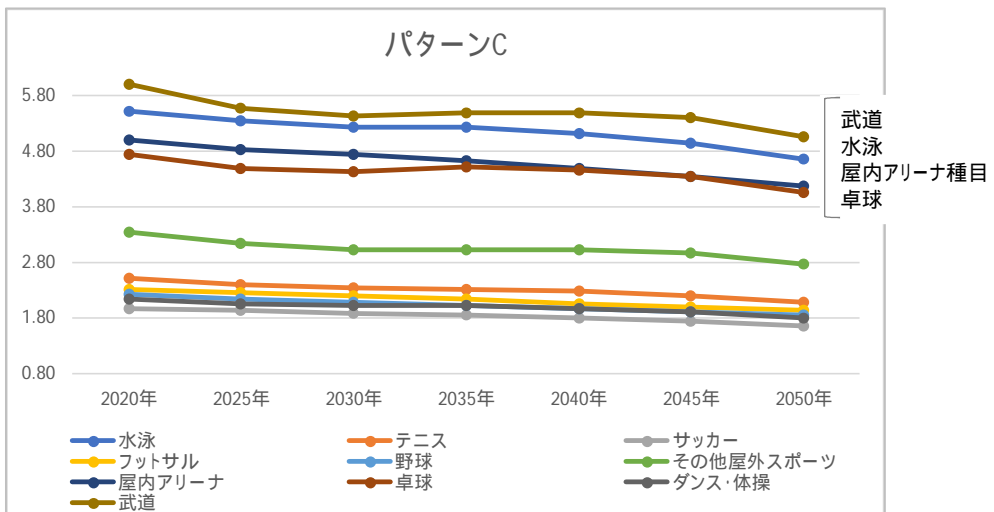
- ・人口減少に伴い、実施人口も全体的に減少傾向にあるが、種目によって減少割合が異なる。
- ・高齢者層の実施が比較的多い武道や卓球は、一度は減少するものの、老年人口の増加にあわせて、増加の傾向がみられ、令和22年～令和27年（2040年～2045年）は現在と同程度の実施人口となることも予想される。
- ・若年層の実施が比較的多い屋内アリーナ種目やサッカー・フットサル、野球は少子化に伴い減少率が高くなることが予想される。

【参考】

【パターンB： 区民のスポーツ実施率が70%となった場合】



【パターンC：「今後やってみたい」と回答した人全員が回答種目を実施した場合】



6.3 必要量・適正量の検討

前項で検討した将来スポーツ人口ならびに、施設の将来需要予測をもとに、施設の適正量・必要量を検討した。

6.3.1 江戸川区の現況

(1) アリーナ（体育館）

施設名	規模
総合体育館 主競技場	約 1,300 m ²
スポーツセンター 大体育室	約 1,700 m ²
スポーツセンター 小体育室	約 690 m ²
合計	約 3,690 m ²

(2) 柔剣道場

施設名	規模
総合体育館 柔道場	約 190 m ²
総合体育館 剣道場	約 190 m ²
スポーツセンター 柔道場	約 260 m ²
スポーツセンター 剣道場	約 260 m ²
合計	約 900 m ²

(3) プール

施設名	仕様	規模
総合体育館 温水プール	25m×13m 6コース	約 325 m ²
スポーツセンター 温水プール	25m×15m 7コース	約 375 m ²
スポーツランド プール(夏期のみ)	50m×30m	約 1,500 m ²
小岩アーバンプラザ スカイプール	25m×10.95m 6コース	約 274 m ²
小松川さくらホール プール	25m×12m 6コース	約 300 m ²
合計		約 2,800 m ²

6.3.2 他自治体との比較

人口が江戸川区と同規模の自治体である東京都練馬区、大田区、足立区、神奈川県相模原市、千葉県船橋市について、対象施設数及び面積を比較した。

< 各自治体の人口 >

自治体名	面積 (km ²)	人口 (人)
江戸川区	49.09	698,554
船橋市	85.62	639,454
大田区	60.83	729,726
練馬区	48.08	732,628
足立区	53.25	688,627
相模原市	328.91	723,012

(令和3年(2021年)5月時点)

(1) アリーナ (660 m² 以上の体育館) スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」の規模分類より

自治体名	施設数	合計延床面積
江戸川区	2	約 3,690 m ²
船橋市	2	約 5,360 m ²
大田区	2	約 3,444 m ²
練馬区	6 (1)	約 6,700 m ²
足立区	9 (2)	約 8,400 m ²
相模原市	3 (3)	約 5,970 m ²

(カッコ内は660 m²未満の体育施設数)

(2) 柔剣道場

自治体名	施設数	合計延床面積
江戸川区	2	約 900 m ²
船橋市	1	約 1,030 m ²
大田区	-	専用施設なし
練馬区	6	約 2,080 m ²
足立区	1	約 675 m ²
相模原市	3	約 1,770 m ²

(3) プール

自治体名	施設数	合計水面積
江戸川区	5	約 2,800 m ²
船橋市	2	約 1,740 m ²
大田区	4	約 3,500 m ²
練馬区	7	約 2,950 m ²
足立区	3	約 1,150 m ²
相模原市	3	約 2,850 m ²

(夏季のみのプール含む)

6.3.3 国の計画等の水準

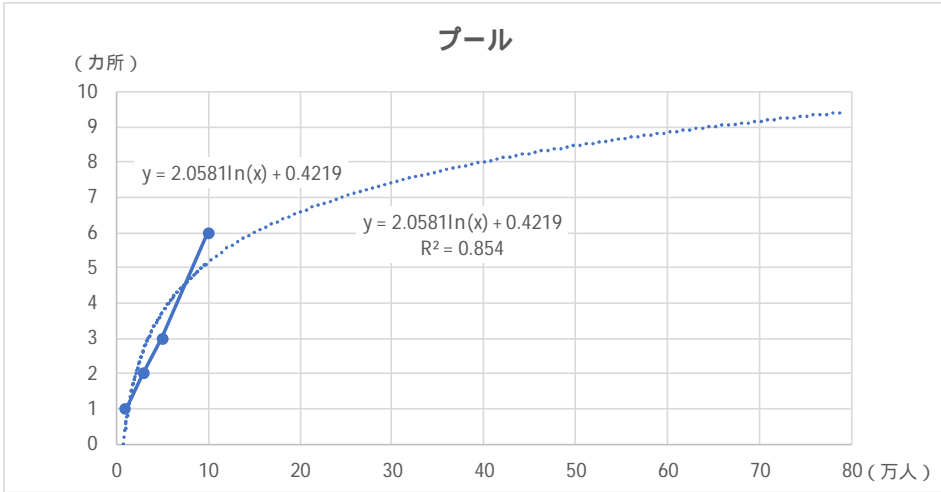
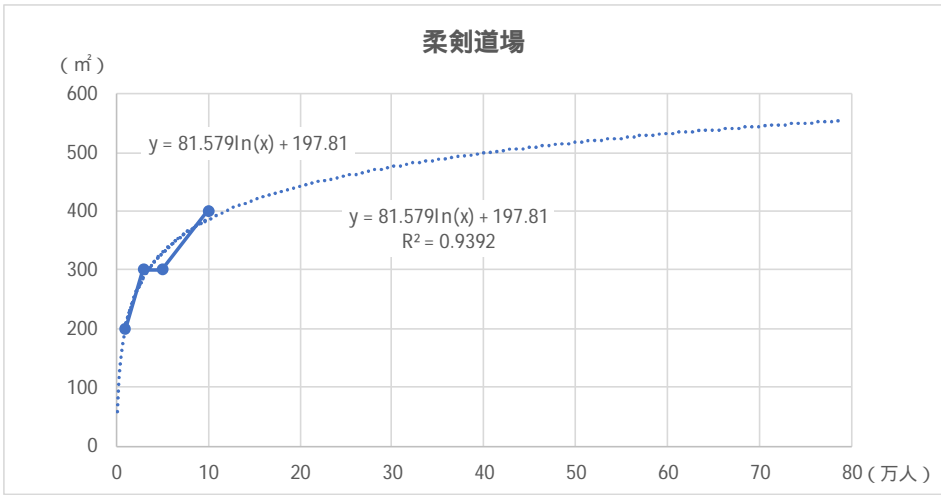
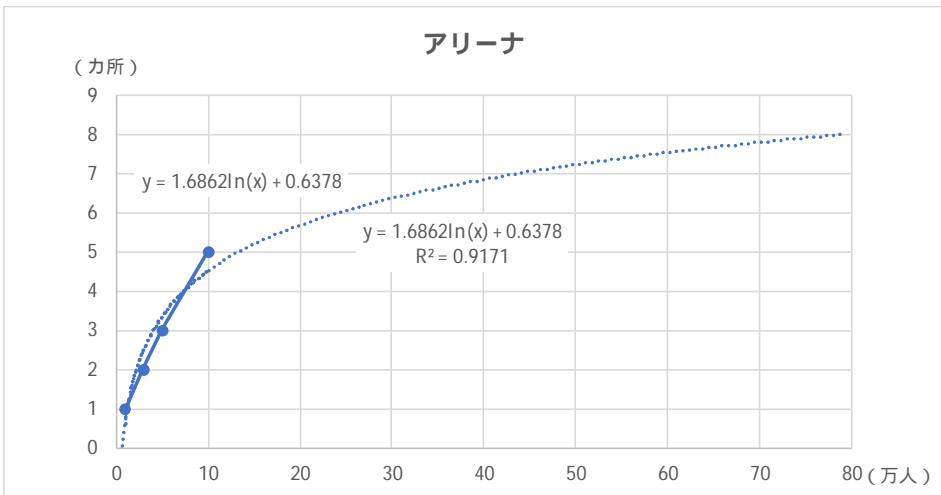
昭和 47 年 (1972 年) 保健体育審議会答申「体育・スポーツの普及促進に関する基本方策について」では、全ての国民が日常生活の中で体育・スポーツ活動に親しむことができるよう、日常生活圏域における体育・スポーツ施設の整備基準を人口段階別に定めている。

施設 人口規模	体育館	柔剣道場	プール
1 万人	床面積 720 m ² 1 か所	床面積 200 m ² 1 か所	水面積 400 m ² 1 か所
3 万人	床面積 720 m ² 2 か所	床面積 300 m ² 1 か所	水面積 400 m ² 2 か所
5 万人	床面積 720 m ² 3 か所	床面積 300 m ² 1 か所	水面積 400 m ² 3 か所
10 万人	床面積 720 m ² 5 か所	床面積 400 m ² 1 か所	水面積 400 m ² 6 か所
算出方法 70 万人	床面積 720 m ² 35 か所	床面積 400 m ² 7 か所	水面積 400 m ² 42 か所
	25,200 m ²	2,800 m ²	16,800 m ²
算出方法 70 万人	床面積 720 m ² 8 か所	床面積 400 m ² 1 か所	水面積 400 m ² 9 か所
	5,760 m ²	600 m ²	3,600 m ²

この表の面積は、実際に運動を行う場所の面積であり、管理室、更衣室、シャワー室、便所、用具室等は含まない。

算出方法 (比例配分) では、本区の人口規模に換算すると、体育館床面積 25,200 m²、柔剣道場床面積 2,800 m²、プール水面積 16,800 m²となるが、実状とかけ離れており、非現実的。

算出方法 (対数近似で試算) では、本区の人口規模に換算すると、体育館床面積 5,760 m²、柔剣道場床面積 600 m²、プール水面積 3,600 m²となる。



6.3.4 必要量・適正量の検討

(1) アリーナ

< 同規模人口自治体との比較（再掲） >

自治体名	施設数	合計延床面積
江戸川区	2	約 3,690 m ²
船橋市	2	約 5,360 m ²
大田区	2	約 3,444 m ²
練馬区	6 (1)	約 6,700 m ²
足立区	9 (2)	約 8,400 m ²
相模原市	3 (3)	約 5,970 m ²

(カッコ内は 660 m²未満の体育施設数)

< (参考) 国の水準に基づく試算との比較 >

現況 : 約 3,690 m²

国の水準に基づく試算 : 約 5,760 m²

- 約 2,070 m²

国の水準に基づく試算との単純比較では、区内のアリーナは 2,000 m²程度不足しているものの、単にアリーナ面積を増やすのではなく、利用目的（主な利用者）や今後の社会状況に配慮した必要量・適正量を検討していく必要がある。

そのため、“6.1 スポーツ施設の区分の考え方”に示したスポーツ施設の類型ごとに、近隣自治体の整備状況と比較しつつ、今後のスポーツ実施人口の変化や、スポーツ施設以外の公共施設の利活用の可能性についても考慮し、検討を行った。

< 近隣自治体との比較 >

	類型	類型	類型
江戸川区	-	・総合体育館 約 1,300 m ² (380) ・スポーツセンター 約 1,700 m ² (326)	・スポーツセンター・小体育室 約 690 m ²
墨田区	・墨田区総合体育館 メインアリーナ 約 2,280 m ² (1,064)	-	・墨田区総合体育館 サブアリーナ 約 1,060 m ² (436) ・スポーツプラザ梅若
江東区	-	-	・スポーツ会館 約 1,600 m ² (172) ・深川スポーツセンター 約 1,200 m ² ・亀戸スポーツセンター 約 1,440 m ² ・有明スポーツセンター 約 1,200 m ² ・東砂スポーツセンター 約 990 m ² ・深川北スポーツセンター 約 840 m ²

葛飾区	-	・奥戸総合スポーツセンター 約 2,000 m ² (496) ・水元総合スポーツセンター メインアリーナ 約 1,560 m ² (960)	・水元総合スポーツセンター サブアリーナ 約 760 m ² ・奥戸総合スポーツセンター エイトホール 約 740 m ²
市川市	-	・塩浜市民体育館 約 1,670 m ² (1078) ・国府台公園 約 1,910 m ² (1068)	・信篤市民体育館 約 720 m ²
浦安市	・バルドラル浦安アリーナ メインアリーナ 約 1,810 m ² (1010)	-	・バルドラル浦安アリーナ サブアリーナ 約 860 m ²

カッコ内は観客席数

1) 類型

区内の体育施設は公式の試合等に利用されているが、近隣自治体と比較しても観客席が極めて少ない。全国レベルの大会等が行われている施設(墨田区総合体育館やバルドラル浦安アリーナ)については観客席が1,000席以上設けられており、今後“みるスポーツ”を推進していくためには同規模の観客席が必要になると考えられる。

2) 類型

江戸川区内の小中学校体育館を含めることで、約19,130～22,320 m²相当のアリーナが利用できる試算となり、不足量・適正配置の課題ともに解決できる方法として期待できる。

660 m²以上の屋内運動場をもつ小学校・・・25/69校、約26,030 m²

葛西小は葛西中で計算

平日の開放時間 3.5 時間、土日の開放時間を 12.5 時間と仮定すると、利用できる時間帯の割合は 50%程度となる。

$3.5 \times 5 \text{ 日間} + \text{週末 } 12.5 \text{ 時間} \times 2 \text{ 日間} = 42.5 \text{ 時間}$ / 通常 12 時間 \times 7 日間

利用可能な時間の割合：0.5059... 0.5

よって、 $26,030 \text{ m}^2 \times 0.5 = \text{約 } 13,020 \text{ m}^2$

720 m²以上の屋内運動場をもつ小学校・・・19/69校、約20,312 m²

葛西小は葛西中で計算

平日の開放時間 3.5 時間、土日の開放時間を 12.5 時間と仮定すると、利用できる時間帯の割合は 50%程度となる。

$3.5 \times 5 \text{ 日間} + \text{週末 } 12.5 \text{ 時間} \times 2 \text{ 日間} = 42.5 \text{ 時間}$ / 通常 12 時間 \times 7 日間

利用可能な時間の割合：0.5059... 0.5

よって、 $20,312 \text{ m}^2 \times 0.5 = \text{約 } 10,160 \text{ m}^2$

660 m²以上の屋内運動場をもつ中学校・・・33/33校、約35,890 m²

平日の開放時間 3 時間、土日の開放時間を 3 時間と仮定すると、利用できる時間帯の割合は 25%程度となる。

$3 \times 5 \text{ 日間} + \text{週末 } 3 \text{ 時間} \times 2 \text{ 日間} = 21 \text{ 時間}$ / 通常 12 時間 \times 7 日間

利用可能な時間の割合：0.25

よって、 $35,890 \text{ m}^2 \times 0.25 = \text{約 } 8,970 \text{ m}^2$

720 m²以上の屋内運動場をもつ中学校・・・33/33校、約35,890 m²
 平日の開放時間 3 時間、土日の開放時間を 3 時間と仮定すると、利用できる時間帯の割合は 25%
 程度となる。

$$3 \times 5 \text{ 日間} + \text{週末 } 3 \text{ 時間} \times 2 \text{ 日間} = 21 \text{ 時間} \quad / \quad \text{通常 } 12 \text{ 時間} \times 7 \text{ 日間}$$

$$\text{利用可能な時間の割合} : 0.25$$

$$\text{よって、} 35,890 \text{ m}^2 \times 0.25 = \text{約 } 8,970 \text{ m}^2$$

$$+ = 13,020 + 8,970 = \text{約 } 21,990 \text{ m}^2$$

$$+ = 10,160 + 8,970 = \text{約 } 19,130 \text{ m}^2$$

【小学校体育館の活用：東京都世田谷区の例】

東京都世田谷区の人口は約 94 万人と、東京都内で最も人口の多い自治体であるが、660 m²以上の規模をもつアリーナ施設は 3 施設、面積も約 2,900 m²程度と、人口に対するアリーナ数・面積ともに少ない傾向にある。

一方、区内 129 の小中学校の施設を公共施設予約システム「けやきネット」で一元管理し、ほぼ全ての学校体育館の貸し出しを行っており、地域の小中学校体育館を活用し区民の日常的なスポーツ活動のための施設を補っていると考えられる。

3) スポーツ実施人口の変化による施設適正量の検討

現在のアリーナ利用者推計値の 19,947 人から、一人当たりの床面積は 0.185 m²/人と推計される。

令和 12 年（2030 年）に「東京都スポーツ推進総合計画（H.30.3）」で定める目標スポーツ実施率 70%を達成した場合、現在と同程度の一人当たりの面積 0.185 m²/人を確保するためには約 4,410 m²必要であり、約 720 m²不足すると予測できる。

パターン	アリーナ利用者（推計）	一人当たりの床面積	床面積
現状（令和 2 年（2020 年））	19,947 人	0.185 m ² /人	約 3,690 m ²
令和 12 年（2030 年）に実施率 70%の場合	23,846 人		約 4,410 m ²
参考：令和 32 年（2050 年）に区民全員がやってみたいと思うスポーツを実施した場合	83,046 人		約 15,360 m ²

【参考】現状の床面積を国の水準に基づいた必要量 約 5,760 m²とした場合

一人当たりの床面積：0.289 m²/人 実施率 70%の場合の不足量：3,200 m²

パターン	アリーナ利用者（推計）	一人当たりの床面積	床面積
現状（令和2年（2020年））	19,947人	0.289 m ² /人	約 5,760 m ²
令和12年（2030年）に実施率70%の場合	23,846人		約 6,890 m ²
参考：令和32年（2050年）に区民全員がやってみたいと思うスポーツを実施した場合	83,046人		約 24,000 m ²

19,130 m² + 3,690 m²（現状） = 22,820 m² / 19,130 m² + 5,760 m²（必要量） = 24,890 m²

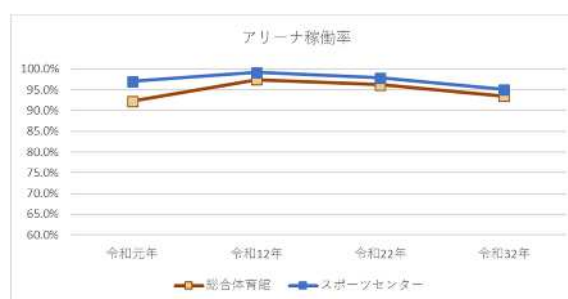
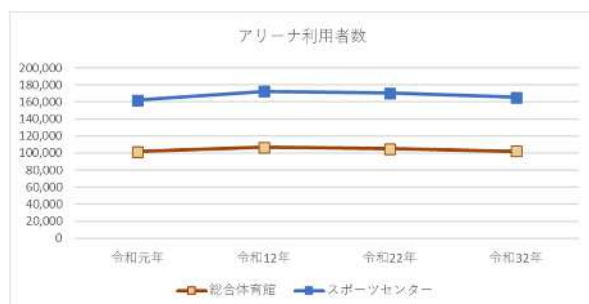
4) 施設利用者数と稼働率による将来需要検討

感染症拡大防止のための休館措置などが発生する以前の平成29年度（2017年度）～令和元年度（2019年度）までのデータから、現在の利用状況を整理し、これをもとに、将来の人口変化に伴う稼働率を推計した。

算出は以下の方法による。

- 利用件数と利用人数から1件あたりの平均利用人数を算出
- 利用人数と区民人口の比を算出
- 将来人口にBを乗じて、将来利用人数を推計
- 将来利用人数を平均利用人数（A）で除して、利用件数を推計
- 3カ年の平均可能件数(時間)に済める利用件数推計値（D）の割合を稼働率として算出

総合体育館とスポーツセンターのメインアリーナの利用者数と稼働率の将来推計値を図に示す。令和32年（2050年）時点でも、両施設とも9割を超える高い稼働率であることが推察された。



5) まとめ

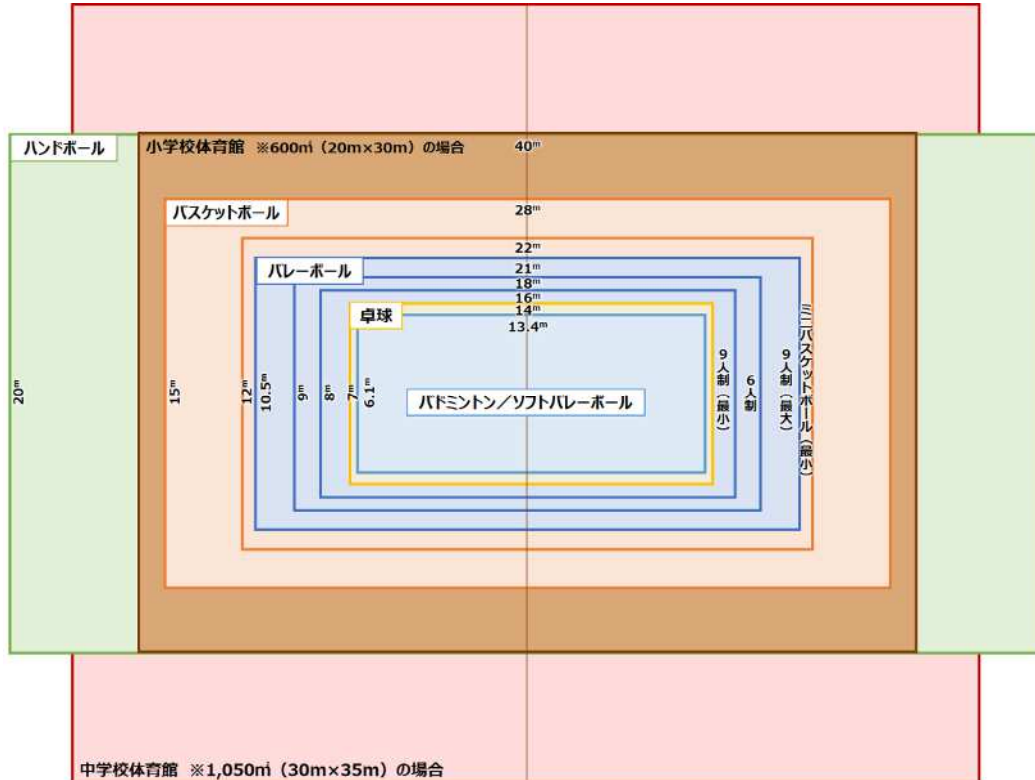
同規模人口の自治体と比較しても江戸川区内のアリーナ施設は施設数・面積ともに少なく、観客席数も非常に少ない。そのため、今後、総合体育館やスポーツセンター等の改修・建替えの際には規模（面積）や観客席の拡大することで、大規模な試合・大会や“みるスポーツ”にも対応した施設としていくことを検討する。

また、区内アリーナ施設の稼働率は非常に高く、予約・抽選がとれず、利用したいにも関わらず利用できていない区民も一定数存在すると推測される。

一方、区内には小中合わせて 102 の公立学校があり（令和 3 年度（2021 年度）時点）、全ての施設で一般開放を行っている。今後、学校の体育館を含め、日常利用のための施設の適正な配置を検討していく。

【学校体育館で行える種目について】

- ・ 小学校体育館を 600 m²（20m × 30m）と仮定。
江戸川区の公立小学校の屋内体育施設の中央値...610 m²
- ・ 中学校体育館を 1050 m²（30m × 35m）と仮定。
江戸川区の公立中学校の屋内体育施設の中央値...1,024 m²
- ・ その他の考慮事項として、バスケットボールゴールを小学校 260 cm、中学校（一般公式）305 cm と仮定。



学校体育館の大きさ・仕様にもよるが、一般的な小学校体育館ではハンドボールとバスケットボール、中学校体育館ではハンドボールの実施が難しいと考えられる。

(2) 柔剣道場

<同規模人口自治体との比較(再掲)>

自治体名	施設数	合計延床面積
江戸川区	2	約 900 m ²
船橋市	1	約 1,030 m ²
大田区	-	専用施設なし
練馬区	6	約 2,080 m ²
足立区	1	約 675 m ²
相模原市	3	約 1,770 m ²

<(参考)国の水準に基づく試算との比較>

現況 : 約 900 m²

国の水準に基づく試算 : 約 600 m²

約 300 m²

国の水準に基づく試算との単純比較では、区内の柔剣道場は 300 m²程度多いが、同規模人口自治体の整備状況は自治体によってばらつきがある。

<近隣自治体との比較>

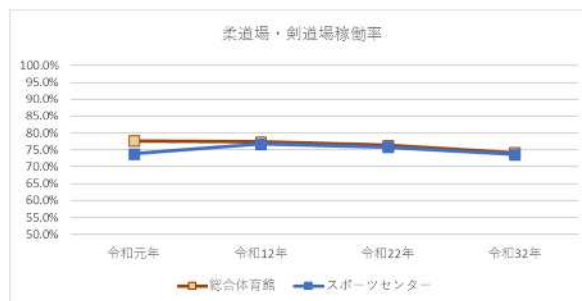
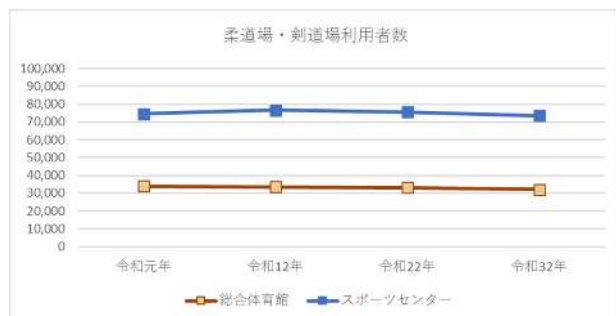
	類型	類型	類型
江戸川区	-	-	・総合体育館 柔道場/剣道場 約 190 m ² /約 190 m ² ・スポーツセンター 柔道場/剣道場 約 260 m ² /約 260 m ²
墨田区	-	・墨田総合体育館 武道場 約 350 m ² (252)	-
江東区	-	-	・スポーツ会館 柔道場/剣道場 約 210 m ² /約 320 m ² ・深川スポーツセンター 第1 武道場/第2 武道場 約 250 m ² /約 260 m ²
葛飾区	-	-	・奥戸総合スポーツセンター 第1 武道場/ 第2 武道場 約 200 m ² /約 300 m ² ・水元総合スポーツセンター 第1 武道場/ 第2 武道場 約 280 m ² /約 310 m ²
市川市	-	-	・塩浜市民体育館 第1 武道場/第2 武 道場 約 370 m ² /約 370 m ²
浦安市	-	・中央武道館 第一武道場/第二武道場 約 480 m ² /約 480 m ²	・浦安市運動公園 第1 武道場/第2 武 道場 約 310 m ² /約 310 m ²

カッコ内は観客席数

1) 施設利用者数と稼働率による将来需要検討

アリーナと同様の方法で、両施設の柔道場・剣道場の利用人数と稼働率を推計した。

両施設とも 70～80%の稼働率で推移し、大きな減少は見られないが、利用人数は総合体育館がスポーツセンターの半分程度となっている。



2) まとめ

同規模人口の自治体と比較して、江戸川区内の柔剣道場は施設数が多い傾向にある。他自治体は、施設数自体は少なく大規模なもの、または専用の柔剣道とはしていない傾向にある。

今後は、特化した施設を整備していくのではなく、多機能化を図ることで様々な種目との併用も検討していくことが考えられる。

(3) プール

<同規模人口自治体との比較(再掲)>

自治体名	施設数	合計水面積
江戸川区	5	約 2,800 m ²
船橋市	2	約 1,740 m ²
大田区	4	約 3,500 m ²
練馬区	7	約 2,950 m ²
足立区	3	約 1,150 m ²
相模原市	3	約 2,850 m ²

(夏季のみのプール含む)

<(参考)国の水準に基づく試算との比較>

現況 : 約 2,800 m²

国の水準に基づく試算 : 約 3,600 m²

- 約 800 m²

国の水準に基づく試算との単純比較では、区内のプールは 800 m²程度(25mプール 2~3 施設相当)不足していると考えられるが、同規模人口自治体の整備状況と比較すると平均的な施設数・水面積となっている。

<近隣自治体との比較>

	類型	類型	類型
江戸川区	-	・総合体育館(25m 公認プール) ・スポーツセンター(25m 公認プール)	・スポーツランド(50m) ・小岩アーバンプラザ(25m) ・小松川さくらホール(25m)
墨田区	-	・両国屋内プール(25m 公認プール)	・墨田区総合体育館(25m) ・すみだスポーツ健康センター(25m)
江東区	-	-	・スポーツ会館(25m) ・亀戸スポーツセンター(25m) ・有明スポーツセンター(25m) ・東砂スポーツセンター(25m) ・深川北スポーツセンター(25m)
葛飾区	-	・奥戸総合スポーツセンター(25m 公認プール) ・水元総合スポーツセンター(25m 公認プール)	-
市川市	-	-	・クリーンスパ市川(25m)
浦安市	-	・浦安市運動公園(25m 公認プール)	-

1) スポーツ実施人口の変化による施設適正量の検討

現在のプール利用者推計値の 26,765 人から、千人当たりの水面積は 104.6 m²/千人と推計される。

令和 12 年（2030 年）に「東京都スポーツ推進総合計画（H30.3）」で定める目標スポーツ実施率 70%を達成した場合、現在と同程度の千人当たりの水面積 104.6 m²/千人を確保するためには約 3,460 m²必要であり、約 660 m²不足すると予測できる。

パターン	プール利用者（推計）	千人当たりの水面積	水面積
現状（令和 2 年（2020 年））	26,765 人	104.6 m ² /千人	約 2,800 m ²
令和 12 年（2030 年）に実施率 70%の場合	33,103 人		約 3,460 m ²
参考：令和 32 年（2050 年）に区民全員がやってみたいと思うスポーツを実施した場合	124,650 人		約 13,040 m ²

【参考】現状の水面積を国の水準に基づいた必要量 約 3,600 m²とした場合

千人当たりの水面積：134.5 m²/千人 実施率 70%の場合の不足量：1,650 m²

パターン	プール利用者（推計）	千人当たりの水面積	水面積
現状（令和 2 年（2020 年））	26,765 人	134.5 m ² /千人	約 3,600 m ²
令和 12 年（2030 年）に実施率 70%の場合	33,103 人		約 4,450 m ²
参考：令和 32 年（2050 年）に区民全員がやってみたいと思うスポーツを実施した場合	124,650 人		約 16,770 m ²

2) まとめ

今後は区立屋内温水プールの整備のみではなく、民間事業者と連携し、民間の屋内温水プールを利用することなども一つの方法として考えられる。しかし、民間施設は施設の近隣住民や限定された年齢層を対象としているなど、公共と民間では性格の異なる部分があることや、プールを持つ総合型のジムが新型コロナウイルス感染症拡大の影響などによって減少傾向にあるなど、社会情勢によって運営が影響されやすいなどの課題も上げられる。そのため、民間事業者と連携する場合は、公設民営なども含めた様々な方法での連携を検討し、最適な手法を選択していく必要があると考えられる。

また、学校プールの老朽化・維持管理費用の負担などが課題となっている公立小中学校では、学校プールの廃止・集約化の検討が全国的に進められているため、あわせて屋内プール化して学校と区民の共同利用化などを検討していくことや、既設の区立屋内温水プールを複数の学校で共同利用することを検討していくことも考えられる。

【小中学校プールの活用：東京都港区の例】

東京都港区では、港南小学校・本村小学校・赤坂小学校・御成門中学校・高松中学校・高陵中学校・港陽中の7校に設置した屋内温水プールを通年で開放している。利用対象は区内在住・在勤の個人登録を行っている人に限り、料金は大人500円（1回/2時間以内）。

<対象プールの開放日及び開放時間>

港南小学校 本村小学校 赤坂小学校	木曜日・金曜日 午後5時から8時まで	土曜日・日曜日及び利用日が祝日と重なるとき 午前10時から正午まで 午後1時から3時まで 午後3時30分から5時30分まで 午後6時から8時まで
御成門中学校	火曜日から金曜日まで 午後6時30分から8時30分まで	
高松中学校 高陵中学校	木曜日・金曜日 午後6時30分から8時30分まで	
港陽中学校	土曜日・日曜日 午前10時から正午まで / 午後1時から3時まで 午後3時30分から5時30分まで / 午後6時から8時まで 夏季休業日(7月21日から8月31日まで)の木曜日・金曜日 午後1時30分から3時30分まで / 午後3時45分から5時45分まで	

運営は区が実施。（所管：生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係）

一方、東京都葛飾区では、令和2年（2020年）12月に「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」を策定し、新しく学校改築をする小学校では、総合スポーツセンターや民間事業者の屋内温水プールを利用して水泳指導を実施し、学校にプールは設置しないこととしている。

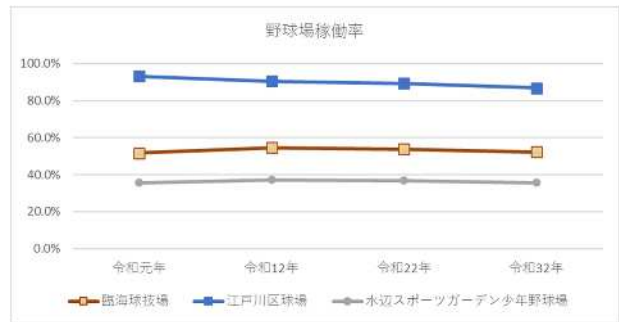
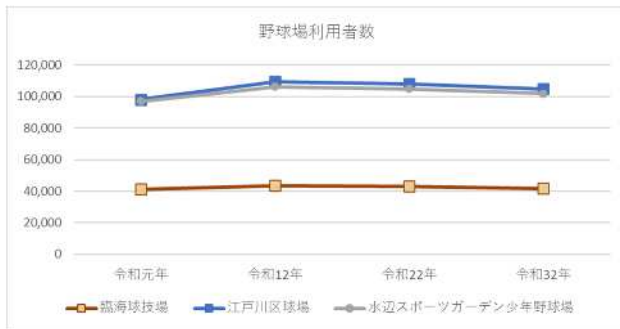
(4) その他施設

1) 施設利用者数と稼働率による将来需要検討

【野球場】

野球場は江戸川区球場の稼働率が高く、令和32年度（2050年度）においても8割を超えるものと推察された。

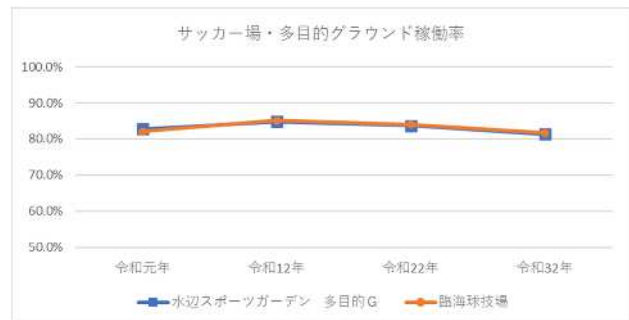
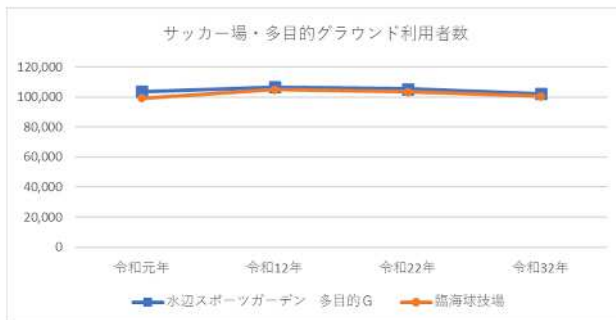
スポーツガーデンの少年野球場は利用人数では江戸川区球場と同程度であるものの、稼働率は6割を下回ったままとなった。臨海球技場の野球場は、利用者数、稼働率ともやや低いままとなった。



【サッカー場】

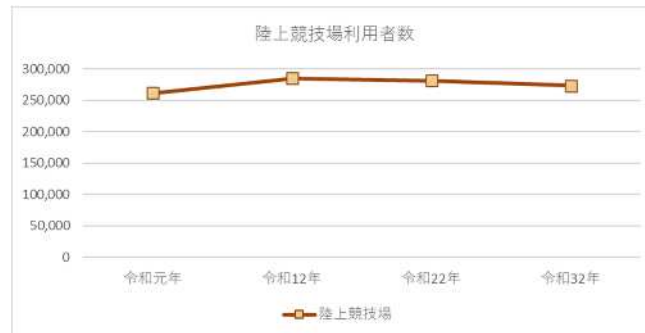
臨海球技場サッカー場と水辺のスポーツガーデン多目的グラウンドの利用者数と稼働率を推計した。

両施設とも8割を超える稼働率でほぼ一致しており、利用者数もほぼ同程度となった。利用団体の予約が重なっていることや、空いている施設を探して利用している様子がうかがえ、将来的にも不足気味となることが推察された。



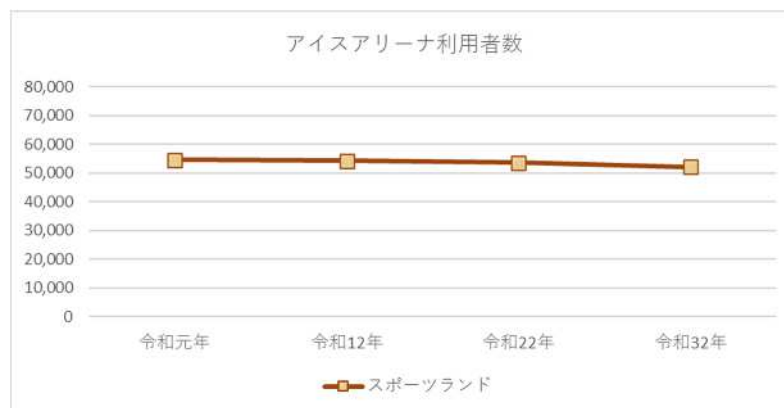
【陸上競技場】

陸上競技場は個人利用と団体貸切が混在するため総利用者数のみを推計した。
将来的にも30万人近い利用者があることが推察された。



【アイススケートリンク】

現状と同様の運営(冬季のみ)とした場合、将来的にも5万人を超える利用者があるものと推察された。



2) まとめ

野球場・サッカー場・陸上競技場

野球場・サッカー場・陸上競技場については、公式戦等を開催するためには一定程度の規模や設備等が必要であり、アンケート調査結果をみても、他種目と比べ自宅からの近さよりも施設や設備の質を重視する傾向が高いことがわかる。

そのため、ある程度まとまった敷地で、試合や大会等にも利用できる施設として現状を維持しつつ、設備等を充実させていくことを検討していく。

アイススケートリンク

アイススケートリンクは特殊な施設であり、スポーツランドは公共のアイススケートリンクとして区民に親しまれている。

アンケート調査結果からも利用したことのある区民が多く、本区のスポーツ施設の特色の一つとして位置付けることが可能である。

そのため、通年化（現在は冬季のみ運営、夏季はプール営業）の検討や、多様な氷上競技種目への対応、競技利用と一般利用の両立等を検討していくことで、魅力をさらに高め、区の代表的なスポーツ施設の一つとして区内外から人を呼び込む施設としていくことも考えられる。



ともに、生きる。

江戸川区

江戸川区スポーツ施設需要調査

発行日：令和4年（2022年）7月

編集・発行：江戸川区新庁舎・施設整備部計画課

〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目4番1号

TEL：03-5662-9017

FAX：03-5662-1310